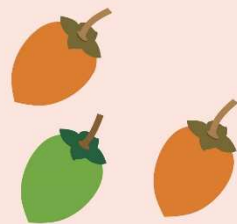


第4次幸田町食育推進計画

知る・わかる・できる・支える
食育の推進



令和4年3月
幸 田 町



目 次

第 1 章	計画の策定にあたって	1
1	計画策定の背景	1
2	計画の位置づけ	2
3	計画期間	2
第 2 章	幸田町の現状	3
1	人口・世帯の状況	3
2	農家の現状	5
3	学校・保育園・幼稚園の現状	6
4	生活廃棄物の状況	7
5	幸田町における取り組み内容（令和 3 年度）	9
6	アンケート調査	12
7	前計画で掲げた数値目標の達成状況	20
8	課題のまとめ	22
第 3 章	計画の基本的な考え方	25
1	基本理念	25
2	基本目標	26
3	計画の体系図	27

第4章 施策の展開..... 28

- 1 健康な体をつくる食生活の推進..... 28
- 2 豊かな人間形成と食文化の醸成..... 31
- 3 環境保全型の食環境整備の推進..... 35
- 4 食育を推進する仕組みの整備..... 38

第5章 計画の推進..... 40

- 1 食育推進のための啓発、情報提供..... 40
- 2 ライフステージに合わせた食育推進の取組..... 40
- 3 食育に関わる連携・協働体制の構築..... 41
- 4 計画の進行管理と評価..... 41
- 5 数値目標..... 42

参考資料 44

- 1 食育基本法の概要（平成17年7月施行）..... 44
- 2 幸田町食育推進会議設置要綱（平成20年4月施行）..... 45
- 3 幸田町食育推進会議委員名簿..... 46
- 4 幸田町食育推進計画の策定経過..... 47
- 5 食育に関するアンケート調査票..... 48
- 6 食育に関するアンケート調査集計結果（概要）..... 60
- 7 幸田町の農畜産物「旬」カレンダー..... 85
- 8 用語解説..... 88



計画の策定にあたって

1 計画策定の背景

食は命の源であり、私たち人間が生きるために食は欠かせないものです。また、国民が健康で心豊かな生活を送るためには、健全な食生活を日々実践し、おいしく楽しく食べることやそれを支える社会や環境を持続可能なものにしていくことが重要です。

しかし、「食」を取りまく環境は大きく変化しています。現在の日本は、高齢化が進行する中で、健康寿命の延伸や生活習慣病の予防が引き続き国民的課題であり、栄養バランスに配慮した食生活の重要性は増しています。人口減少、少子高齢化、世帯構造の変化や中食市場の拡大が進行するとともに、食に関する国民の価値観や暮らしの在り方も多様化し、健全な食生活を実践することが困難な場面も増えてきており、地域の伝統的な食文化が失われていくことも危惧されています。また、近年、日本各地で異常気象に伴う自然災害が頻発する等、地球規模の気候変動の影響が顕在化しており、食の在り方を考える上で環境問題を避けることはできなくなっています。さらに、新型コロナウイルス感染症の感染拡大によって、接触機会低減のためのテレワークの増加、出張機会の減少等により、在宅時間が一時的に増加するとともに、外出の自粛等により飲食業が甚大な影響を受けるなど、我が国の農林水産業や食品産業にも様々な影響を受けました。一方で、在宅時間や家族で食を考える機会が増えることで、食を見つめ直す契機ともなっており、家庭での食育の重要性が高まっています。

この現状を受けて、国では平成17年7月に食育基本法を施行し、食育の推進に取り組むための基本計画を明らかにしました。これに基づき、愛知県では平成18年に「あいち食育いきいきプラン」を策定し、食育を総合的かつ計画的に推進してきました。令和3年3月には「あいち食育いきいきプラン 2025（第4次愛知県食育推進計画）」を策定し、「食を通じて健康な体をつくる取組」、「食を通じて豊かな心を育む取組」、「食を通じて環境に優しい暮らしを築く取組」、「食育を支える取組」を基本としながら、健康で活力ある社会の実現を目指しています。

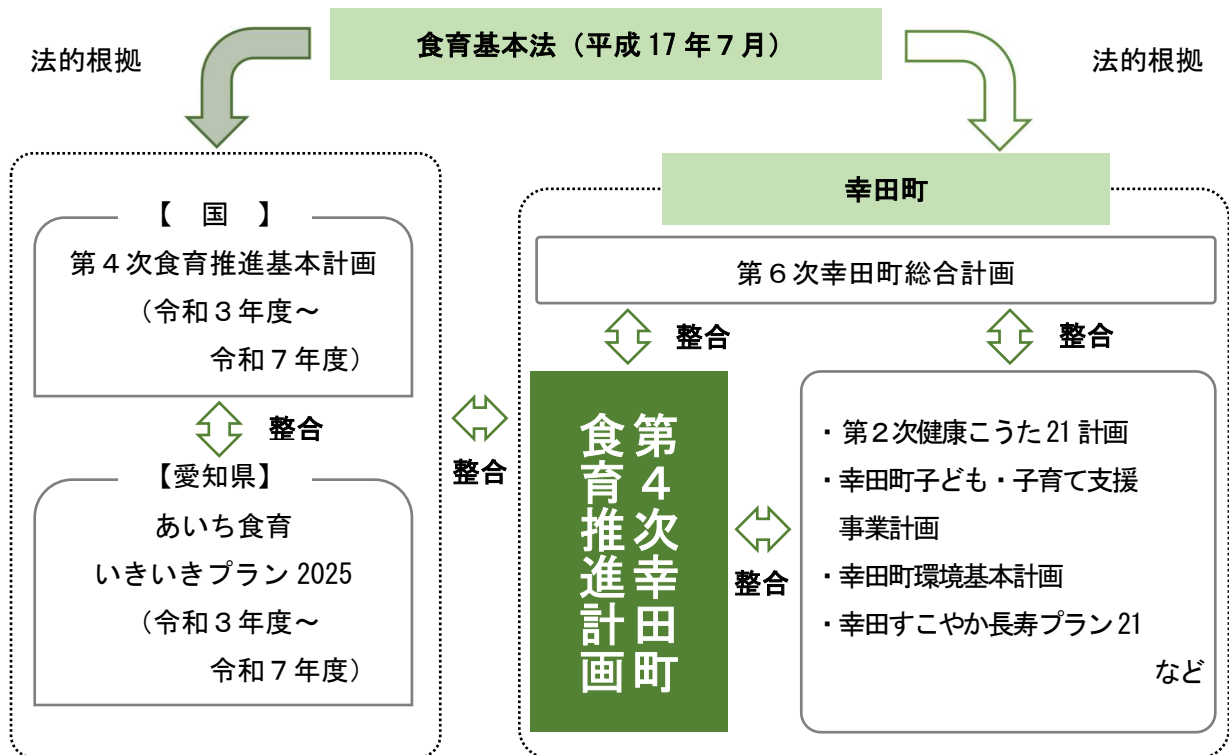
本町においても、平成21年3月に「幸田町食育推進計画」を策定し、その後2次、3次の計画を経て、「健康」「豊かな人間性」「食文化」「食環境」の4つの基本目標に向け、家庭、学校、保育園・幼稚園、地域等と連携した様々な活動を行ってきました。

食や健康を取りまく社会情勢が変化する中、計画の進捗状況を分析し、より地域の実情に沿った食育に関する施策を計画的に推進していくために、このたび、計画を見直し、新たに第4次幸田町食育推進計画（以下「本計画」という。）を策定するものです。

2 計画の位置づけ

本計画は、食育基本法第18条第1項に基づく市町村食育推進計画として位置づけられます。その実施にあたっては、国の「第4次食育推進基本計画」、県の「あいち食育いきいきプラン2025」及び本町で策定している「第6次幸田町総合計画」「第2次健康こうた 21計画」などの各種計画と整合性をもたせることにより、関係する事業と協働し推進するものとします。また、本計画は町民一人ひとりが食の大切さを理解して、主体的に食育に取り組むための指針とします。

【計画の位置づけ】



3 計画期間

本計画の期間は、令和4年度を初年度とし、令和8年度を目標年度とする5年間の計画です。計画期間中に状況の変化などが生じた場合には、必要に応じて見直すこととします。

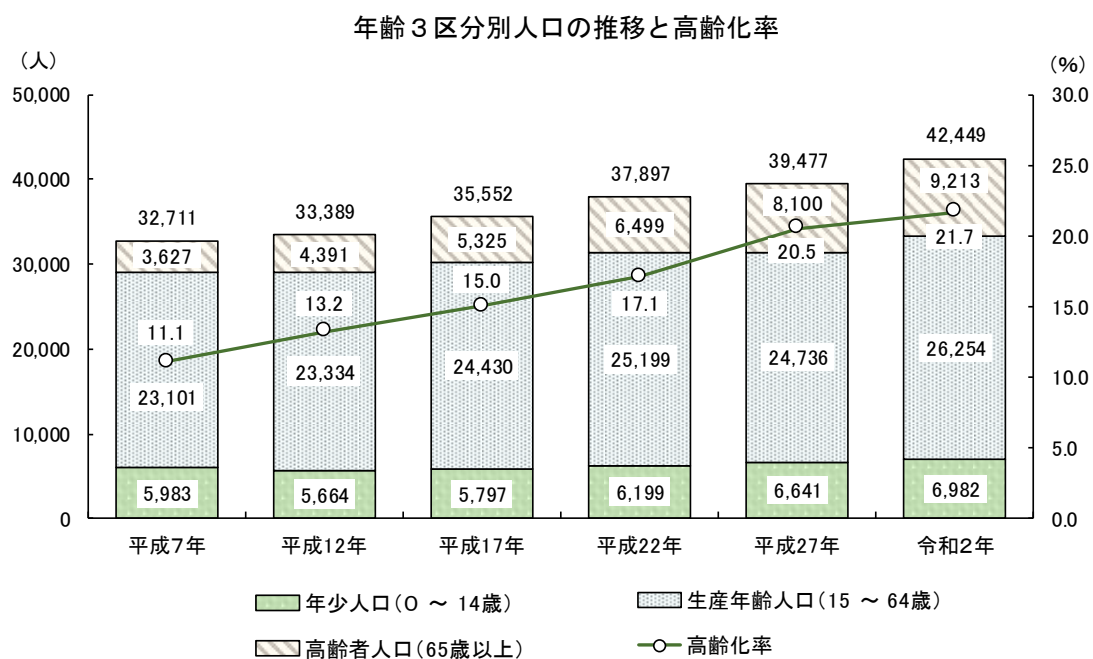


幸田町の現状

1 / 人口・世帯の状況

(1) 年齢3区分別人口の推移と高齢化率

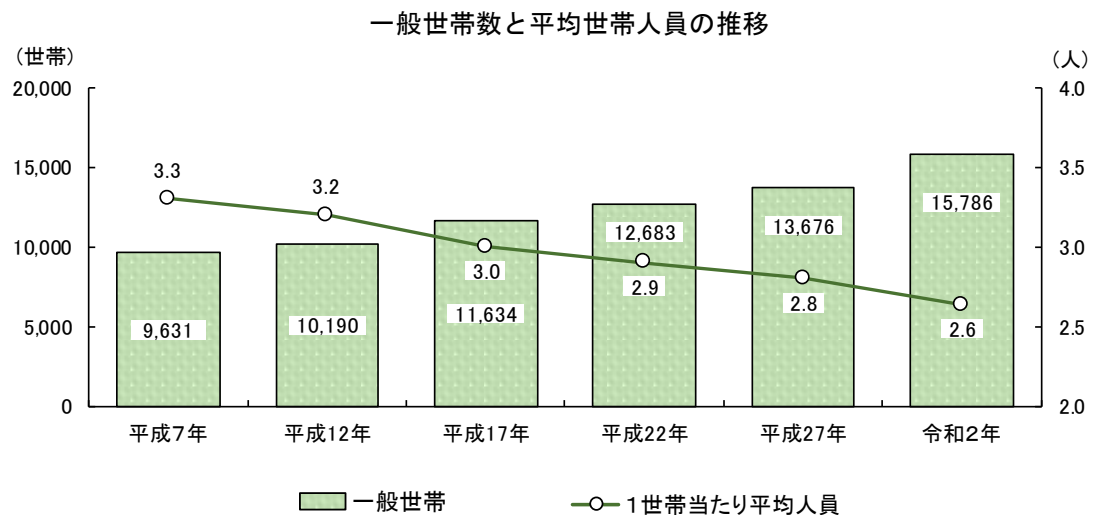
年齢3区分別人口の推移をみると、総人口は増加しています。特に、高齢者人口（65歳以上）は、平成7年の3,627人から令和2年の9,213人へと、約5,500人増加しています。また、高齢化率は、平成7年の11.1%から令和2年の21.7%へと、10.6ポイント増加しています。



資料：国勢調査（各年度10月1日現在）

(2) 一般世帯数と平均世帯人員の推移

本町の一般世帯数は、増加傾向にあります。平成7年の9,631世帯から令和2年の15,786世帯へと、約6,000世帯増加していますが、1世帯当たりの平均人員数は、ゆるやかに減少し、令和2年で2.6人となっています。



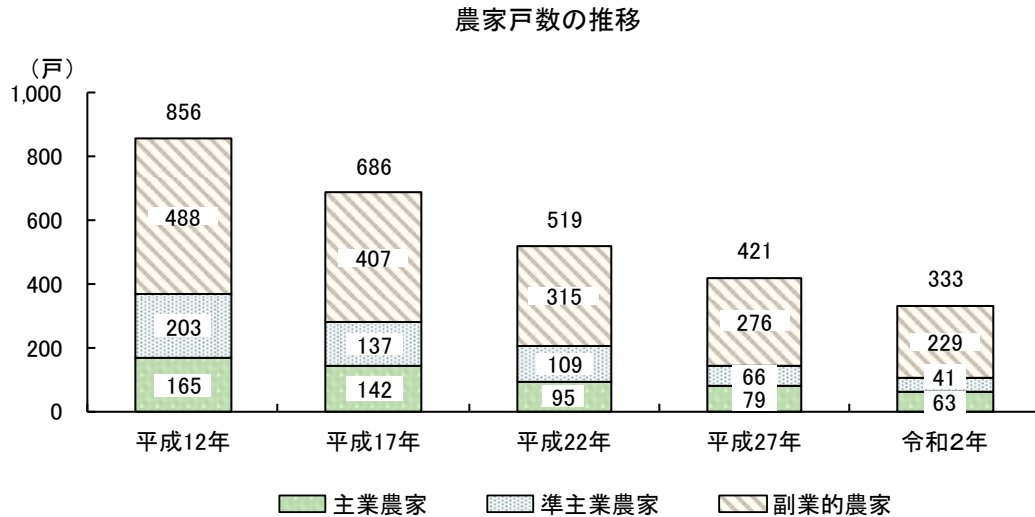
資料：国勢調査（各年度10月1日現在）



2 農家の状況

(1) 農家戸数の推移

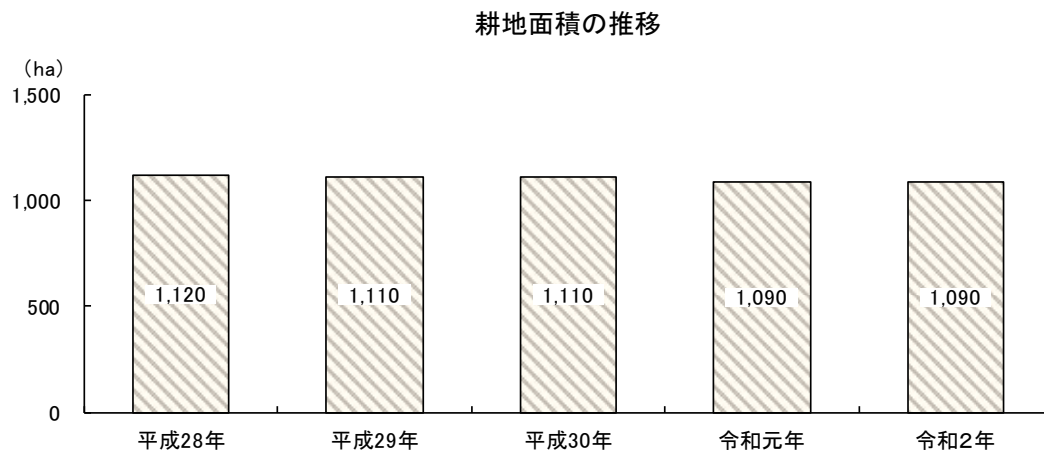
本町の農家戸数は、減少傾向にあり、令和2年には333戸と、平成12年の4割以下となっています。



資料：農業センサス

(2) 耕地面積の推移

耕地面積は、減少傾向にあり、令和2年には1,090haとなっています。



資料：愛知農林水産統計年報（各年7月15日現在）

3 学校・保育園・幼稚園の状況

(1) 学校における食育の状況

町内1か所の給食センターで9校（6小学校、3中学校）分、1日約4,300食を作って提供しています。

給食の米飯は、幸田町産米を100%使用しています。また、幸田町産の大豆を原料とした豆腐や、幸田町特産のなすや豚肉、筆柿、なし等を取り入れています。

(2) 保育園における食育の状況

町内8か所の保育園で、1日約1,200食の給食を作って提供しています。給食は、町の栄養士が栄養価等を考えて献立を作成し、全園同じメニューで各園において調理員が作っていますので、作りたてで温かく、園児に合わせた給食を提供しています。また、食器は体にも環境にもやさしい陶器を使用しています。割れやすい陶器を使うことで食器を丁寧に扱うようになり、物を大切に扱う心を育てます。

保育園の給食の材料は、献立表をもとに各園において安全・安心で旬な食材を取り入れたものを発注しています。材料は、国産の旬の食材を使用するとともに、地産地消を推進するために幸田町産の農作物を積極的に取り入れています。また、保育園で育てた野菜やお米なども食材に取り入れています。

(3) 幼稚園における食育の状況

町内には、幼稚園（認定こども園を含む。）4園があります。幼児期の食への関心を高めるために、献立表の配布や、自然と親しみ食物の大切さを感じるための野菜や果実の栽培・収穫体験を行っています。また、健康増進のために食後の歯磨きを行うなど、園での生活の中で、実際の体験を基盤にした食育活動に努めています。

4 生活廃棄物の状況

本町では、燃やすごみは有料の指定袋で出す一方で、分別ごみはごみステーションにコンテナ等を設置し、無料で回収を行っています。分別すればするほど、指定袋を購入する費用負担が軽減されるというシステムにより燃やすごみの減量と資源物の分別の促進を図っています。

また、生ごみ処理容器等の購入に対して補助事業や、家庭や公共施設等から発生する使用済天ぷら油を回収し、バイオディーゼル燃料にするなどの資源化事業を行っています。

さらに、学校、保育園・幼稚園においては、食の大切さ・感謝する心を育むことで、給食で発生する残菜等の減少に取り組んでいます。

このような町としての取組み、そして住民の協力により本町では愛知県が公表するごみの指標において5部門中3部門が1位という好成績を残しています。

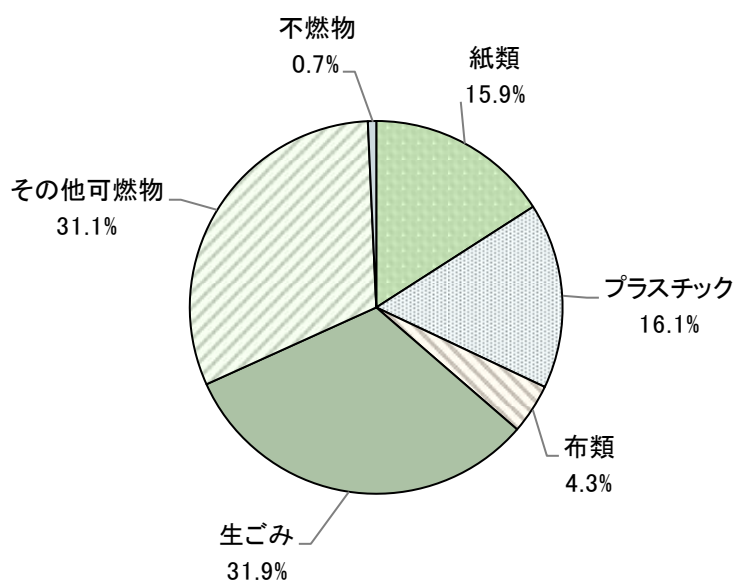
一般廃棄物の状況

順位	一人一日当たり のごみ排出量 (g/人・日)		処理しなければ ならないごみの 一人一日当たり の量 (g/人・日)		一人一日当たり の家庭系ごみの 量 (g/人・日)		リサイクル率 (%)		一人当たりの 最終処分量 (kg/人・年)	
1	幸田町	671	幸田町	539	幸田町	485	小牧市	37.0	岩倉市	4.60
2	岩倉市	677	岩倉市	549	扶桑町	515	田原市	34.6	小牧市	6.82
3	大治町	699	江南市	559	小牧市	546	大口町	33.3	幸田町	9.17
4	扶桑町	705	扶桑町	583	名古屋市	554	新城市	31.4	豊明市	9.42
5	あま市	713	東浦町	603	犬山市	558	大府市	30.6	東浦町	9.64
県平均	-	915	-	753	-	608	-	21.3	-	25.6

資料：愛知県 令和元年度一般廃棄物処理事業実態調査

しかし、本町が実施する、燃やすごみにどのようなものが出されているのかを調査する燃やすごみ組成分析調査によると、燃やすごみの中には、減量可能な生ごみや分別ごみが多く含まれています。生ごみは水切りをして出したり、分別ごみは正しい分別方法で排出することでさらにごみの減量化につなげることができます。「ごみになるものを必要以上に買わない（リフューズ）」「物を大切に使い、ごみを減らす（リデュース）」「使える物は、繰り返し使う（リユース）」、「ごみを資源として再び利用する（リサイクル）」の4R運動を推進することで、ごみの排出の抑制および環境保全に取り組んでいます。

令和2年度燃やすごみ組成分析調査（重量比）



資料：幸田町環境課

5 幸田町における取り組み内容（令和3年度）

担当課	令和3年度実績			
	取り組み	取り組み時期	参加人数等	その他
学校教育課	献立表の配布	通年	全小中学校 約 4,290 人	月 1 回 全小中学生および保護者
	保険学習の実施	通年	全小中学校 約 4,290 人	各学校で実施
	学校保健委員会	年 1 ～ 3 回	全小中学校 約 4,290 人	各学校で実施
	幸田町給食だより	通年	全小中学校 約 4,290 人	全小中学生および保護者
	栄養教諭・職員による各校への訪問指導	通年	約 1,650 人	全小学校 1. 3. 5 年生 全中学 1 年生を 1 巡
	食に関する学習の実施	通年	—	給食センター見学は実施できず
	給食委員会活動（児童会・生徒会活動）	通年	全小中学校 約 4,290 人	各学校の工夫ある取組
	食育だより（E a t タイムス）の配布	年 3 回	全小中学校 約 4,290 人	進級号・夏休み号・冬休み号
	野菜、米、いも等の栽培・収穫体験や収穫物を使った調理実習	通年	—	各学校で実施、調理実習の部分は、十分な感染対策ができない場合は実施できず
	幸田町の特産物を給食で提供（ナス、なし、みかん、筆柿、いちご、豚肉）	通年	全小中学校 約 4,290 人	
環境課	公共施設の生ごみ堆肥化	通年	11 施設	
	事業所の生ごみ飼料化	通年	1 事業所	
	生ごみ処理容器等購入補助金	通年	—	購入額の 2 分の 1 処理容器は 1 基 6,000 円、電気式処理機は 1 基 30,000 円が上限
	幸田町分別収集事業（食品用容器等のリサイクルの推進）	通年	全町民	
	公共施設から発生する使用済み天ぷら油の資源化	通年	11 施設	
	各家庭から発生する使用済み天ぷら油の資源化	通年	全町民	小売店 6 店舗に回収ボックスを設置
	フードドライブ	通年	毎月	
こども課・保育園	献立表の配布	毎月	8 保育園 約 1,000 人	
	給食及びおやつ後の歯みがき励行	年間	5 保育園 約 460 人	全員でなく、対策を行い 5 園の 3 歳以上児が行っている。
	内科検診、歯科検診の実施	年 2 回 年 1 回	8 保育園 約 1,000 人	コロナが落ち着いた期間に園医と相談して行う。
	園だより、クラスだよりの配布	年間	8 保育園 約 1,000 人	
	野菜やいも等の栽培・収穫・クッキング	年間	8 保育園 約 1,000 人	
	保護者の給食試食		2 保育園 約 130 人	全員ではなく、対策を講じて 2 園で実施
	地域とのふれあいを目的としたクッキング（五平餅づくり・クッキーづくり）	年 1 ～ 2 回	4 保育園 約 160 人	地域との交流からお礼の意味も兼ねて行う。
	幸田町の特産物を給食で提供（なす、なし、筆柿、豚肉、いちご、お米）	通年	8 保育園 約 1,000 人	

担当課	令和3年度実績			
	取り組み	取り組み時期	参加人数等	その他
産業振興課	親子農業体験教室	—	—	中止
	子ども畜産体験教室	—	—	中止
	ふれあい農園の開設	通年	68 区画	
	こうた産業まつり	—	—	中止
	子ども食育体験教室	—	—	中止
生涯学習課	おもしろパンづくり教室	8/4 8/6	24 人 22 人	感染防止策として、定員を減らして食事なし（持ち帰り）で開催。
	そば打ち体験教室	8/12 8/13	12 人 11 人	感染防止策として、定員を減らして食事なし（持ち帰り）で開催。
	おかし作り教室	8/24 8/26 8/27	21 人 21 人 22 人	感染防止策として、定員を減らして食事なし（持ち帰り）で開催。
福祉課	こども食堂	4 月～3 月	各回 20 人	月 1 回開催
保険医療課	講座：「健康の大敵！高血糖！～血糖値を下げるためのヒント～」(対象：非肥満高血糖該当者 内容：講義、グループワーク、面談)	9 月～2 月	13 人	対象：非肥満高血糖該当者 内容：講話、グループワーク
健康課	離乳食講習会	前期年 6 回 後期年 6 回	現在 41 人 約 57 人	講話のみの教室へ変更。調理・試食をなしとしたため、調理動画を作成し、情報周知を行った。
	すくすくこうたっ子特別講座「食育」	3 月	—	新型コロナウイルス感染拡大防止策として、調理・試食・託児なしの開催としたため参加者が限られてしまった。
	こうた食生活改善ボランティア 定例会	4 月～3 月	会員 48 人	緊急事態宣言中は中止。調理試食はなしとし、講演のみとした。
	野菜接種量向上取組活動	—	—	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止
	親子食育活動～野菜接種量向上取組活動	—	—	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止
	低栄養予防のための地域活動	—	—	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止
	女性の健康講座	8 月、10 月 (全 2 回)	延べ 19 人	9 月開催予定であったが、緊急事態宣言発令中の為延期とした。
	母子健康手帳交付説明会	4 月～3 月	現在 223 人 約 350 人	集団健康教育・個別面接
	マタニティ教室（母乳育児編）	全 4 回	現在 27 人 約 35 人	一回当たりの参加者は増加した。マタニティ教室を中止する産院が多く、町の講座にニーズがあったためと考える。
	乳児・幼児健康診査	4～3 月	現在 1,157 人 約 1,700 人	健康診査は個別指導のみにした
	2 歳児歯科健康診査	4～3 月	現在 340 人 約 450 人	健康診査は個別指導のみにした
	乳幼児健康相談・母乳相談	4～3 月	現在 94 人 約 130 人	予約制にて実施した

担当課	令和3年度実績			
	取り組み	取り組み時期	参加人数等	その他
健康課	お口びかびか教室	中止	中止	中止
	成人健康相談、住民健診	相談4～3月 健診7～12月	相談2人 健診1,604人 (10月現在) 約2,000人 (見込)	予約制のため、希望する人が減少したと思われる
	こうた女性の会依頼防災訓練	—	—	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止
	歯周疾患検診	5～2月	453人 (11月現在) 約600人 (見込)	

こうた食生活改善ボランティア

町民の栄養および食生活の改善を推進するために、健康づくりに理解と関心のあるものを食生活改善ボランティアとして登録し、町が行う健康づくり事業に協力参加するとともに、資質向上を図り、実践活動を通して地域社会の食生活改善に寄与することを目的として、こうた食生活改善ボランティア人材登録バンクを設置しました。

定例会にて食について学び、野菜の種配布活動、親子食育活動、離乳食講習会等の地域活動を行っています。【新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、一部中止しているものもあります】



親子食育活動



定例会の様子

6 アンケート調査

(1) 調査の概要

① 調査の目的

地域の食生活状況を把握するための基礎資料として、アンケート調査を実施しました。

② 調査対象

幸田町内の保育園・幼稚園児（年少）の保護者、
小学5年生、中学2年生の児童生徒及びその保護者

③ 調査期間

令和3年7月1日から令和3年7月16日

④ 調査方法

各学校、保育園、幼稚園にて直接配布・回収

⑤ 回収状況

分 類	配 布 数	有効回答数	有効回答率
保育園・幼稚園児（年少）の保護者	328 通	281 通	85.7%
小学5年生・中学2年生	935 通	915 通	97.9%
小学5年生・中学2年生の保護者	957 通	857 通	89.6%

⑥ 調査結果の表示方法

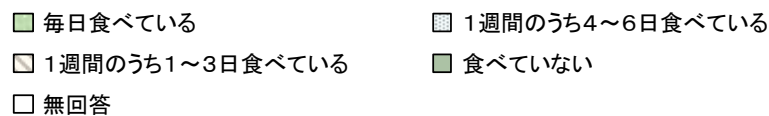
- 回答は各質問の回答者数（N）を基数とした百分率（％）で示してあります。また、小数点以下第2位を四捨五入しているため、内訳の合計が100.0%にならない場合があります。
- 複数回答が可能な設問の場合、回答者が全体に対してどのくらいの比率であるかという見方になるため、回答比率の合計が100.0%を超える場合があります。

（２）アンケート調査結果の概要

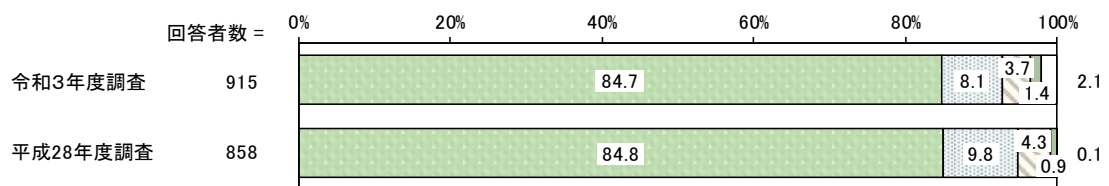
① 朝食の摂取状況

「朝ごはんを食べていますか。」について、小中学生において84.7%、小中学生の保護者において83.2%、保育園・幼稚園年少児において90.0%、保育園・幼稚園年少児の保護者において81.5%の割合で「毎日食べている」となっています。

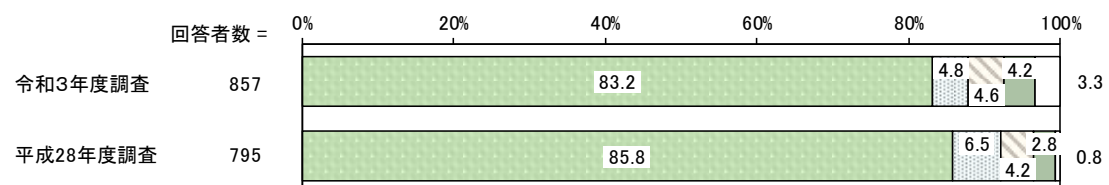
朝食の摂取状況



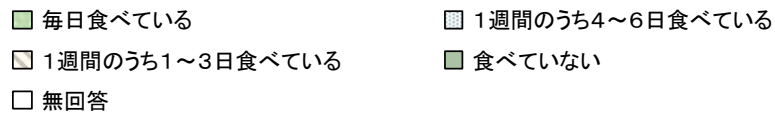
【小学5年生・中学2年生】



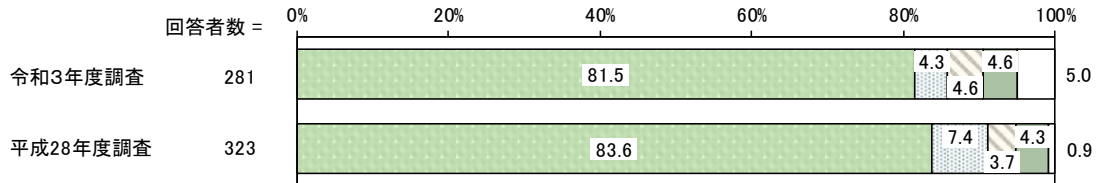
【小・中学生保護者】



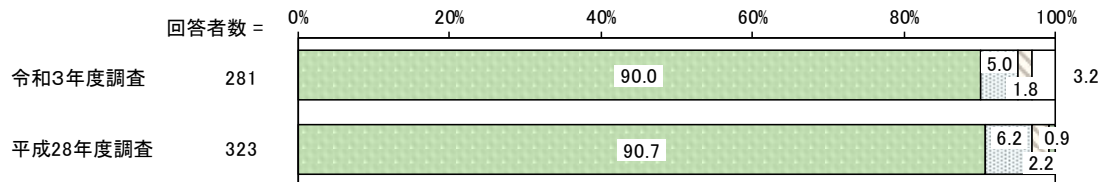
朝食の摂取状況



【保育園・幼稚園年少児保護者】



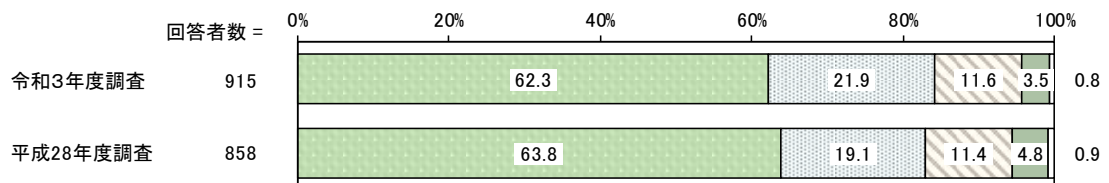
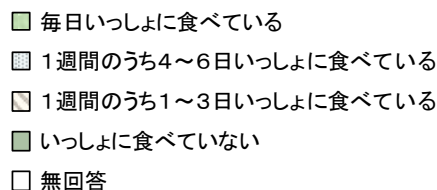
【保育園・幼稚園年少児】



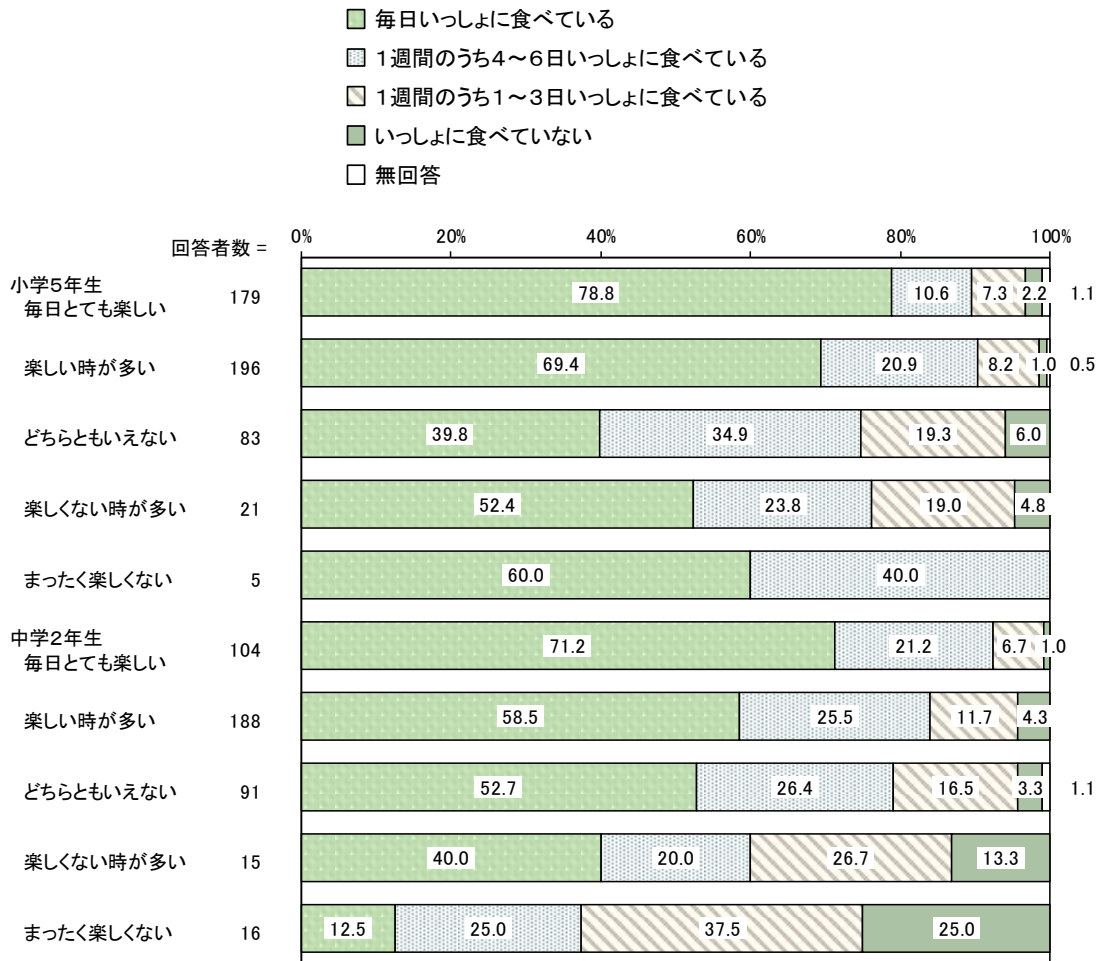
② 家族との食事

「夕ごはんは、家族の人（おとなの人）といっしょに食べていますか。」について、「毎日いっしょに食べている」の割合が62.3%と最も高く、次いで「1週間のうち4～6日いっしょに食べている」の割合が21.9%、「1週間のうち1～3日いっしょに食べている」の割合が11.6%となっています。また、家庭での食事の楽しさ別でみると、楽しさを感じる回数が多いほど、一緒に食べる回数の割合が大きくなる傾向にあります。特に中学2年生において、いっしょに食べている回数が少ないほど楽しさを感じる割合が少なくなっています。

夕ごはんは、家族の人（おとなの人）といっしょに食べているか



タごはんは、家族の人（おとなの人）といっしょに食べているか
（学年・家庭での食事の楽しさ別）



資料：幸田町食育に関するアンケート調査調査（令和3年9月）

共食の推進

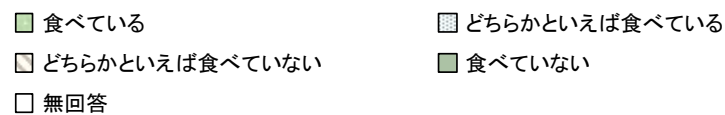
国内外の研究で家族との共食頻度が低い児童生徒で肥満・過体重が多いことが報告されています。日本人について、孤食頻度が高い中学生は、自覚的症状の訴えが多いこと、共食頻度が高い者は、野菜・果物・ご飯を「よく食べる」者が多いなど食物摂取状況が良好な傾向にあることが報告されています。欧米では、頻度が高い児童・生徒ほど、野菜・果物摂取量が多く、清涼飲料水の摂取量が低く、ビタミン、ミネラルの摂取量が多いことが報告されています。また、思春期の共食頻度の高さがその後の食物摂取状況とも関連することが報告されています。したがって、学童・思春期の共食を推進することは、健康状態、栄養素等摂取量等、食習慣の確立等につながると考えられます。

資料：健康日本21（第二次）の推進に関する参考資料

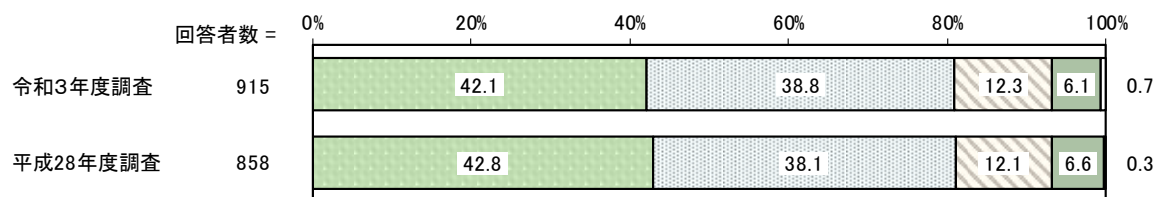
③ 家庭での行事食の摂取状況

「家庭で行事食【例：お正月にはおせち料理やお雑煮、土用にはうなぎ料理、冬至にはかぼちゃ料理など】を食べていますか。」について、「食べている」「どちらかといえば食べている」の割合が、小学生5年生・中学2年生、小・中学生保護者、保育園・幼稚園年少児保護者においては、8割前後と高くなっています。また、食べない理由については、小・中学生保護者、保育園・幼稚園年少児保護者においては、「用意するのが面倒」が5割近くとなっています。

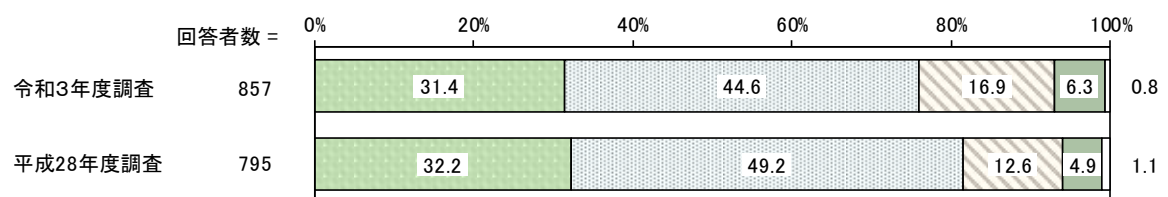
家庭で行事食を食べているか



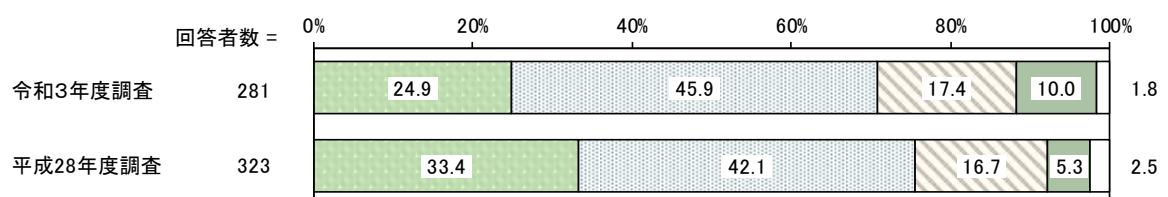
【小学5年生・中学2年生】



【小・中学生保護者】



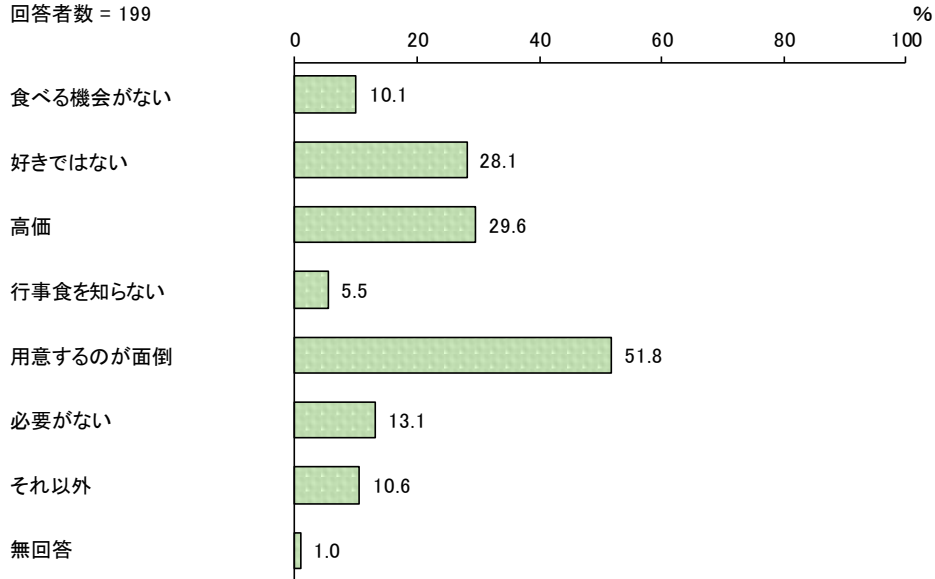
【保育園・幼稚園年少児保護者】



行事食を食べない理由

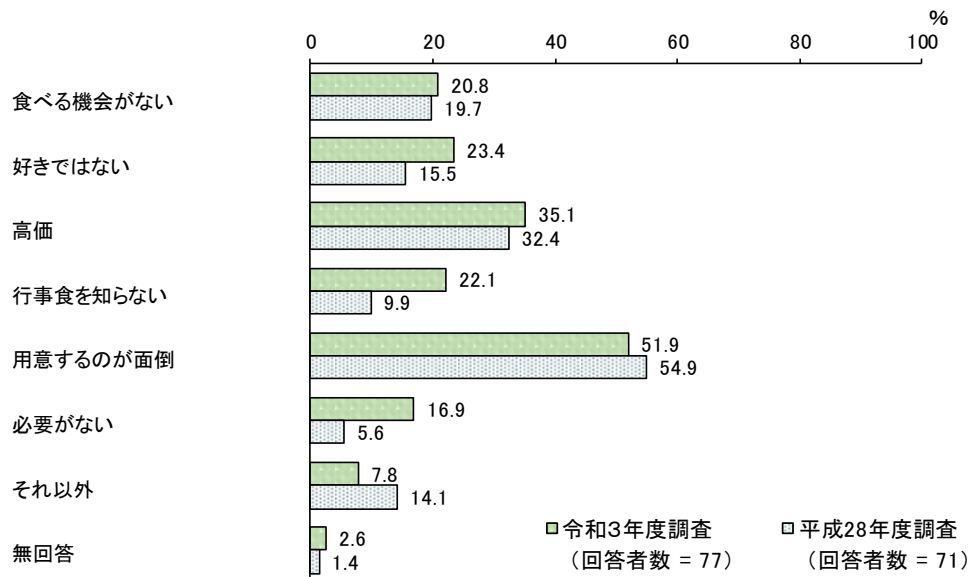
【小・中学生保護者】

回答者数 = 199



※令和3年度調査のみ

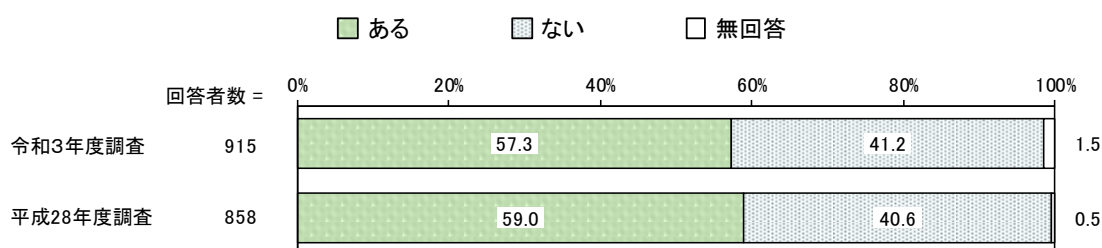
【保育園・幼稚園年少児保護者】



④ 学校以外での体験学習の参加

「これまで、あなたは学校以外で体験学習（田植えや稲刈り、野菜づくりなど）に参加したことはありますか。」について、「参加したことがない」の割合が4割前後となっています。

学校以外での体験学習（田植えや稲刈り、野菜づくりなど）の参加について



幸田町の学校での活動

幸田町では、小学校での活動として、近隣の農家の方々より指導していただき、町の特産品であるナス栽培の農業体験を実施しています。こうした農林漁業体験は、農林水産物の生産現場に関する関心や理解を深めるだけでなく、毎日の食事が自然の恩恵の上に成り立っていることや食に関わる人々の様々な活動に支えられていること等について理解を深める上で重要です。



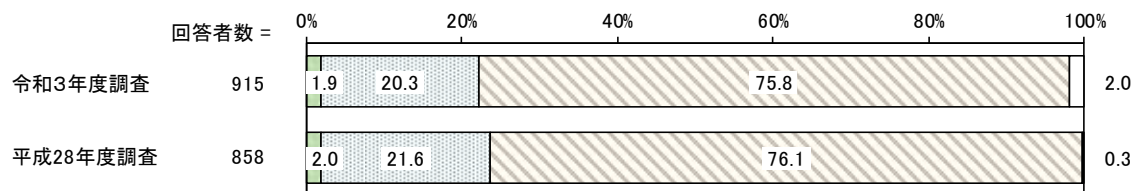
⑤ 「幸田町食育推進計画」の認知度

「あなたは、「幸田町食育推進計画」を知っていますか。」について、小学5年生・中学2年生、小・中学生保護者、保育園・幼稚園年少児保護者においては、「知らない」の割合が最も高くなっています。

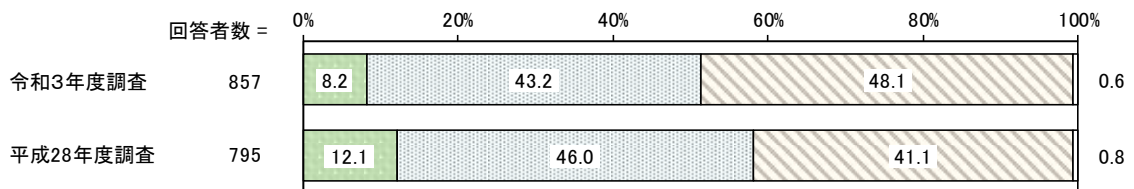
「幸田町食育推進計画」の認知度

- 知っている
- 名前を聞いたことがあるが、内容までは知らない
- 知らない
- 無回答

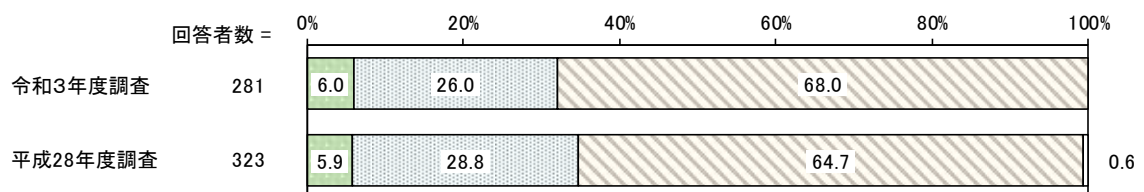
【小学5年生・中学2年生】



【小・中学生保護者】



【保育園・幼稚園年少児保護者】



7 前計画で掲げた数値目標の達成状況

前計画で掲げた数値目標の達成状況を確認します。

基本目標 1 食を通じて、健康で安心して暮らす

指標	対象	当初値 H28	目標値 R 3	現状値 R 3
朝食を毎日食べている人の割合 （「毎日食べている」人の割合の増加を目指します）	園児	90.7%	100.0%	90.0%
	小学生	88.9%	100.0%	87.4%
	中学生	80.8%	100.0%	82.0%
	保護者（園）	83.6%	100.0%	81.5%
	保護者（小中）	85.8%	100.0%	83.2%
「主食」「主菜」「副菜」をそろえて食べる人の割合（「1日2回以上」の割合の増加を目指します）	小学生	45.2%	80.0%	53.5%
	中学生	54.1%	80.0%	60.7%
	保護者（園）	35.9%	80.0%	36.7%
	保護者（小中）	35.6%	80.0%	39.2%
食育について知っている人の割合 （小中学生、保護者ともに、「言葉も内容もよく知っている」及び「言葉も内容もおおよそ知っている」人の割合の増加を目指します）	小学生	39.2%	90.0%	35.3%
	中学生	51.7%	90.0%	38.8%
食育について何らかの行動や活動をしている人の割合※ （「積極的にしている」及び「できるだけするようにしている」人の割合の増加を目指します）	保護者（園）	53.9%	80.0%	— （設問内容変更の為）
	保護者（小中）	59.6%	80.0%	55.4%

※食育について何らかの行動や活動（栄養バランスを考えた食事をする、地域農業を知る、食品の無駄を減らす、旬の野菜を使ったり、季節の料理を作る、規則正しい食生活を心がけるなど）

基本目標 2 食を通じて、豊かな人間性を育む

指標	対象	当初値 H28	目標値 R 3	現状値 R 3
夕食を家族（大人）と一緒に食べている人の割合 （「毎日一緒に食べている」人の割合の増加を目指します）	園児	87.3%	95.0%	87.9%
	小学生	69.8%	90.0%	66.5%
	中学生	57.6%	90.0%	57.8%
	保護者（園）	87.3%	95.0%	87.9%
	保護者（小中）	73.7%	90.0%	71.6%
家族での食事の時間が楽しいと感じる人の割合 （「毎日とても楽しい」及び「楽しい時が多い」の割合の増加を目指します）	小学生	76.6%	80.0%	76.2%
	中学生	69.3%	80.0%	70.0%
	保護者（園）	75.8%	80.0%	71.9%
	保護者（小中）	76.5%	80.0%	74.8%

基本目標 3 郷土の良さを知り、食文化を守り育てる

指標	対象	当初値 H28	目標値 R 3	現状値 R 3
幸田町で収穫される特産物を4品目以上知っている人の割合 (各種イベントでの紹介や産直施設での適切な産地表示等により周知し、地元産農作物を知っている人の増加を目指します) (幸田町で作られている有名な野菜やくだもの8種中4種以上知っている) ※指標内容変更のため、現状値が未記載となっています。	小学生	39.9%	80.0%	39.4%
	中学生	49.2%	80.0%	45.1%
	保護者(園)	44.3%	80.0%	—
	保護者(小中)	63.9%	80.0%	—

基本目標 4 環境にやさしい食生活に努める

指標	対象	当初値 H28	目標値 R 3	現状値 R 3
地産地消に関心のある人の割合 (「非常に関心のある」及び「どちらかといえば関心がある」の割合の増加を目指します)	保護者(園)	68.8%	80.0%	67.6%
	保護者(小中)	73.1%	80.0%	75.9%
食材の廃棄や食べ残しを減らす取り組みをしている人の割合 (「毎日行っている」人の割合の増加を目指します)	保護者(園)	43.0%	60.0%	46.3%
	保護者(小中)	46.8%	60.0%	49.6%



8 課題のまとめ

本町における食育に関する現状と課題を前計画の体系に沿って、次のようにまとめました。

基本目標 1 食を通じて、健康で安心して暮らす

現状	課題
○「主食」「主菜」「副菜」をそろえて食べる小中学生の割合は、前回調査と比べて増加しています。 ○子どもや保護者ともに、1割～2割近くの割合で毎日朝食を食べていない傾向にあります。 ○小中学生では、小学生の方が中学生より毎日朝食を食べている割合が高くなっています。また、保護者が朝食を食べる頻度が高くなるにつれて、子どもが朝食を食べる頻度が高くなる傾向があります。 ○食育の認知度は、前回調査と比べて、小中学生では、約9ポイント減少しています。 ○食育に関心のある保護者の割合は、約8割と前回調査と比べて、変化はありません。 ○食育や健康に関する啓発活動が新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響からイベントの中止や規模縮小により満足に実施できていません。	○食を通じて健康な体を作るためには、幼い頃から食事を中心に基本的な生活リズムを身に付け、生涯にわたって望ましい食生活を実践することが必要です。 ○生活習慣病の予防や改善のために、日常から望ましい食生活を意識し、実践することが重要であり、朝食欠食や栄養素等の偏りを無くしていく必要があります。 ○朝食をとることや早寝早起きを実践することなど、子どもの基本的な生活習慣づくりについて、個々の家庭や子どもの問題として見過ごすことなく、社会全体の問題として捉えることが重要です。 ○子どもの基本的な生活習慣づくりや生活リズムの向上に向けて、地域、学校、企業を含む民間団体等が家庭と連携・協働し、子どもとその保護者が一緒に生活習慣づくりの意識を高め、行動していく必要があります。 ○コロナ禍における啓発活動や保健指導などの効果的な実施方法について検討していく必要があります。

基本目標 2 食を通じて、豊かな人間性を育む

現状	課題
○夕食を家族と一緒に食べる子どもの割合が約6割に対し、朝食を家族と一緒に食べていない子どもの割合は約3割となっています。 ○家庭での食事の楽しさ別でみると、夕ごはんを家族の人と一緒に食べる回数が多いほど、食事を楽しんでいる傾向があります。特に中学生において、一緒に食べている回数が少ないほど楽しさを感じる割合が少なくなっています。 ○食育に関する行動や活動をしている人の割合は約5割、食育に関する行動や活動をしたいと思うが、実際にはしていない人の割合は3割以上となっています。 ○食育に関する行動や活動をしていない理由として「具体的に何をすればいいかわからない」「忙しい」の割合が5割以上となっています。 ○「こうした食生活改善ボランティア」の認知度は、子ども、保護者ともに8割以上となっています。 ○「いただきます」「ごちそうさま」をいつも言っている子どもの割合は、約6割となっており、前回調査と比べて変化はありません。 ○家事の手伝いをほとんどしない子どもの割合は前回調査と変わらず、約2割となっています。 ○コロナ禍において共食が困難となっており、家族以外で食事をする機会を作ることが難しくなっています。 ○新型コロナウイルス感染症の拡大によって、子どもや保護者では、「自宅で料理を作る回数」「自宅で食事を食べる回数」において「増えた・広がった」の割合は3割以上、「家族と食事を食べる回数」は2割以上となっています。	○近年では、高齢者の一人暮らし、ひとり親世帯、貧困の状況にある子ども等が増えるなど、様々な家庭環境や生活の多様化により、家族との共食が難しい人も増えています。家族との共食は難しいが、共食により食を通じたコミュニケーション等を図りたい人にとって、地域や所属するコミュニティ（職場等を含む）等を通じて、様々な人と共食する機会を持つことは重要です。 ○今後は、「新しい生活様式」に対応しつつ、地域等で共食したいと思う人が共食する割合を増やしていけるよう環境の整備を行っていく必要があります。 ○ひとり親世帯や貧困の状況にある子どもが増える中、共食が困難な家庭の増加が予想されます。こうした子どもたちが地域の子ども食堂等で、みんなで食事ができるよう支援を行っていく必要があります。 ○次世代の育成のために、若い世代が食育に関心を持ち、自ら食生活の改善等に取り組んでいけるよう効果的に情報を提供することが重要です。それとともに、地域等での共食によるコミュニケーションを通じて、食に関する理解や関心を深められるように食育を促進していく必要があります。

基本目標 3 郷土の良さを知り、食文化を守り育てる

現状	課題
○家庭で行事食を食べている人の割合は、7割以上とでしたが、保育園・幼稚園の保護者では前回調査と比べて、「食べている」の割合が約10ポイント近く減少しています。また、二世帯世帯と比べて、三世帯世帯の家庭の方が、家庭で行事食を食べている人の割合が高くなっています。 ○学校以外での体験学習に参加したいと思う子どもは約6割となっています。 ○新型コロナウイルス感染症の感染拡大による体験学習やイベントの開催の影響について、子どもや保護者ともに、「参加人数などの規模を縮小して活動を継続する」を希望する割合が最も高く、次いで「様々な工夫（オンライン等 ICT 技術）を凝らしながら活動を継続する」となっています。 ○子どもや親子が参加できる農業体験教室等の体験活動の場が、新型コロナウイルス感染症の影響から実施できていません。	○農林漁業に関する体験活動は、農林水産物の生産現場に関する関心や理解を深めるだけでなく、国民の食生活が自然の恩恵の上に成り立っていることや食に関わる人々の様々な活動に支えられていることなどに関する理解を深める上で重要です。 ○伝統的な食文化を絶やさないために、行事食などの料理教室や農業の体験学習などの参加を推進していく必要があります。 ○体験活動の場が「新しい生活様式」の環境下で実施できるよう検討していく必要があります。 ○次世代への食文化の継承が行えるよう、また、食への感謝を実感できるよう、子どもたちが農林漁業体験に参加しやすいように体験の周知を行い、参加率を上げていく必要があります。

基本目標 4 環境にやさしい食生活に努める

現状	課題
○地産地消の認知度は、小学生で2割半ば、中学生で7割と前回調査と比べて、増加しています。 ○地産地消に関心のある保護者について、小中学生の保護者では、「関心がある」の割合が7割半ばとなっており、前回調査と比べて、やや増加しています。一方、保育園・幼稚園保護者では、前回調査と比べて、「どちらかといえば関心がない」の割合が増加しています。 ○地産地消を実践している保護者について、小中学性の保護者の割合は7割以上、保育園・幼稚園保護者の割合は6割以上となっています。 ○家庭での食べ残しや食品に関係するゴミが出されることについて「もったいない」と感じる小中学生の割合は、約9割となっています。特に中学生では、「いつも感じる」の割合が約4割と、小学生と比べて、高くなっています。 ○食材の廃棄や食べ残しを減らす取り組みをしている人の割合は、4割半ば～5割と前回調査と比べて、やや増加しています。 ○環境に配慮した食品を選んでいる人は、5割以上となっています。 ○地産地消を進めるイベントでもあるこうした産業まつりが新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響から中止となっています。 ○「幸田町食育推進計画」の認知度について、「知らない」の割合が最も高くなっています。	○農林水産物の旬や生産地に対する認識が低下し、生産者と消費者の関係が希薄になるなどの問題も生じています。地産地消を行うことによって、地域の生産者の保護や活性化、運送による環境汚染の低減、といった SDGs の実現にもつながるなどの効果が見込めるため、地産地消を推進していくことは重要です。 ○「幸田町食育推進計画」についての認知度が低くなっており、周知・啓発に努めていく必要があります。 ○年代が若くなるにつれて、地産地消の意識や食品ロス削減の意識が薄くなっている傾向にあります。こうした意識が強く持てるよう啓発していく必要があります。 ○SDGs 時代にふさわしい農林水産業・食品産業を育成するためには、環境と調和した生産方法で作られた農林水産物・食品を消費すること、消費者の幸福や満足度の向上につながるとともに、その評価が農山漁村に還元され、環境と経済の好循環が生まれるという社会システムへの転換が必要です。 ○消費者に持続可能な農林水産物の価値を伝えるため、消費者の役割の自覚と日々の購買行動の変化を促す取組を推進していくことが必要です。 ○コロナ禍においても地産地消を推進できる方法を検討していく必要があります。



計画の基本的な考え方

1 基本理念

食は、人が生きていくために欠かせないものであり、生涯にわたって心身ともに健康でいきいきと暮らすための基礎となるものです。

本計画の上位計画にあたる第6次幸田町総合計画では、町の将来像を「みんなでつくる元気な幸田」と定め、健康分野の目標として、「お年寄りまでみんなが元気」を掲げています。

本計画は第6次幸田町総合計画と整合を図り、町民一人ひとりが、食に関心をもち、食を楽しみ、健全な食生活を実践する基本的な力を身につけ、健やかな心と体、豊かな人間性を育み、生涯を通じていきいきと暮らせるために食育を推進します。

また、食育に関する地域の資源をいかながら、行政だけではなく、地域、学校、職域、生産者、関係機関等が、協働で住民の食育の推進を支援し、健やかな生活を営むことができるまちづくりを推進します。

**知る・わかる・できる・支える
食育の推進**

2 基本目標

(1) 健康な体をつくる食生活の推進

生涯にわたりいきいきと暮らし、健康を保つため、栄養バランスに配慮した食生活や規則正しい食習慣の実践や生活環境や体の変化に応じた食生活の知識を得ること、生活習慣病の予防活動等、ライフステージの特性に応じた切れ目のない支援を推進します。

また、食への不安解消のため食品の安全性に関する情報提供を行うなど食の安全性の確保に努め、健康で安心して暮らすための施策を推進します。

(2) 豊かな人間形成と食文化の醸成

家族や友人と食卓を囲み、コミュニケーションを図りながら楽しく食事をする「共食」の重要性を周知するとともに、食に関する体験や交流の機会を充実し、食への感謝の気持ちを育て豊かな人間性を育みます。

また、日本の食文化や郷土料理等の理解と継承を進めるため、行政、地域の各種団体等と連携し、食の伝統を守り育てる取組みを推進します。

(3) 環境保全型の食環境整備の推進

地元農作物についてのわかりやすい効果的な PR の推進や、農業体験や地元産農作物に触れる機会を提供することで、食への理解を促し、地産地消を推進します。

また、農林水産業や食品関連産業における環境への配慮の徹底を働きかけます。

町民へは、「もったいない」の気持ちを大切に、食材やエネルギーの無駄をなくし浪費を防ぐよう努めるよう働きかけます。

(4) 食育を推進する仕組みの整備

食育を推進していくためには、町民一人ひとりが食育への意識を高めるとともに、食育にかかる人材の育成や行政や食育に関わる団体等がその特性をいかにしながら互いが連携・協力し、ネットワーク体制を強化していきます。

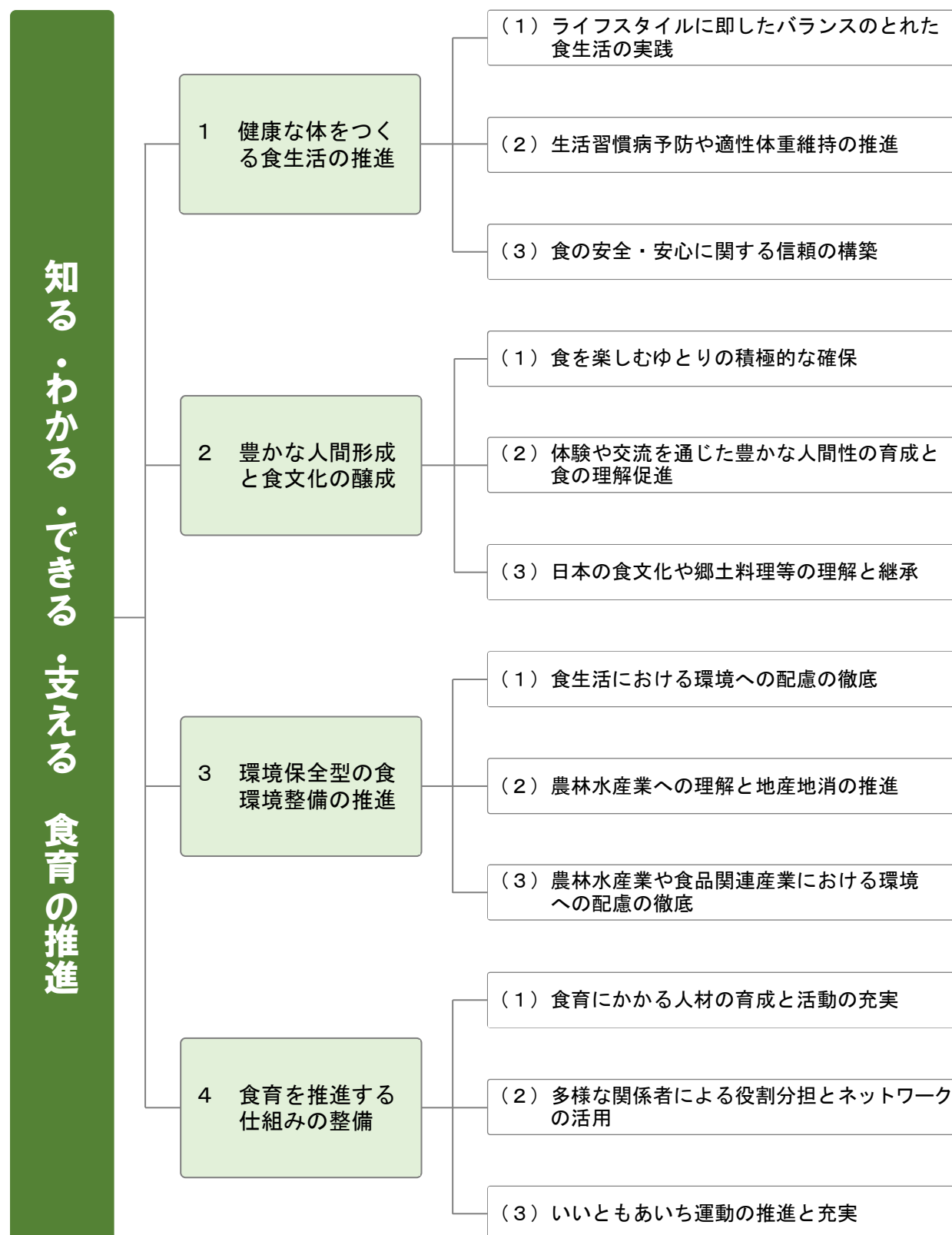
また、愛知県が進めている「いいともあいち運動」を推進します。

3 計画の体系図

[基本理念]

[基本目標]

[取組]





施策の展開

1 健康な体をつくる食生活の推進

生涯にわたりいきいきと暮らし、健康を保つためには生活リズムを整え、栄養バランスに配慮した食事をとるなど、健全な食生活を維持することが大切です。ライフステージの特性に応じた切れ目のない支援が重要となり、特に子どものうちから栄養バランスに配慮した食生活や規則正しい食習慣を実践すること、生活環境や体の変化に応じた食生活の知識を得ることは、生活習慣病の予防に役立ち、将来の健康をつくります。「主食・主菜・副菜を組み合わせた食事」を栄養バランスに配慮した食事の目安とし、様々な機会や媒体を通じて啓発します。

また、食への不安解消のため食品の安全性に関する情報提供を行うなど食の安全性の確保に努め、健康で安心して暮らすために必要な施策を推進していきます。

(1) ライフスタイルに即したバランスのとれた食生活の実践

市民の取組

○一日の活力の源となる朝食を必ず食べるようにしましょう。

朝食をとることは、脳やからだにエネルギーが取り込まれ、朝から活動的に過ごすことができます。

○早寝早起きを心がけ、さわやかに目覚めて、生活のリズムを整えましょう。

○栄養バランスの整った食事を取り入れましょう。

自分に合った食事内容や量を理解し、主食・主菜・副菜をそろえて食べるようにしましょう。

○親は自分の生活習慣が子どもに影響することを理解し、日頃の生活習慣を見直しましょう。

行政や団体等の取組

施策の方向	内 容
栄養バランスのとれた主食・主菜・副菜のそろった食生活の普及活動	生涯を通じた健康づくりのために栄養バランスのとれた主食・主菜・副菜のそろった食生活に関する情報提供をし、実践の機会を設け、健康寿命の延伸をめざします。 また、地域の食を通じた健康づくりを実践する食に関するボランティアグループ等を育成し、活動を支援します。

施策の方向	内 容
「早寝・早起き・朝ごはん」運動の積極的な推進	子どもの基本的な生活習慣を形成し、生活リズムを整えるため、「早寝・早起き・朝ごはん」運動を推進します。また、併せて朝食の必要性を啓発し、欠食を減らします。
ライフステージに合わせた食生活支援や食生活の情報提供	それぞれのライフステージに応じて、適切な食生活が送れるよう、食生活支援やこれに係わる情報提供を行います。特に、保護者の生活習慣が子どもに影響することから、保護者への周知・啓発に力を入れます。
学校教育での食に関する指導の充実	給食の時間や総合的な学習の時間などを通して、食に関する指導を継続的に行い、健康に関する関心を高めます。また、PTAや食に関わるボランティアグループ等との連携を強化します。
妊産婦や乳幼児をもつ親への食育の推進	マタニティ教室や乳幼児健康診査等で健康教育や情報提供を行うとともに、食の重要性を啓発します。
高齢期における食による健康推進の維持	食生活の偏りや、食事量・回数が減ることでフレイルや低栄養とならないよう、予防の必要性を周知するとともに、必要な栄養素がとれるよう食事のとり方について助言・指導します。

(2) 生活習慣病予防や適性体重維持の推進

町民の取組

- 肥満・生活習慣病・メタボリックシンドロームを予防するために、日常生活にウォーキング等を取り入れ、適正体重を維持しましょう。
- 子どもから大人までいつまでも自分の歯でよく噛んで、おいしく食事をするために、歯を大切にしましょう。

行政や団体等の取組

施策の方向	内 容
健康診査・保健指導の充実	高血圧症、糖尿病などの生活習慣に起因すると考えられる生活習慣病の発病や重症化を予防するため、健康診査の積極的な受診を啓発し、保健指導の充実を図ります。 歯科健康診査や歯科保健指導の充実を図り、歯の大切さを始め、むし歯や歯周病に関する正しい知識の普及啓発を推進します。
思春期からの適正体重の維持の推進	学校関係者の連携による知識の普及啓発を図り、肥満や女性のやせ問題の予防に取り組みます。
地域における健康寿命延伸につながる食育の推進	地域特性を踏まえた食生活の改善のための継続的な食環境づくりを推進します。 年代に応じた食べ方や噛む大切さを啓発します。
野菜摂取量増加の取組の拡充	野菜摂取量が少ない背景を調査するとともに、摂取量増加の取組を多様な関係者へ拡充します

(3) 食の安全・安心に関する信頼の構築

町民の取組

- 食の安全性に関心を持ち、正しい情報に基づいた食生活を送りましょう。
- 食品購入時には、食品表示をきちんと見ることや、家庭での衛生的な取扱いを心がけましょう。
- 地元産農作物の購入により、新鮮で安全・安心な食事をとりましょう。

行政や団体等の取組

施策の方向	内 容
食の安全性に関する情報提供	町民が、適切な食生活の選択ができるよう、関係機関が連携し、食品の安全性に関する知識と理解を深めるための情報提供を行います。
食の安全の確保	給食の提供は、学校給食衛生管理の基準のもと、安全な調理に努めます。給食の食材においては、産地・製造工場・食品細菌検査成績書等の提示を求める等、給食物資選定委員会において、安全で良質な物資を確保するよう努めます。また、引き続き資料提供を進め、学校給食等における食物アレルギーへの対応を進めます。

食品表示について

食品のパッケージには消費期限や賞味期限、名称、原材料名、添加物、エネルギー、栄養成分等、一定の情報を記載することが定められています。健康や安全に配慮した食品選びができるよう、役立つ情報が表示されています。



名称	食パン
原材料名	小麦粉（国内製造）、糖類、バター、 パン酵母、食塩、発酵種、脱脂粉 乳／乳化剤、イーストフード （一部に乳成分・小麦・大豆を含む）
アレルギー	アレルギーを含む 特定原材料は全て明記！
栄養成分表示（1枚当たり）	栄養成分表示が義務化！ エネルギー 199kcal たんぱく質 5.9 g 脂 質 3.2 g 炭水化物 36.6 g 食塩相当量 0.9 g ナトリウム→食塩相当量へ

原材料と添加物を区別！

食品表示は「いつまでおいしく食べられるのか」「食品が何から作られているのか」などの情報がわかる、いわば食品の自己紹介といえます。安全・安心な食生活を送るうえで欠かせない情報源である食品表示を上手に活用しましょう。

※詳細は消費者庁のホームページでご確認ください。

2 豊かな人間形成と食文化の醸成

家族や友人と食卓を囲み、コミュニケーションを図りながら楽しく食事をする「共食」は、食育の原点であり、食事のマナーや食文化を学ぶ機会となり、豊かな心をはぐくみます。しかし、少子高齢化や核家族化、ライフスタイルの多様化により、共食の機会が減り、一人で食事をする「孤食」が増えていることが問題視されています。

会話を交わすことで食事の楽しさを実感でき、こころの豊かさをもたらします。ライフステージにおいては、乳幼児期や少年・青年期では食に関するあいさつやマナーが身に付く機会となり、高齢期ではフレイル予防や社会参加の促進につながることから、共食の重要性を啓発し、家族や友人、各年代で地域の様々な人々が一緒に楽しく食事をする機会をつくるよう働きかけていきます。

また、食は日々の調理や食事等の体験とも深く結びついています。食との関係が消費のみにとどまるのではなく、農林漁業体験や調理体験等を通して地産地消の大切さや生産から消費までの過程を理解することで、環境に配慮した食生活の実践につながることを期待されます。このため、体験を通じて学ぶ機会を得られるよう、地域の農林漁業者や教育関係者等の多様な機関と連携・協働し、体験活動を推進していきます。

本町には日本一の生産量を誇る筆柿やなすをはじめとした豊かな農作物があります。地域の農作物や特産物を地域で食べ、共有することで、食文化の継承につなげます。

米を主食に、農作物、畜産物、水産物等多様な副食から構成された「日本型食生活」は栄養バランスに優れているといわれています。「日本型食生活」を積極的に取り入れるとともに、箸の使い方等の日本食のマナーや、旬の食材を積極的に料理に取り入れ、地域や家庭の食文化の伝承を図ります。家庭の味や食文化を継承し、食の伝統を守り育てるための施策を行政、地域の各種団体等と連携し推進していきます。

(1) 食を楽しむゆとりの積極的な確保

町民の取組

○家族や友人等と一緒に、楽しくコミュニケーションを図りながら30分以上かけてとるように心がけましょう。

「個」食、「孤」食になりがちな現代、コミュニケーションの場として家族のどんらんや友人と一緒に食卓を囲み、会話を楽しみながらゆったりとした食事をしましょう。また、作られたものを食べるだけではなく、家庭での調理の手伝いや自分で料理を作る等、家族や仲間と一緒に「食」を楽しみましょう。

○五感を使って食事を楽しみましょう。

五感（「見る」、「かぐ」、「聞く」、「触る」、「味わう」）を使って食材や料理を感じ、食卓や料理にひと工夫する等、食事を楽しみましょう。

○食事のマナーを身に付けましょう。

食事のマナーは、きれいに食べるためや一緒にいる人に不快感を与えず、みんなで楽しく食事をするためのものです。「背筋を伸ばして座る」「ひじをついて食べない」「はしを正しく持ち、使い方に気をつける」等の食事のマナーを身に付けましょう。また、食事のあいさつは必ずしましょう。食卓が明るくなり、会話がはずむきっかけにもなります。

行政や団体等の取組

施策の方向	内 容
「食育月間(6月)」「食育の日(毎月19日)」及び「おうちでごはんの日(毎月19日)」の普及	国の食育推進基本計画では、毎年6月を「食育月間」、毎月19日を「食育の日」と定めています。また、あいち食育いきいきプランでは、「食育の日」に合わせ、毎月19日を「おうちでごはんの日」とし、家族や友人と一緒に楽しく食事をとることを普及啓発しています。
家庭での食を通じたコミュニケーションの促進	子どもが家族のために、簡単な料理を作ったり、後片付けを手伝うなどを通じて、家族で楽しく食事をしたり、マナーを身につけることができるよう、家庭での食を通じたコミュニケーションの必要性を啓発します。
給食等を通じたコミュニケーションの促進	小・中学校においては、みんなと一緒に会食・交流する給食の機会を通して、食べることの大切さを理解し、自分の健康について考えることができ、自分の適量を知るということも含めて、栄養の偏りのない望ましい食事の摂り方を身につけるようにします。 また、給食を通じて食事のマナーを身につけるとともに、仲間との食事のなかから、子どもたちに思いやりの心や感謝の気持ちが育つような取組みを推進します。 保育園・幼稚園においては、給食や行事、会食会、異年齢交流等を通して楽しい雰囲気の中で感染症対策を行い、(会話をしながら)食のおいしさを味わい、一緒に食べる楽しさを経験し、食に対する興味を持たせます。
みんなで食べることの重要性の周知・啓発	みんなで食事をすることは、ただ食べるだけでなく、会話がうまれ食事がより一層おいしく感じられます。みんなで食べることの重要性や効果を積極的に発信します。また、地域での行事やイベント等を活用し、感染症対策を行い、様々な年代の人が一緒に食事をとる機会をつくるよう働きかけます。
子どもや高齢者等の『こ』食への対応	子どもや高齢者等の『こ』食(孤食、個食、固食、粉食、小食、濃食)の解消のための対策について情報提供をします。

(2) 体験や交流を通じた豊かな人間性の育成と食の理解促進

町民の取組

○食べ物の生産現場を見学・体験しましょう。

食べ物が動植物の命をもとにしていることを実感し、食にかかわる様々な人々の活動への理解を深めるため、農林漁業や食品製造現場の見学・体験に参加する等、食べ物が生産される現場に触れる機会を積極的につくりましょう。

○「食」への感謝の心を育みましょう。

「食」には自然の恵みや、生産者を始めとする多くの人の苦労や努力があることを理解しましょう。「いただきます」「ごちそうさま」には、自然への恩恵、米や野菜などを作った人、料理をしてくれた人への感謝等のさまざまな感謝の気持ちが込められていると言われています。食事のあいさつを必ずする習慣を身に付け、「食」に対する感謝の心を育むことが大切です。

行政や団体等の取組

施策の方向	内 容
料理教室の充実	自分で料理することの達成感や、料理したものを食べる喜びを実感できる機会をつくり、家庭での実践につながるようにします。
給食センターにおける食に関する体験活動の充実	給食センターにおいては、学校給食に関する理解を深めるために、施設の見学の受入れや、研修を行っています。
学校等における食・農業に関する体験活動の充実	学校等において田植え等の農作業体験活動や栽培・収穫した食材を調理して食べるまでの体験により、子どもたちが自然の恵みを実感し、農作物を身近に感じることができる教育・保育現場での活動の充実を図ります。
町民に対する食・農業に関する体験活動の充実	食と農の関わりについて町民の理解を深めるため、「夏休み子ども農業体験教室」等の各種体験活動を開催します。 また、地元産農作物の産直施設（幸田憩の農園、道の駅筆柿の里・幸田等）、JAあいち三河幸田営農センターを食や農業に関する体験・学習の場として活用していきます。 農地を持たない町民の方が、より身近に「農」に親しめるよう「幸田ふれあい農園」等における農作業体験を推進する取組みを周知・促進します。

（３）日本の食文化や郷土料理等の理解と継承

町民の取組

○食文化を継承しましょう。

地域の食材に親しみ、行事食などの伝統料理を取り入れましょう。

○旬の食材を食事へ利用しましょう。

本町では、特産物の筆柿・いちご・なすをはじめ、いろいろな野菜や果物が栽培されています。このような地元で採れる野菜・果物の旬を知り、積極的に旬の食材を食事に取り入れましょう。

○「日本型食生活」を積極的に取り入れましょう。

行政や団体等の取組

施策の方向	内 容
給食等における郷土料理や行事食の導入・継承	この地方にまつわる郷土料理や行事食をPRするとともに、学校給食に取り入れ、それらの食文化に触れる機会を設けます。また、地元農作物を活用した新たな料理等の開発、定着を支援します。
日本型食生活の推進	家庭や学校給食において、地元の旬の食材や伝統的な食文化を反映した献立を取り入れられるよう普及します。
食文化に関する知識の普及啓発	食に関するボランティアグループ等が講座を開催し、伝統料理等を取り入れる取組みを進めます。
子どもに対する食事作法の習得	家庭や学校給食において、箸の使い方や食事の並べ方、食事の姿勢などの食事作法や所作の習得に取り組みます。

和食：日本人の伝統的な食文化

ユネスコ無形文化遺産に登録された「和食」とは、「自然を尊重する」というところに基づいた、日本人の食習慣であり、以下の特徴があります。

① 多様で新鮮な食材とその持ち味の尊重

南北に長く、海、山、里と表情豊かな自然が広がる日本の国土。各地で地域に根ざした多様な食材が用いられ、素材の味わいを活かす調理技術・調理道具が発達しています。

② 健康的な食生活を支える栄養バランス

一汁三菜を基本とする食生活は栄養バランスがとりやすく、だしの「うま味」や発酵食品をうまく使い、動物性油脂の摂取量もセーブ。日本人の長寿や肥満防止に役立っています。

③ 自然の美しさや季節のうつろいの表現

季節の花や葉などで料理を飾りつけたり、季節にあった調度品や器を利用するなど、自然の美しさや四季の移ろいを表現することも和食文化の特徴のひとつです。

④ 正月などの年中行事との密接な関わり

日本の食文化は、年中行事と密接に関わって育まれてきました。自然の恵みである「食」を分け合い、食の時間を共にすることで、家族や地域の絆を深めてきました。

資料：「和食文化の継承の取組について」農林水産省



3 環境保全型の食環境整備の推進

地域でとれた食材をその地域で消費する地産地消は、新鮮で安心できる食材が手に入るため、住民の健康に寄与し、町全体を活性化させます。地元農作物についてのわかりやすい効果的なPRの推進や、農業体験や地元産農作物に触れる機会を提供することで、食への理解を促し、地産地消につなげます。

また、学校給食においても地域で作られた農作物を取り入れ、地産地消を進めます。

さらに、現代は食べたいものがすぐに手に入る飽食の時代である一方、大量の食品が食べられないまま捨てられる食品ロスが問題となっています。食材がもつ本来の価値を大切にする「もったいない」の心を持って、調理の工夫など、食べ残しや食品の廃棄を減らし、環境に配慮した取組みを推進することで、食環境の改善につなげ環境にやさしい食生活が実践できるために必要な施策を推進していきます。

(1) 食生活における環境への配慮の徹底

町民の取組

○地域の農業について、理解を深めましょう。

農業体験や地元産農作物に積極的に触れ、地域の食材の消費拡大に努めます。

行政や団体等の取組

施策の方向	内 容
地場産業の消費宣伝	こうた産業まつりやさわやかウォーキングなどのイベント等を活用し、地元産農作物をPRし、消費の拡大を図ります。
給食等への地場産物利用のための体制・条件整備	地産地消の仕組みづくりを行い、地域で生産・収穫された農作物を最大限に給食等に活用できるよう、安定した供給体制の確立を目指します。

(2) 農林水産業への理解と地産地消の推進

町民の取組

○地産地消の良さを学びましょう。

身近でとれた食材は、新鮮・安全であるとともに、輸送にかかるエネルギーが少なく、環境にやさしいものです。地産地消を意識した購入方法を習慣化させましょう。

○地域の農業や農作物について、理解を深めましょう。

行政や団体等の取組

施策の方向	内 容
地産地消を実践する料理レシピの普及・啓発	地産地消の推進により地元産農作物の消費拡大を図るとともに、消費者が地域の新鮮で安全な食材を使って豊かな食生活を楽しむことができるよう、料理レシピの作成を啓発・支援します。
地産地消に関する情報の提供・啓発	地産地消に関する情報を提供し、その取組みに対して町民が理解し、実践に結びつくよう啓発します。
道の駅などで生産者と消費者の交流促進	道の駅「筆柿の里・幸田」や農産物直売所などの情報を提供することで、生産者と消費者の交流を促進します。
地域の農業・農作物を守るための取組みの推進	筆柿を始めとした町の特産物の産地として、維持・発展する取組みを進めます。 また、町で採れる豊かな農作物を利用した新たな加工品の開発に取り組みます。
地域農業・農作物を学ぶ学校教育等の充実	給食の時間や総合的な学習の時間の中で、特産物の紹介を行う等、本町の農業や農作物を学ぶことができる学習の場の充実を図ります。

(3) 農林水産業や食品関連産業における環境への配慮の徹底

町民の取組

○「もったいない」という気持ちを持ち、無駄を減らしましょう。

「もったいない」という意識を持って、食べ残しや食品の廃棄を減らす努力をし、食料の無駄をなくし、浪費を防ぐよう努めましょう。食事の時には、食べきれるだけの量を作る、注文する等して食べ残しが出ないように心がけましょう。

○食材・エネルギー・水を大切に使う料理しましょう。

食材を丸ごと使うように心がけ、電気やガス、水を大切に使う料理しましょう。
また、食材や食器を洗う際は、洗剤を使いすぎないようにしましょう。

○食品容器のリサイクルに参加・協力しましょう。

ビン、缶、ペットボトルや食品トレーなど食品容器のリサイクルに積極的に参加・協力しましょう。また、容器は、繰り返し使える物の利用を心がけましょう。

行政や団体等の取組

施策の方向	内 容
食品ロス削減の推進	食品廃棄物の減量化や食品廃棄物のリサイクルを推進します。給食の調理作業において、野菜くずを少なくする工夫をして作業を進めます。また、学校、保育園・幼稚園においては、食の大切さ・感謝する心を育むことで、給食で発生する残菜等の減少に取り組めます。家庭から出る使用済のてんぷら油を回収し、資源化を図り、循環型社会の形成をすすめます。
環境にやさしい農業の推進	環境の保全と生産性の維持が調和した環境保全型農業を推進し、消費者の求める安全・安心な農作物の提供のため、化学肥料や化学合成農薬をできるだけ減らす等、環境にやさしい農業に取り組み、消費者への周知も図ります。

食品ロスの現状

まだ食べられるのに、捨てられてしまう食べ物のことを「食品ロス」といいます。現在、日本では約 612 万トンもの食料が捨てられており、環境の悪化などにもつながるため、解決していく必要があります。国では、食品ロス削減推進法（正式名称：食品ロスの削減の推進に関する法律）が制定され、毎年 10 月を食品ロス削減月間、10 月 30 日を食品ロス削減の日と定めています。食品ロスの削減に向けた取り組みを広げていくため啓発資材の提供、イベントの開催などを実施しています。

資料：「食品ロスの現状を知る」農林水産省



4 食育を推進する仕組みの整備

食育を広めていくための人材の育成をすすめるため、県等が主催する研修会等を通じて管理栄養士や栄養士師等の資質の向上を図るとともに、食生活健康推進員等の地域のボランティアの育成に努めます。また、食に関するボランティアや関係団体等と連携・協働し、食育の推進を図ります。さらに、いいともあいち運動の推進と充実に取り組みます。

(1) 食育にかかる人材の育成と活動の充実

町民の取組

○食に関わる関係者の育成等の取組を理解しましょう。

食に関わる関係者の育成等の取組に対して理解し、食に関するボランティアグループ等の活動に参加してみましょう。

行政や団体等の取組

施策の方向	内 容
食育推進にあたる人材の活動の支援及び促進	消費者と農業者の交流や地元農作物の普及を推進する農業者団体等を育成し、活動を支援します。
保育・教育機関における推進体制の充実	指導計画へ食育を位置付けるとともに、職員研修を行います。 小中学校等への栄養教諭の配置促進や推進組織づくりを行います。 保健体育・家庭科等での啓発資料活用や教職員研修を行います。
社会人を対象とした推進体制の充実	管理栄養士・栄養士を対象とした研修会の開催や配置を推進します。 企業における食育の推進を図ります。
食に関するボランティアグループの育成と活動の充実	食に関するボランティアグループの登録を推進し、研修会等による育成を図ります。 食に関するボランティアグループの活動の場を提供します。
食育を担う多様な人材の育成と活動の促進	こうた食生活改善ボランティアを対象とした講習会を開催します。 生涯学習支援ボランティア等へ食育情報を提供します。 調理師等専門技能を持つ人へ協力を呼びかけます。 農林漁業を体験させる指導者の育成と活動促進を図ります。

(2) 多様な関係者による役割分担とネットワークの活用

町民の取組

○地域の農業や農地を守るための活動に、地域で積極的に参加しましょう。

行政や団体等の取組

施策の方向	内 容
活動主体同士の情報共有と連携のさらなる強化	行政や団体、教育機関、企業等との連携による食育活動の場を提供します。 シンポジウム等の開催による幅広い関係者の情報共有や各地域でのボランティア活動報告会等の開催、地域の実情に応じたボランティア活動の支援、学校や企業等との連携強化などを固めます。 学校では、栄養教諭が中核となり、生産者等と連携した体験活動などを実施します。
ネットワークを活用した関係者間の情報共有	各ネットワーク内での食育情報の受発信・共有体制を構築します。 国の「全国食育推進ネットワーク「みんなの食育」」を活用して食育情報を共有します。
食育に関する情報発信の充実	科学的根拠に留意した情報を発信します。 食育の総合情報サイト「食育ネットあいち」の充実を図ります。
地域の農地を守るための取組みの推進	地域の自然や農地の保全のための取組みを推進、支援していきます。併せて、遊休農地の解消を目指します。

(3) いいともあいち運動の推進と充実

町民の取組

○「いいともあいち運動」に関心を持ち、理解しましょう。

行政や団体等の取組

施策の方向	内 容
運動の定着促進	いいともあいちネットワーク会員や、いいともあいちサポーターの登録推進を図ります。 いいともあいち推進店の拡充など県産品の購入・消費の機会を拡大します。
協働活動の充実	ネットワーク会員と消費者とのつながりを強化するため、地域毎の交流会の開催等を行います。
積極的な情報発信による県産農林水産物の利用拡大	いいともあいち推進店やコンビニエンスストア、スーパーマーケット等との連携によるイベント等の開催やシンボルマークの商品への貼付等により、県産品のPRを行います。 イベントやSNS等を用いた県産農林水産物等の情報や関連事業者の取組に関する情報を発信します。



計画の推進

1 食育推進のための啓発、情報提供

食育を適切に浸透させていくためには、町民の生活に根差した分かりやすい情報提供が不可欠です。本計画で掲げた各取組みを推進するにあたり、各関係部署において、町民が日ごろの生活の場で食育を実践できるよう、分かりやすい情報提供に努め、効果的な広報啓発活動を行います。

また、町民だけでなく、広く食育の関係者が食育に対する関心と理解を深めるため、食育に関する施策や本計画を基にした事業の情報を、町の広報誌やホームページ、パンフレット等により提供していきます。

2 ライフステージに合わせた食育推進の取組

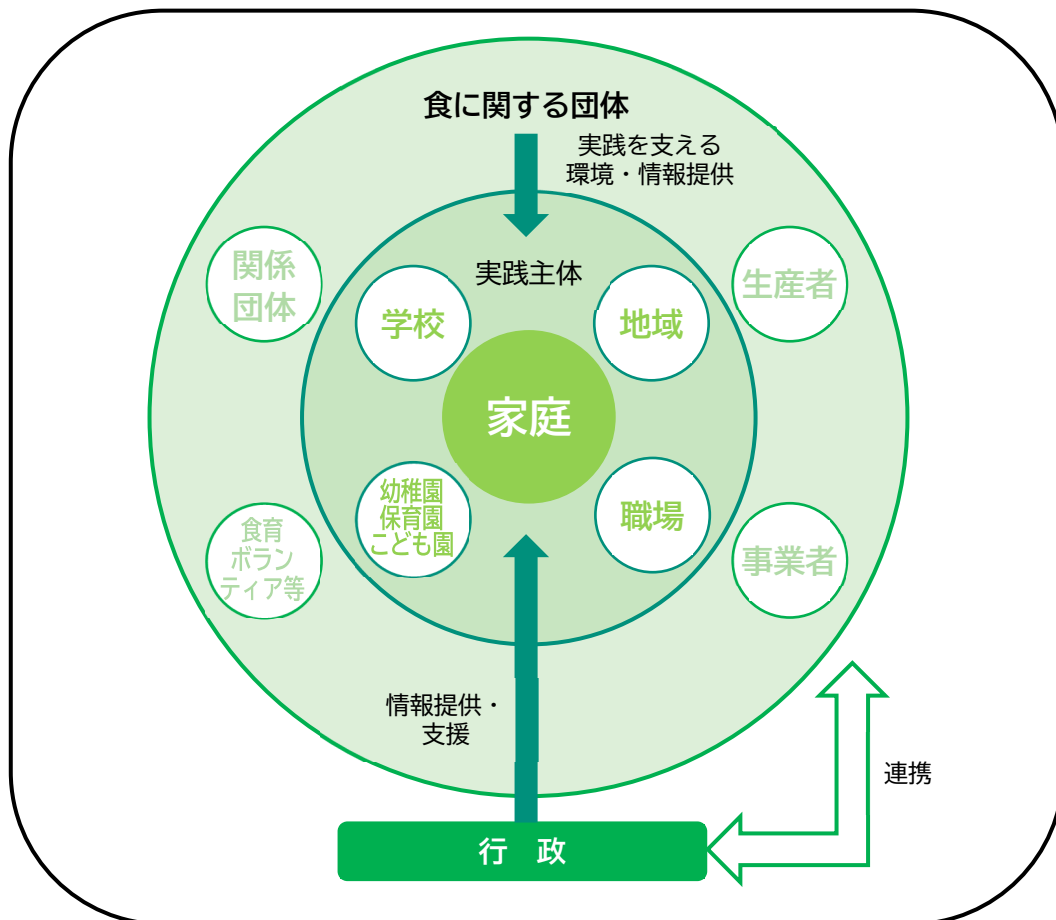
食育は、あらゆる世代に対し、生涯を通じて切れ目なく行うことが必要です。しかし、世代によってライフスタイルが異なり、食に対する意識も環境も多様であるため、それぞれの世代における課題の把握、取組みが必要になります。本計画では、乳幼児期、少年・青年期、壮年・中年期、高齢期の4段階に区分し、それぞれのライフステージに応じた目標を設定し、食育を推進していきます。

区分	年齢の目安	内容目標(取組内容)
乳幼児期	0～5歳頃	食の楽しさを感じ、食習慣の基礎をつくる。
少年・青年期	6～22歳頃	食の大切さに関心を深め、望ましい食習慣を身につける。
壮年・中年期	23～64歳頃	食事を見直し、健康を再認識し、生活習慣病を予防する。
高齢期	65歳頃以上	いつまでも食を楽しみ、次世代へ食文化を継承する。

3 食育に関わる連携・協働体制の構築

食育を推進するためには、食に関する様々な団体の連携が重要です。家庭をはじめとした実践主体が、食育活動に取り組むために、行政や食に関わる団体等が連携し、ライフステージに応じた食生活の実践に必要な情報提供や、魅力的な食育活動の機会の提供を行います。

食育に関わる連携・協働体制の構築のイメージ図



4 計画の進行管理と評価

本計画を着実に推進していくためには、計画の進捗状況を常にチェックし、取組内容を修正するなど、柔軟に対応していくことが求められます。庁内外の食育事業関係部局からなる「幸田町食育推進会議部会」を設置し、基本目標ごとに掲げている施策に対する関係事業の進捗状況を年度毎に確認します。さらに、食育事業を総合的、継続的かつ横断的に行うため、行政、食育関係機関等で構成される「幸田町食育推進会議」を設置し、各施策や関係事業を評価します。

5 数値目標

数値目標は、本計画における4つの基本目標の達成状況を客観的に把握・評価するために定めたもので、計画や取組みに反映し活用します。下表は、アンケート結果からの課題や計画等に基づき設定しました。

基本目標1：健康な体をつくる食生活の推進のための目標

指標	対象	現状値 R 3	目標値 R 8
朝食を毎日食べている人の割合（「毎日食べている」人の割合の増加を目指します）	園児	90.0%	100.0%
	小学生	87.4%	100.0%
	中学生	82.0%	100.0%
	保護者（園）	81.5%	100.0%
	保護者（小中）	83.2%	100.0%
「主食」「主菜」「副菜」をそろえて食べる人の割合（「1日2回以上」の割合の増加を目指します）	小学生	53.5%	80.0%
	中学生	60.7%	80.0%
	保護者（園）	36.7%	80.0%
	保護者（小中）	39.2%	80.0%
食育について知っている人の割合 （小中学生、保護者ともに、「言葉も内容もよく知っている」及び「言葉も内容もおおよそ知っている」人の割合の増加を目指します）	小学生	35.3%	90.0%
	中学生	38.8%	90.0%
食育について何らかの行動や活動をしていない人の割合 （何らかの行動や活動をしていない人の割合の減少を目指します）	保護者（園）	1.4%	0.0%
	保護者（小中）	42.9%	30.0%

基本目標2：豊かな人間形成と食文化の醸成のための目標

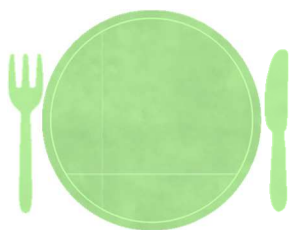
指標	対象	現状値 R 3	目標値 R 8
夕食を家族（大人）と一緒に食べている人の割合 （「毎日一緒に食べている」人の割合の増加を目指します）	小学生	66.5%	90.0%
	中学生	57.8%	90.0%
	保護者（園）	87.9%	95.0%
	保護者（小中）	71.6%	90.0%
家族での食事の時間が楽しいと感じる人の割合 （「毎日とても楽しい」及び「楽しい時が多い」の割合の増加を目指します）	小学生	76.2%	80.0%
	中学生	70.0%	80.0%
	保護者（園）	71.9%	80.0%
	保護者（小中）	74.8%	80.0%
学校以外で体験学習（田植えや稲刈り、野菜づくりなど）に参加したことがある人の割合	小学生	54.3%	70.0%
	中学生	60.7%	80.0%

基本目標 3：環境保全型の食環境整備の推進のための目標

指標	対象	現状値 R 3	目標値 R 8
幸田町で収穫される特産物を 4 品目以上知っている人の割合 (各種イベントでの紹介や産直施設での適切な産地表示等により周知し、地元産農作物を知っている人の増加を目指します) (幸田町で作られている有名な野菜やくだもの 8 種中 4 種以上知っている)	小学生	39.4%	80.0%
	中学生	45.1%	80.0%
地産地消に関心のある人の割合 (「非常に関心がある」及び「どちらかといえば関心がある」の割合の増加を目指します)	保護者(園)	67.6%	80.0%
	保護者(小中)	75.9%	80.0%
食材の廃棄や食べ残しを減らす取り組みをしている人の割合 (「毎日行っている」人の割合の増加を目指します)	保護者(園)	46.3%	60.0%
	保護者(小中)	49.6%	60.0%

基本目標 4：食育を推進する仕組みの整備のための目標

指標	対象	現状値 R 3	目標値 R 8
「こうた食生活改善ボランティア」を知っている人の割合 (「知っている」「名前を聞いたことがあるが、内容までは知らない」人の割合の増加を目指します)	小・中学生	13.3%	20.0%
	保護者(園)	13.0%	20.0%
	保護者(小中)	12.1%	20.0%
「こうた食生活改善ボランティア」の活動に興味・関心がある人の割合 (「非常に興味・関心がある」「どちらかといえば興味・関心がある」人の割合の増加を目指します)	小・中学生	7.5%	10.0%
	保護者(園)	6.3%	10.0%
	保護者(小中)	3.6%	10.0%
「いいともあいち運動」を知っている人の割合 ※新規指標のため、現状値が未記載となっています。	小学生	—	25.0%
	中学生	—	25.0%
	保護者(園)	—	25.0%
	保護者(小中)	—	25.0%



参考資料

1 食育基本法の概要（平成 17 年 7 月施行）

1 目的

国民が健全な心身を培い、豊かな人間性をはぐくむための食育を推進し、施策を総合的かつ計画的に推進すること等を目的とする。

2 関係者の責務等

(1) 食育の推進について、国、地方公共団体、教育関係者、農林漁業者、食品関連事業者、国民等の責務を定める。

(2) 政府は、毎年、食育の推進に関して講じた施策に関し、国会に報告書を提出する。

3 食育推進基本計画等

(1) 食育推進会議は、以下の事項について食育推進基本計画を作成する。

①食育の推進に関する施策についての基本的な方針

②食育の推進の目標に関する事項

③国民等の行う自発的な食育推進活動等の総合的な促進に関する事項

④施策を総合的かつ計画的に推進するために必要な事項

(2) 都道府県は都道府県食育推進計画、市町村は市町村食育推進計画を作成するよう努める。

4 基本的施策

①家庭における食育の推進

②学校、保育所等における食育の推進

③地域における食生活の改善のための取組の推進

④食育推進運動の展開

⑤生産者と消費者との交流の促進、環境と調和のとれた農林漁業の活性化等

⑥食文化の継承のための活動への支援等

⑦食品の安全性、栄養その他の食生活に関する調査、研究、情報の提供及び国際交流の推進

5 食育推進会議等

(1) 農林水産省に食育推進会議を置き、会長（農林水産大臣）及び委員（関係大臣、有識者）25 名以内で組織する。

(2) 都道府県に都道府県食育推進会議、市町村に市町村食育推進会議を置くことができる。

2 幸田町食育推進会議設置要綱（平成 20 年 4 月施行）

（設置）

第1条 この要綱は、幸田町の食育の推進に関し、町民の意見を反映させるため、幸田町食育推進会議（以下「推進会議」という。）を設置する。

（所掌事務）

第2条 推進会議は、次に掲げる事務を行う。

- (1) 幸田町食育推進計画の策定及び見直しに関すること。
- (2) 食育に関する施策の推進に関すること。
- (3) 前2号に掲げるもののほか、食育推進に関すること。

（組織）

第3条 推進会議は、15人以内の委員をもって組織する。

2 委員は、次に掲げる者のうちから町長が任命する。

- (1) 食育に関して十分な知識と経験を有する者
- (2) 本町の職員
- (3) その他町長が必要を認める者

3 委員の任期は、1年とし、再任を妨げない。ただし、補欠の委員の任期は、前任者の残任期間とする。

（会長）

第4条 推進会議に会長を置き、委員の互選により定める。

2 会長は、会務を総理し、推進会議を代表する。

3 会長に事故があるとき、又は会長が欠けたときは、会長があらかじめ指名する委員がその職務を代理する。

（会議）

第5条 推進会議は、会長が招集し、会長がその議長となる。

2 推進会議は、委員の過半数の出席をもって成立する。

（部会）

第6条 推進会議に、特定の事項について調査し、及び審議させるため、部会を置くことができる。

（関係者の出席）

第7条 関係者の説明又は意見を聞く必要があると認めるときは、推進会議に関係者の出席を求めることができる。

（庶務）

第8条 推進会議の庶務は、環境経済部産業振興課において処理する。

（雑則）

第9条 この要綱に定めるもののほか、推進会議の運営に関し必要な事項は、会長が別に定める。

附 則

この要綱は、平成20年4月1日から施行する。

3 幸田町食育推進会議委員名簿

○任期 令和3年4月1日 ～ 令和4年3月31日

	区 分	氏 名	備 考
会長	幸田町小中学校長会	山本 勝秀	小・中学校関係職員の代表者
	西尾保健所	角田 玉青	関係行政機関の職員
	西三河農林水産事務所	安藤 実香	関係行政機関の職員
	幸田町PTA連絡協議会	工藤 雄二	小・中学校保護者の代表者
	深溝保育園	川崎 すなお	保育園関係職員の代表者
	荻谷小学校	加藤 夏希	小・中学校関係職員の代表者
	幸田町園芸振興会	加藤 茂樹	農業関係 各種団体の代表者
	あいち三河農業協同組合	新家 智明	農業関係 各種団体の代表者
	深溝保育園父母の会	吉口 乃里	保育園関係保護者の代表者
	幸田あけぼの第二幼稚園	奥平 憲	幼稚園関係職員の代表者
	幸田町教育委員会	本多 陽子	小・中学校関係職員の代表者
	幸田町環境経済部	鳥居 栄一	関係行政機関の職員

※順不同、敬称略

4 幸田町食育推進計画の策定経過

時期	食育推進会議	食育推進会議 部会	その他
令和3年4月			
5月	令和3年5月10日（書面会議） 第1回幸田町食育推進会議 ○幸田町食育推進会議会長の選任について ○令和2年度食育推進事業実績及び令和3年度食育推進事業計画・実施状況について ○アンケート調査について	令和3年5月25日（書面会議） 第1回幸田町食育推進会議 部会 ○令和3年度第1回幸田町食育推進会議の開催結果について ○第4次幸田町食育推進計画（令和4年度～令和8年度）策定に向けた、計画の基本的な考え方（産業振興課案）について ○アンケート調査について	
6月			
7月			令和3年7月1日～ 令和3年7月16日 アンケート調査
8月			
9月			
10月			
11月		令和3年11月9日（書面会議） 第2回幸田町食育推進会議 部会 ○アンケート調査結果報告及び課題整理表について ○第4次幸田町食育推進計画骨子案について	
12月	令和3年12月9日（書面会議） 第2回幸田町食育推進会議 ○第4次幸田町食育推進計画素案について ○アンケート調査結果報告 ○パブリックコメントの実施について	令和3年12月9日（書面会議） 第3回幸田町食育推進会議 部会 ○第4次幸田町食育推進計画素案について ○パブリックコメントの実施について	
令和4年1月			令和4年1月14日～ 令和4年2月14日 パブリックコメント
2月			
3月	令和4年3月28日（書面報告） ○パブリックコメントの結果報告 ○第4次幸田町食育推進計画策定完了報告	令和4年3月28日（書面報告） ○パブリックコメントの結果報告 ○第4次幸田町食育推進計画策定完了報告	

5 食育に関するアンケート調査票

(1) 保育園・幼稚園児（年少）の保護者用

食育に関するアンケート調査票（保育園・幼稚園年少児保護者用）

ふだん食事を作られる方に日ごろの食生活などを振り返っていただき、下記のアンケートにお答えくださいますよう、お願いします。

回答につきましては、あてはまる番号を1つ選び、○をつけてください。
（○の数を指定している問については、指定の数だけ○をつけてください）

1 あなたのことについて

問1 お子さんが通う保育園・幼稚園は

- 1 坂崎保育園 2 大草保育園 3 わしだ保育園 4 菱池保育園 5 幸田保育園
6 豊坂保育園 7 深溝保育園 8 里保育園 9 あけぼの第一幼稚園

問2 ふだん食事を作られる方と園児との関係

- 1 父 2 母 3 祖父
4 祖母 5 兄弟・姉妹 6 それ以外

問3 ふだん食事を作られる方のご職業

- 1 自営業 2 農林水産業 3 会社員・公務員等 4 パート、アルバイト
5 学生 6 無職 7 それ以外

問4 家族構成

- 1 親と子の二世帯 2 親と子と孫の三世帯 3 それ以外

問5 あなたの年齢を教えてください。

- 1 10代 2 20代 3 30代 4 40代
5 50代 6 60代 7 70代以上

2 食を通じた健康で安心した暮らしについて

問6 お子さんは、朝食を食べていますか。

- 1 毎日食べている

→ 問8へ

朝食について・・・

菓子・果物・乳製品・飲み物などの食品のみを食べた場合は朝食に含まれません。

- 2 1週間のうち4～6日食べている 3 1週間のうち1～3日食べている 4 食べていない

問6で2、3、4を選択された方のみお答えください。

問7 お子さんが、朝食を食べない理由は何ですか。（その理由を1つお選びください。）

- 1 食べる時間がない 2 お腹がすいていない 3 食べる習慣がない
4 ダイエットのため 5 食事の用意がされていない 6 その他（ ）

問8 お子さんは朝食で次のものを食べていますか。 ※下の①から⑥まで答えてください。

	毎日食べる	週4～6日食べる	週1～3日食べる	食べない
① 主食（米・パン・麺類・コーンフレーク・もちなど）	1	2	3	4
② 主菜（肉・魚・卵・大豆などを使った料理）	1	2	3	4
③ 副菜（野菜・芋・きのこ・海藻などを使った料理）	1	2	3	4
④ 牛乳・乳製品（牛乳・チーズ・ヨーグルトなど）	1	2	3	4
⑤ 果物（りんご・ぶどう・バナナなど）	1	2	3	4
⑥ 栄養補助食品等（サプリメントなど）	1	2	3	4

問9 あなたは、朝食を食べていますか。

- 1 毎日食べている

→ 問11へ

- 2 1週間のうち4～6日食べている 3 1週間のうち1～3日食べている 4 食べていない

問9で2、3、4を選択された方のみお答えください。

問10 あなたが、朝食を食べない理由は何ですか。（その理由を1つお選びください。）

- 1 食べる時間がない 2 お腹がすいていない 3 食べる習慣がない
4 ダイエットのため 5 食事の用意をしないため 6 その他（ ）

問11 お子さんは、夜食（夕食を食べてから寝るまでに食べるもの）を食べますか。

- 1 毎日食べる 2 1週間のうち4～6日食べる
3 1週間のうち1～3日食べる 4 食べない

問 12 ご家庭の食生活の中で心配だと思われるものは何ですか。(あてはまる番号を 3 つまでお選びください。)

- | | | |
|--------------------|---------------------------|---------------|
| 1 食生活の乱れ | 2 肥満・やせすぎ | 3 生活習慣病を患わないか |
| 4 食品の安全 | 5 食材を海外からの輸入に依存していること | |
| 6 食べ残しなど食品廃棄物が多いこと | 7 自然の恩恵や食に対する感謝の念が薄れていること | |
| 8 それ以外 () | 9 特になし | |

問 13 あなたは日ごろ、「主食」「主菜」「副菜」をそろえて食べていますか。

- | |
|-------------------------|
| 1 1日2回以上ほとんど毎日そろえて食べている |
| 2 1日1回ほとんど毎日そろえて食べている |
| 3 そろえて食べていない |

※参考 「主食」・・・米・パン・めん類・コーンフレーク・もちなど
「主菜」・・・肉・魚・卵・大豆などを使った料理
「副菜」・・・野菜・いも・きのこ・かいそうなどを使った料理

問 14 あなたは、ふだんゆっくりよく噛んで食べていますか。

- | | |
|---------------------------|--------------------------|
| 1 ゆっくりよく噛んで食べている | 2 どちらかといえばゆっくりよく噛んで食べている |
| 3 どちらかといえばゆっくりよく噛んで食べていない | 4 ゆっくりよく噛んでいない |

問 15 生活習慣病の予防や改善のために、あなたは、ふだんから適正体重の維持や減塩などに気をつけた食生活を実践していますか。

- | | |
|----------------|-----------------|
| 1 常に意識して実践している | 2 ととき意識して実践している |
| 3 あまり実践していない | 4 まったく実践していない |

問 16 厚生労働省では1日 350 g の野菜摂取を推奨しています。あなたは野菜を1日 350 g 食べていますか。

(350 g…料理でイメージすると小皿や小鉢で5皿分、生野菜でイメージすると両手3杯半分)

- | | | |
|-----------|-------------|----------|
| 1 毎日できている | 2 できている日もある | 3 できていない |
|-----------|-------------|----------|

問16で2、3を選択された方のみお答えください。

問 17 あなたが、野菜を1日 350 g 摂取できていない理由は何ですか。(その理由を3つまでお選びください。)

- | | | |
|---------------|------------------|--------------|
| 1 調理に手間がかかるから | 2 調理方法がよくわからないから | 3 調理したいと思わない |
| 4 野菜が苦手だから | 5 食べる必要性を感じない | 6 家族が食べないから |
| 7 価格が高いから | 8 外食が多いから | 9 それ以外 () |

問 18 あなたは、「1日3食」食べていますか。

- | | | |
|-------------|-------------------|------------------|
| 1 毎日3食食べている | 2 時々、3食食べていない日がある | 3 毎日2食以下しか食べていない |
|-------------|-------------------|------------------|

問 19 食の安全について、どう感じていますか。

- | | |
|--------------------|--------------------|
| 1 安全と感じている | 2 どちらかといえば安全と感じている |
| 3 どちらかといえば不安を感じている | 4 不安を感じている |

問 20 食に関する情報をどこから入手していますか。(○はいくつでも)

- | | | | | |
|------------------------|-----------|----------------------------|-------|--------------------|
| 1 新聞・雑誌 | 2 本 | 3 テレビ | 4 ラジオ | 5 インターネット上のニュースサイト |
| 6 YouTube 等の動画サイト | 7 ブログ、SNS | 8 生産者や食品企業・販売業者のウェブサイトや広報物 | | |
| 9 行政機関のウェブサイトや広報物 | | 10 家族とのやりとり | | |
| 11 ネット上を含めた友人、知人とのやりとり | | 12 同僚とのやりとり | | |
| 13 スーパーマーケットなど食品の購入場所 | | 14 町中(電車等)の広告 | | |
| 15 イベントやシンポジウム | | 16 その他 () | | |

3 食を通じた豊かな人間性の育成について

問 21 お子さんは、食事のお手伝いをしていますか。(買い物、調理、食卓の準備、あと片付け、ゴミ捨てなど)

- | | |
|------------------|------------------|
| 1 毎日している | 2 1週間のうち4～6日している |
| 3 1週間のうち1～3日している | 4 ほとんどしていない |

問 22 お子さんは、朝食を家族のおとなの人と一緒に食べていますか。

- | | |
|----------------------|----------------------|
| 1 毎日一緒に食べている | 2 1週間のうち4～6日一緒に食べている |
| 3 1週間のうち1～3日一緒に食べている | 4 一緒に食べていない |

問 23 お子さんは、夕食を家族のおとなの人と一緒に食べていますか。

- | | |
|----------------------|----------------------|
| 1 毎日一緒に食べている | 2 1週間のうち4～6日一緒に食べている |
| 3 1週間のうち1～3日一緒に食べている | 4 一緒に食べていない |

問22又は問23で3、4を選択された方のみお答えください。

問 24 お子さんが、家族のおとなの人と食事を一緒に食べていない理由は何だと思えますか。

(あてはまる番号をすべてお選びください。)

- | | |
|-----------------------------|---------------------|
| 1 お子さんがテレビや動画の視聴、ゲームをしているため | 2 塾や習い事で子どもの帰宅が遅いため |
| 3 家族と食事の好み合わないため | 4 保護者の帰宅が遅いため |
| 5 それ以外 () | |

裏面あり

問 25 あなたは、家でご飯を食べる時に「いただきます」や「ごちそうさま」を言っていますか。

- 1 いつも言っている 2 どちらかといえば言っている
3 どちらかといえば言っていない 4 言っていない

問 26 あなたは、毎日のご家庭での食事の時間が楽しいですか。

- 1 毎日とても楽しい 2 楽しいときが多い 3 どちらともいえない
4 楽しくない時が多い 5 まったく楽しくない

問 27 あなたは、行事食【例:お正月にはおせち料理やお雑煮、土用にはうなぎ料理、冬至にはかぼちゃ料理など】を食べていますか。

- 1 食べている 2 どちらかといえば食べている → 問 29へ
3 どちらかといえば食べていない 4 食べていない

問27で3、4を選択された方のみお答えください。

問28 行事食を食べていない理由は何ですか（あてはまる番号をすべてお選びください。）

- 1 食べる機会がない 2 好きではない 3 高価 4 行事食を知らない
5 用意するのが面倒 6 必要がない 7 それ以外（ ）

問 29 田植えや稲刈り、野菜づくりなどの農作業体験や手伝いをしたことがありますか。

- 1 ある 2 ない

4 食育を支える取り組みについて

問 30 あなたは、「幸田町食育推進計画」を知っていますか。

- 1 知っている 2 名前を聞いたことがあるが、内容までは知らない 3 知らない

問 31 あなたは、「食育」という言葉を知っていますか。

- 1 言葉も内容もよく知っている 2 言葉も内容もおおよそ知っている
3 言葉は知っているが、内容は知らない 4 知らない

問 32 あなたは、「食育」に関心がありますか。

- 1 非常に関心がある 2 どちらかといえば関心がある
3 どちらかといえば関心がない 4 関心がない 5 わからない

問 33 食育について活動している内容はどのようなものですか。(あてはまる番号をすべてお選びください。)

- | | |
|------------------------|---------------------------|
| 1 栄養バランスを考えた食事をする | 2 安全な食品についての情報を収集する |
| 3 地元産の食材を買う | 4 郷土料理を作る |
| 5 できるだけ料理を自分で作る | 6 食べきれる量の料理を作り、食べ残しを少なくする |
| 7 家庭菜園で野菜を作る | 8 旬の野菜を使ったり、季節の料理を作る |
| 9 規則正しい食生活を心がける | 10 食材・エネルギー・水を大切に使う料理をする |
| 11 農業体験や地元農産物に触れる | 12 食品容器等のリサイクルをする |
| 13 食育に関するボランティア活動に参加する | 14 それ以外（ ） |
| 14 特になし | |

問 34 子どもの「食育」について、大切だと思うことは何ですか。(あてはまる番号を3つまでお選びください。)

- 1 1日3食規則正しく食べること
- 2 食事の前後に感謝の気持ちをあらわすこと
- 3 家族や友人と一緒に楽しく食べること
- 4 食べ物の栄養について学ぶこと
- 5 農業体験をすること
- 6 食を通して健康について学ぶこと
- 7 食事の作法を学ぶこと
- 8 好き嫌いをなくすこと
- 9 食べ物を無駄にしないこと
- 10 伝統食や行事食を学ぶこと
- 11 それ以外（ ）

問 35 子どもの「食育」は、主体的にどこで行うべきと考えますか。

- 1 家庭 2 行政 3 学校や保育園・幼稚園等
4 地域 5 その他（ ）

問 36 「こうした食生活改善ボランティア」を知っていますか。

- [illegible]

問36で3を選択された方のみお答えください。

問 37 「こうした食生活改善ボランティア」の活動に興味・関心がありますか。

- 1 非常に興味・関心がある 2 どちらかといえば興味・関心がある
3 どちらかといえば興味・関心がない 4 興味・関心がない

(2) 小中学生用

食育に関するアンケート調査票 (小学5年生・中学2年生用)

あなたのいつもの生活をふり返って、下記のアンケートに答えてください。
答えはあてはまる番号を1つ選び、○をつけてください。
○の数を指定している問については、指定の数だけ○をつけてください。

1 あなたのことについて

問1 通っている学校は

- | | | | | |
|-------|-------|-------|-------|-------|
| 1 坂崎小 | 2 幸田小 | 3 中央小 | 4 荻谷小 | 5 深溝小 |
| 6 豊坂小 | 7 北部中 | 8 幸田中 | 9 南部中 | |

2 食を通じた健康で安心した暮らしについて

問2 朝ごはんを食べていますか。

- 1 毎日食べている → 問4へ
- 2 1週間のうち4～6日食べている
- 3 1週間のうち1～3日食べている
- 4 食べていない

※注) 朝ごはんについて

おかし・くだもの・ヨーグルトやチーズ・
飲み物などの食品のみを食べた場合は朝
ごはんに入れません。

問2で2、3、4を選んだ人だけ答えてください。

問3 朝ごはんを食べない理由は何ですか。(その理由を1つ選んでください。)

- | | |
|----------------|-------------|
| 1 食べる時間がない | 2 お腹がすいていない |
| 3 食べる習慣がない | 4 ダイエットのため |
| 5 食事の用意がされていない | 6 その他 () |

問4 朝ごはんで次のものを食べていますか。 ※下の①から⑥まで答えてください。

		毎日 食べる	週4～6 日食べる	週1～3 日食べる	食べない
①	主食(米・パン・めん類・コーンフレーク・もちなど)	1	2	3	4
②	主菜(肉・魚・卵・大豆などを使った料理)	1	2	3	4
③	副菜(野菜・いも・きのこ・かいそうなどを使った料理)	1	2	3	4
④	牛乳・乳製品(牛乳・チーズ・ヨーグルトなど)	1	2	3	4
⑤	くだもの(りんご・ぶどう・バナナなど)	1	2	3	4
⑥	栄養補助食品等(サプリメントなど)	1	2	3	4

問5 夕食(夕ごはんを食べてから寝るまでに食べるもの)を食べますか。

- | | |
|-----------------|-----------------|
| 1 毎日食べる | 2 1週間のうち4～6日食べる |
| 3 1週間のうち1～3日食べる | 4 食べない |

問6 タごはんの時間はいつも決まっていますか。

- 1 いつも同じ時間 → 問8へ
- 2 1週間のうち1～2回違う時間に食べる
- 3 いつもばらばら

問6で2、3を選んだ人だけ答えてください。

問7 タごはんの時間が決まっていない理由は何ですか。(その理由を1つ選んでください。)

- | | |
|---------------|------------|
| 1 親の帰りが遅いから | 2 部活動があるから |
| 3 塾や習いごとがあるから | 4 その他 () |

問8 日ごろ、「主食」「主菜」「副菜」をそろえて食べていますか。

- 1 1日2回以上ほとんど毎日そろえて食べている
- 2 1日1回ほとんど毎日そろえて食べている
- 3 そろえて食べていない

主食…米・パン・めん類・コーンフレーク・もちなど
主菜…肉・魚・卵・大豆などを使った料理
副菜…野菜・いも・きのこ・かいそうなどを使った料理

問9 野菜を食べる回数はどのくらいですか。

- 1 1日3回以上食べる
- 2 1日2回食べる
- 3 1日1回食べる
- 4 ほとんど食べない

問10 学校の給食や家での食事にきれいな食べ物が出されたらどうしていますか。

- 1 きらいなものはない
- 2 がまんして食べる
- 3 学校では食べるが家では食べない
- 4 少し食べて残す
- 5 食べない

問11 ふだんゆっくりよく噛んで食べていますか。

- 1 ゆっくりよく噛んで食べている
- 2 どちらかといえばゆっくりよく噛んで食べている
- 3 どちらかといえばゆっくりよく噛んで食べていない
- 4 ゆっくりよく噛んでいない

3 食を通じた豊かな人間性の育成について

問12 朝ごはんは、家族の人（おとなの人）といっしょに食べていますか。

- 1 毎日いっしょに食べている
- 2 1週間のうち4～6日いっしょに食べている
- 3 1週間のうち1～3日いっしょに食べている
- 4 いっしょに食べていない

問13 タごはんは、家族の人（おとなの人）といっしょに食べていますか。

- 1 毎日いっしょに食べている
- 2 1週間のうち4～6日いっしょに食べている
- 3 1週間のうち1～3日いっしょに食べている
- 4 いっしょに食べていない

問14 家でごはんを食べる時に「いただきます」や「ごちそうさま」を言っていますか。

- 1 いつも言っている
- 2 どちらかといえば言っている
- 3 どちらかといえば言っていない
- 4 言っていない

問15 家族の人に食事のしかたについて、注意されることがありますか。（〇はいくつでも）

- 1 すき・きらいをして食べる
- 2 はしの持ち方について
- 3 ひじをついて食べる
- 4 正しくない姿勢で食べる
- 5 茶わんを持たないで食べる
- 6 テレビを見ながら食べる
- 7 よくかまないで食べる
- 8 遊びながら食べる

問16 食事のお手伝いをしていますか。（買い物・調理・食卓の準備・あとかたづけ・ごみ出しなど）

- 1 毎日している
- 2 1週間のうち4～6日している
- 3 1週間のうち1～3日している
- 4 ほとんどしない

問17 家庭での毎日の食事の時間は楽しいですか。

- 1 毎日とても楽しい
- 2 楽しい時が多い
- 3 どちらともいえない
- 4 楽しくない時が多い
- 5 まったく楽しくない

問18 家庭で行事食【例：お正月にはおせち料理やお雑煮、土用にはうなぎ料理、冬至にはかぼちゃ料理など】を食べていますか。

土用…立春・立夏・立秋・立冬の前18日間のこと。夏の土用の間の丑の日にうなぎを食べる行事が有名です。
冬至…1年で一番太陽が出ている時間が短い日。かぼちゃを食べて体を温めることで、栄養をとり健康を願う風習があります。

- 1 食べている
- 2 どちらかといえば食べている
- 3 どちらかといえば食べていない
- 4 食べていない

裏面あり

問19 これまで、あなたは学校以外で体験学習（田植えや稲刈り、野菜づくりなど）に参加したことはありますか。

- 1 ある 2 ない

問20 学校以外で体験学習に参加したいと思いますか。

- 1 思う → 問23へ

- 2 思わない

問20で「2. 思わない」と答えた方におたずねします。

問21 これまで体験学習に参加していない理由は何ですか。（○はいくつでも）

- 1 関心がないから 2 体験に参加する方法がわからないから
3 体験する自信がないから 4 参加費用がかかるから
5 新型コロナウイルス感染症の拡大 6 その他（ ）

問22 体験学習にどんな工夫があれば参加したいと思いますか。（○はいくつでも）

- 1 作物の成長に合わせて種まき、収穫など複数の作業が体験できること
2 収穫物の調理体験ができること
3 地域の伝統行事などのイベントに合わせて参加できること
4 地元の生産者等との交流があること
5 親子や友人など、いろいろな参加の仕方ができること
6 オンラインで、体験前に試したり、体験後も関係が続けられること
7 その他（ ）

4 食育を支える取り組みについて

問23 「食育」という言葉を知っていますか。

- 1 言葉も意味も知っている 2 言葉は知っているし意味もだいたい知っている
3 言葉は知っているが意味はよくわからない 4 言葉も意味も知らなかった

問24 「幸田町食育推進計画」を知っていますか。

- 1 知っている 2 名前を聞いたことがあるが、内容までは知らない 3 知らない

問25 「こうした食生活改善ボランティア」を知っていますか。

- 1 知っている
2 名前を聞いたことがあるが、内容までは知らない
3 知らない → 問27へ

問25で1、2を選んだ人だけ答えてください。

問26 「こうした食生活改善ボランティア」の活動に興味・関心がありますか。

- 1 非常に興味・関心がある 2 どちらかといえば興味・関心がある
3 どちらかといえば興味・関心がない 4 興味・関心がない

5 食を通じた環境にやさしい食環境づくりについて

問27 家庭から食べ残しや食べものに関係するごみが出されていることについて「もったいない」と感じることはありますか。

- 1 いつも感じる 2 ときどき感じる
3 あまり感じない 4 全く感じない

問28 「^{ちさんちしょう}地産地消」という言葉とその意味を知っていますか。

- 1 言葉も意味も知っている 2 言葉は知っているし意味もだいたい知っている
3 言葉は知っているが意味はよくわからない 4 言葉も意味も知らなかった

問29 幸田町で作られている有名な野菜やくだものを知っていますか。(あてはまるものすべて選んでください)

- | | | | | | |
|---|---------------------------|---|------|---|------------------------|
| 1 | <small>ふでがき</small>
筆柿 | 2 | いちご | 3 | なす |
| 4 | もも | 5 | みかん | 6 | <small>なし</small>
梨 |
| 7 | ぶどう | 8 | いちじく | | |

6 新型コロナウイルス感染症の拡大の影響について

問30 あなたご自身の現在の食生活は、新型コロナウイルス感染症^{かんせんしんしょう かくだいまいえ}の拡大前と比べて変わりましたか。

		増えた・ 広がった	変わら ない	減った・ 狭 せ まった	もともと ない
①	栄養バランスのとれた食事	1	2	3	4
②	自宅で料理を作る回数	1	2	3	4
③	自宅で食事を食べる回数	1	2	3	4
④	家族と食事を食べる回数	1	2	3	4
⑤	オンラインを利用して家族や友人と食事を共にすること	1	2	3	4

問31 現在、新型コロナウイルス感染症^{かんせんしんしょう かくだい}の拡大により、人々の暮らしに深刻な影響^{く しんこく えいきょう}が出ている中、体験学習やイベントの開催^{かいさい}についてどのようにお考えですか。(〇は1つだけ)

- 1 これまでと同様に活動を継続する
- 2 様々な工夫（オンライン等 ICT 技術）を凝らしながら活動を継続する
- 3 参加人数などの規模を縮小して活動を継続する
- 4 当面は活動を見送る
- 5 その他（ ）

アンケートは以上です。ご協力ありがとうございました。

(3) 小中学生保護者用

食育に関するアンケート調査票（小・中学生保護者用）

ふだん食事を作られる方に日ごろの食生活などを振り返っていただき、下記のアンケートにお答えくださいますようお願いいたします。

回答につきましては、あてはまる番号を1つ選び、○をつけてください。

（○の数を指定している問については、指定の数だけ○をつけてください）

1 あなたのことについて

問1 お子さんが通っている学校は

- | | | | | |
|-------|-------|-------|-------|-------|
| 1 坂崎小 | 2 幸田小 | 3 中央小 | 4 荻谷小 | 5 深溝小 |
| 6 豊坂小 | 7 北部中 | 8 幸田中 | 9 南部中 | |

問2 ふだん食事を作られる方とお子さんとの関係

- | | | |
|------|---------|--------|
| 1 父 | 2 母 | 3 祖父 |
| 4 祖母 | 5 兄弟・姉妹 | 6 それ以外 |

問3 ふだん食事を作られる方のご職業

- | | | | |
|-------|---------|------------|-------------|
| 1 自営業 | 2 農林水産業 | 3 会社員・公務員等 | 4 パート、アルバイト |
| 5 学生 | 6 無職 | 7 それ以外 | |

問4 家族構成

- | | | |
|-----------|-------------|--------|
| 1 親と子の二世帯 | 2 親と子と孫の三世帯 | 3 それ以外 |
|-----------|-------------|--------|

問5 あなたの年齢を教えてください。

- | | | | |
|-------|-------|---------|-------|
| 1 10代 | 2 20代 | 3 30代 | 4 40代 |
| 5 50代 | 6 60代 | 7 70代以上 | |

2 食を通じた健康で安心した暮らしについて

問6 お子さんは、朝食を食べていますか。

- 1 毎日食べている → 問8へ

朝食について・・・

菓子・果物・乳製品・飲み物などの食品のみを食べた場合は朝食に含みません。

- | | | |
|-------------------|-------------------|----------|
| 2 1週間のうち4～6日食べている | 3 1週間のうち1～3日食べている | 4 食べていない |
|-------------------|-------------------|----------|

問6で2、3、4を選択された方のみお答えください。

問7 お子さんが、朝食を食べない理由は何ですか。（その理由を1つお選びください。）

- | | | |
|------------|----------------|------------|
| 1 食べる時間がない | 2 お腹がすいていない | 3 食べる習慣がない |
| 4 ダイエットのため | 5 食事の用意がされていない | 6 その他（ ） |

問8 あなたは、朝食を食べていますか。

- 1 毎日食べている → 問10へ

- | | | |
|-------------------|-------------------|----------|
| 2 1週間のうち4～6日食べている | 3 1週間のうち1～3日食べている | 4 食べていない |
|-------------------|-------------------|----------|

問8で2、3、4を選択された方のみお答えください。

問9 あなたが、朝食を食べない理由は何ですか。（その理由を1つお選びください。）

- | | | |
|------------|---------------|------------|
| 1 食べる時間がない | 2 お腹がすいていない | 3 食べる習慣がない |
| 4 ダイエットのため | 5 食事の用意をしないため | 6 その他（ ） |

問10 ご家庭の食生活の中で、心配だと思われるものは何ですか。（あてはまる番号を3つまでお選びください。）

- | | | |
|--------------------|---------------------------|---------------|
| 1 食生活の乱れ | 2 肥満・やせすぎ | 3 生活習慣病を患わないか |
| 4 食品の安全 | 5 食材を海外からの輸入に依存していること | |
| 6 食べ残しなど食品廃棄物が多いこと | 7 自然の恩恵や食に対する感謝の念が薄れていること | |
| 8 それ以外（ ） | 9 特になし | |

問11 あなたは、日ごろ、「主食」「主菜」「副菜」をそろえて食べていますか。

- | |
|-------------------------|
| 1 1日2回以上ほとんど毎日そろえて食べている |
| 2 1日1回ほとんど毎日そろえて食べている |
| 3 そろえて食べていない |

※参考

「主食」・・・米・パン・めん類・コーンフレーク・もちなど

「主菜」・・・肉・魚・卵・大豆などを使った料理

「副菜」・・・野菜・いも・きのこ・かいそうなどを使った料理

問12 あなたは、ふだんゆっくりよく噛んで食べていますか。

- | | |
|---------------------------|--------------------------|
| 1 ゆっくりよく噛んで食べている | 2 どちらかといえばゆっくりよく噛んで食べている |
| 3 どちらかといえばゆっくりよく噛んで食べていない | 4 ゆっくりよく噛んでいない |

問13 生活習慣病の予防や改善のために、あなたは、ふだんから適正体重の維持や減塩などに気をつけた食生活を実践していますか。

- | | |
|----------------|-----------------|
| 1 常に意識して実践している | 2 ととき意識して実践している |
| 3 あまり実践していない | 4 まったく実践していない |

問 14 厚生労働省では1日 350gの野菜摂取を推奨しています。あなたは野菜を1日 350g食べていますか。
(350g…料理でイメージすると小皿や小鉢で5皿分、生野菜でイメージすると両手3杯半分)

- 1 毎日できている → 問 16 へ 2 できている日もある 3 できていない

問 14で2、3を選択された方のみお答えください。

問 15 あなたが、野菜を1日 350g摂取できていない理由は何ですか。(その理由を3つまでお選びください。)

- 1 調理に手間がかかるから 2 調理方法がよくわからないから 3 調理したいと思わない
4 野菜が苦手だから 5 食べる必要性を感じない 6 家族が食べないから
7 価格が高いから 8 外食が多いから 9 それ以外 ()

問 16 あなたは、「1日3食」食べていますか。

- 1 毎日3食食べている 2 時々、3食食べていない日がある 3 毎日2食以下しか食べていない

問 17 食の安全について、どう感じていますか。

- 1 安全と感じている 2 どちらかといえば安全と感じている
3 どちらかといえば不安に感じている 4 不安に感じている

問 18 食に関する情報をどこから入手していますか。(あてはまる番号をすべてお選びください。)

- 1 新聞・雑誌 2 本 3 テレビ 4 ラジオ 5 インタネット上のニュースサイト
6 YouTube等の動画サイト 7 ブログ、SNS 8 生産者や食品企業・販売業者のウェブサイトや広報物
9 行政機関のウェブサイトや広報物 10 家族とのやりとり
11 ネット上を含めた友人、知人とのやりとり 12 同僚とのやりとり
13 スーパーマーケットなど食品の購入場所 14 町中(電車等)の広告
15 イベントやシンポジウム 16 その他 ()

3 食を通じた豊かな人間性の育成について

問 19 お子さんは、食事のお手伝いをしていますか。(買い物、調理、食卓の準備、あと片付け、ごみ捨てなど)

- 1 毎日している 2 1週間のうち4～6日している
3 1週間のうち1～3日している 4 ほとんどしない

問 20 お子さんは、朝食を家族のおとなの人と一緒に食べていますか。

- 1 毎日一緒に食べている 2 1週間のうち4～6日一緒に食べている
3 1週間のうち1～3日一緒に食べている 4 一緒に食べていない

問 21 お子さんは、夕食を家族のおとなの人と一緒に食べていますか。

- 1 毎日一緒に食べている 2 1週間のうち4～6日一緒に食べている
3 1週間のうち1～3日一緒に食べている 4 一緒に食べていない

問 20又は問 21で3、4を選択された方のみお答えください。

問 22 お子さんが、家族のおとなの人と食事を一緒に食べていない理由は何だと思いますか。
(あてはまる番号をすべてお選びください。)

- 1 お子さんがテレビや動画の視聴、ゲームをしているため 2 塾や習い事で子どもの帰宅が遅いため
3 家族と食事の好み合わないため 4 保護者の帰宅が遅いため
5 それ以外 ()

問 23 あなたは、家でご飯を食べる時に「いただきます」や「ごちそうさま」を言っていますか。

- 1 いつも言っている 2 どちらかといえば言っている
3 どちらかといえば言っていない 4 言っていない

問 24 あなたは、毎日のご家庭での食事の時間が楽しいですか。

- 1 毎日とても楽しい 2 楽しいときが多い 3 どちらともいえない
4 楽しくないときが多い 5 まったく楽しくない

問 25 あなたは、行事食【例:お正月にはおせち料理やお雑煮、土用にはうなぎ料理、冬至にはかぼちゃ料理など】を食べていますか。

- 1 食べている 2 どちらかといえば食べている → 問 27 へ
3 どちらかといえば食べていない 4 食べていない

問 25で3、4を選択された方のみお答えください。

問 26 行事食を食べていない理由は何ですか(あてはまる番号をすべてお選びください。)

- 1 食べる機会がない 2 好きではない 3 高価 4 行事食を知らない
5 用意するのが面倒 6 必要がない 7 それ以外 ()

裏面あり

問 27 田植えや稲刈り、野菜づくりなどの農作業体験や手伝いをしたことがありますか。

- 1 ある 2 ない

4 食育を支える取り組みについて

問 28 あなたは、「幸田町食育推進計画」を知っていますか。

- 1 知っている 2 名前を聞いたことがあるが、内容までは知らない 3 知らない

問 29 あなたは、「食育」という言葉を知っていますか。

- 1 言葉も内容もよく知っている 2 言葉も内容もおおよそ知っている
3 言葉は知っているが、内容は知らない 4 知らない

問 30 あなたは、「食育」に関心がありますか。

- 1 非常に関心がある 2 どちらかといえば関心がある
3 どちらかといえば関心がない 4 関心がない 5 わからない

問 31 あなたは、「食育」について何らかの行動や活動をしていますか。

- 1 積極的にしている 2 できるだけするようにしている
3 したいとは思いますが、実際にはしていない 4 したいとは思わないし、していない

問 33 へ

問31で1、2を選択された方のみお答えください。

問 32 活動している内容は、どのようなものですか。(あてはまる番号をすべてお選びください。)

- 1 栄養バランスを考えた食事をする 2 安全な食品についての情報を収集する
3 地元産の食材を買う 4 郷土料理を作る
5 できるだけ料理を自分で作る 6 食べられる量の料理を作り、食べ残しを少なくする
7 家庭菜園で野菜を作る 8 旬の野菜を使ったり、季節の料理を作る
9 規則正しい食生活を心がける 10 食材・エネルギー・水を大切に使う料理をする
11 農業体験や地元農産物に触れる 12 食品容器等のリサイクルをする
13 食育に関するボランティア活動に参加する 14 その他 ()

問31で3、4を選択された方のみお答えください。

問 33 行動や活動をしていない理由は何ですか。(あてはまる番号を2つまでお選びください。)

- 1 具体的に何をすればよいかわからない 2 忙しい 3 面倒
4 興味がない 5 必要がない 6 その他 ()

問 34 子どもの「食育」について、大切だと思うことは何ですか。(あてはまる番号を3つまでお選びください。)

- 1 1日3食規則正しく食べること 2 食事の前後に感謝の気持ちをあらわすこと
3 家族や友人と一緒に楽しく食べること 4 食べ物の栄養について学ぶこと
5 農業体験をすること 6 食を通して健康について学ぶこと
7 食事の作法を学ぶこと 8 好き嫌いをなくすこと
9 食べ物を無駄にしないこと 10 伝統食や行事食を学ぶこと
11 その他 ()

問 35 子どもの「食育」は、主体的にどこで行うべきと考えますか。

- 1 家庭 2 行政 3 学校や保育園・幼稚園等
4 地域 5 その他 ()

問 36 「こうた食生活改善ボランティア」を知っていますか。

- 1 知っている 2 名前を聞いたことがあるが、内容までは知らない 3 知らない

問 38 へ

問36で1、2を選択された方のみお答えください。

問 37 「こうた食生活改善ボランティア」の活動に興味・関心がありますか。

- 1 非常に興味・関心がある 2 どちらかといえば興味・関心がある
3 どちらかといえば興味・関心がない 4 興味・関心がない

5 食を通じた環境にやさしい食環境づくりについて

問 38 あなたは、食べ残しなど無駄や廃棄の少ない食事づくりを行っていますか。

- 1 毎日行っている 2 1週間のうち4～6日行っている
3 1週間のうち1～3日行っている 4 行っていない

問 39 食品容器（トレイ、ペットボトル、牛乳パックなど）を分別していますか。

- 1 全て分別している 2 5～9割分別している 3 1～4割分別している 4 分別していない

問 40 日頃から環境に配慮した食品（有機農産物や過剰包装されていない食品など）を選んでいきますか。（○は1つだけ）

- 1 いつも選んでいる 2 時々選んでいる 3 あまり選んでいない 4 まったく選んでいない

問 41 「地産地消」という言葉を知っていますか。

- 1 言葉も内容もよく知っている 2 言葉も内容もおおよそ知っている
3 言葉は知っているが、内容は知らない 4 知らない

問 42 「地産地消」への関心はありますか。

- 1 非常に関心がある 2 どちらかといえば関心がある
3 どちらかといえば関心がない 4 関心がない

問 44 へ

問42で1、2を選択された方のみお答えください。

問 43 「地産地消」を推奨する上で必要だと思われることは何ですか。（あてはまる番号を3つまでお選びください。）

- 1 地元産であることの表示 2 安い価格での提供 3 年間を通じた安定的な品揃え
4 病院施設や学校給食等での積極的な使用 5 産直施設の設置 6 生産者との交流
7 ブランド化の推進 8 その他（ ）

問 44 産地や生産者を意識して農林水産物・食品を選んでいきますか。（○は1つだけ）

- 1 いつも選んでいる 2 時々選んでいる 3 あまり選んでいない 4 まったく選んでいない

問 45 幸田町で収穫された食材を購入できる場所を知っていますか。

- 1 知っている 2 知らない

6 新型コロナウイルス感染症の拡大の影響について

問 46 あなたご自身の現在の食生活は、新型コロナウイルス感染症の拡大前と比べて変わりましたか。（それぞれに○は1つ）

		増えた 広がった	変わらない	減った 狭まった	もともと ない
①	栄養バランスのとれた食事	1	2	3	4
②	自宅で料理を作る回数	1	2	3	4
③	自宅で食事を食べる回数	1	2	3	4
④	家族と食事を食べる回数	1	2	3	4
⑤	オンラインを利用して家族や友人と食事を共にすること	1	2	3	4
⑥	おいしさや楽しさなど食を通じた精神的な豊かさ	1	2	3	4
⑦	地場産物の購入	1	2	3	4
⑧	通販（オンライン）を利用した食品購入	1	2	3	4
⑨	食事作りに要する時間や労力	1	2	3	4
⑩	食品の安全への不安	1	2	3	4
⑪	安定的な食物供給への不安	1	2	3	4
⑫	食に関する情報の入手	1	2	3	4
⑬	規則正しい食生活リズム	1	2	3	4

問 47 現在、新型コロナウイルス感染症の拡大により、人々の暮らしに深刻な影響が出ている中、体験学習やイベントの開催についてどのようにお考えですか。（○は1つだけ）

- 1 これまでと同様に活動を継続する 2 様々に工夫（オンライン等 ICT 技術）を凝らしながら活動を継続する
3 参加人数などの規模を縮小して活動を継続する
4 当面は活動を見送る 5 その他（ ）

アンケートは以上です。ご協力ありがとうございました。

6 食育に関するアンケート調査集計結果（概要）

※以下の調査結果において、回答は各質問の回答者数を基数とした百分率（％）で示してあります。
また、小数点以下第2位を四捨五入しているため、内訳の合計が100.0％にならない場合があります。

（1）保育園・幼稚園児（年少）の保護者

単位：％

1 あなたのことについて

問1 お子さんが通う保育園・幼稚園は

カテゴリ	件数	割合
全 体	281	100.0
坂崎保育園	19	6.8
大草保育園	32	11.4
わした保育園	41	14.6
菱池保育園	32	11.4
幸田保育園	37	13.2
豊坂保育園	25	8.9
深溝保育園	28	10.0
里保育園	9	3.2
あけぼの第一幼稚園	57	20.3
無回答	1	0.4

問2 ふだん食事を作られる方と園児との関係

カテゴリ	件数	割合
全 体	281	100.0
父	2	0.7
母	252	89.7
祖父	-	-
祖母	8	2.8
兄弟・姉妹	-	-
それ以外	-	-
無回答	19	6.8

問3 ふだん食事を作られる方のご職業

カテゴリ	件数	割合
全 体	281	100.0
自営業	14	5.0
農林水産業	4	1.4
会社員・公務員等	98	34.9
パート、アルバイト	84	29.9
学生	-	-
無職	62	22.1
それ以外	13	4.6
無回答	6	2.1

問4 家族構成

カテゴリ	件数	割合
全 体	281	100.0
親と子の二世帯	240	85.4
親と子と孫の三世帯	30	10.7
それ以外	6	2.1
無回答	5	1.8

問5 あなたの年齢を教えてください。

カテゴリ	件数	割合
全 体	281	100.0
10代	-	-
20代	40	14.2
30代	195	69.4
40代	40	14.2
50代	2	0.7
60代	1	0.4
70代以上	-	-
無回答	3	1.1

2 食を通じた健康で安心した暮らしについて

問6 お子さんは、朝食を食べていますか。

カテゴリ	件数	割合
全 体	281	100.0
毎日食べている	253	90.0
1週間のうち4～6日食べている	14	5.0
1週間のうち1～3日食べている	5	1.8
食べていない	-	-
無回答	9	3.2

単位：％

問6で2、3、4を選択された方のみお答えください。

問7 お子さんが、朝食を食べない理由は何ですか。(その理由を1つお選びください。)

カテゴリ	件数	割合
全 体	19	100.0
食べる時間がない	1	5.3
お腹がすいていない	9	47.4
食べる習慣がない	1	5.3
ダイエットのため	-	-
食事の用意がされていない	-	-
その他	8	42.1
無回答	-	-

問8 お子さんは朝食で次のものを食べていますか。※下の①から⑥まで答えてください。

問8 ①主食(米・パン・麺類・コーンフレーク・もちなど)

カテゴリ	件数	割合
全 体	281	100.0
毎日食べる	253	90.0
週4～6日食べる	19	6.8
週1～3日食べる	9	3.2
食べない	-	-
無回答	-	-

問8 ②主菜(肉・魚・卵・大豆などを使った料理)

カテゴリ	件数	割合
全 体	281	100.0
毎日食べる	73	26.0
週4～6日食べる	58	20.6
週1～3日食べる	83	29.5
食べない	56	19.9
無回答	11	3.9

問8 ③副菜(野菜・芋・きのこ・海藻などを使った料理)

カテゴリ	件数	割合
全 体	281	100.0
毎日食べる	38	13.5
週4～6日食べる	41	14.6
週1～3日食べる	80	28.5
食べない	104	37.0
無回答	18	6.4

問8 ④牛乳・乳製品(牛乳・チーズ・ヨーグルトなど)

カテゴリ	件数	割合
全 体	281	100.0
毎日食べる	145	51.6
週4～6日食べる	48	17.1
週1～3日食べる	62	22.1
食べない	21	7.5
無回答	5	1.8

問8 ⑤果物(りんご・ぶどう・バナナなど)

カテゴリ	件数	割合
全 体	281	100.0
毎日食べる	51	18.1
週4～6日食べる	49	17.4
週1～3日食べる	118	42.0
食べない	54	19.2
無回答	9	3.2

問8 ⑥栄養補助食品等(サプリメントなど)

カテゴリ	件数	割合
全 体	281	100.0
毎日食べる	10	3.6
週4～6日食べる	-	-
週1～3日食べる	4	1.4
食べない	250	89.0
無回答	17	6.0

単位：％

問9 あなたは、朝食を食べていますか。

カテゴリ	件数	割合
全 体	281	100.0
毎日食べている	229	81.5
1週間のうち4～6日食べている	12	4.3
1週間のうち1～3日食べている	13	4.6
食べていない	13	4.6
無回答	14	5.0

問9で2、3、4を選択された方のみお答えください。

問10 あなたが、朝食を食べない理由は何ですか。（その理由を1つお選びください。）

カテゴリ	件数	割合
全 体	38	100.0
食べる時間がない	14	36.8
お腹がすいていない	12	31.6
食べる習慣がない	7	18.4
ダイエットのため	3	7.9
食事の用意をしないため	-	-
その他	1	2.6
無回答	1	2.6

問11 お子さんは、夜食(夕食を食べてから寝るまでに食べるもの)を食べますか。

カテゴリ	件数	割合
全 体	281	100.0
毎日食べる	36	12.8
1週間のうち4～6日食べる	15	5.3
1週間のうち1～3日食べる	51	18.1
食べない	177	63.0
無回答	2	0.7

問12 ご家庭の食生活の中で心配だと思われるものは何ですか。（あてはまる番号を3 つまでお選びください。）

カテゴリ	件数	割合
全 体	281	100.0
食生活の乱れ	82	29.2
肥満・やせすぎ	49	17.4
生活習慣病を患わないか	49	17.4
食品の安全	72	25.6
食材を海外からの輸入に依存していること	13	4.6
食べ残しなど食品廃棄物が多いこと	71	25.3
自然の恩恵や食に対する感謝の念が薄れていること	40	14.2
それ以外	19	6.8
特になし	71	25.3
無回答	5	1.8

問13 あなたは日ごろ、「主食」「主菜」「副菜」をそろえて食べていますか。

カテゴリ	件数	割合
全 体	281	100.0
1日2回以上ほとんど毎日そろえて食べている	103	36.7
1日1回ほとんど毎日そろえて食べている	143	50.9
そろえて食べていない	31	11.0
無回答	4	1.4

問14 あなたは、ふだんゆっくりよく噛んで食べていますか。

カテゴリ	件数	割合
全 体	281	100.0
ゆっくりよく噛んで食べている	26	9.3
どちらかといえばゆっくりよく噛んで食べている	102	36.3
どちらかといえばゆっくりよく噛んで食べていない	111	39.5
ゆっくりよく噛んでいない	39	13.9
無回答	3	1.1

問15 生活習慣病の予防や改善のために、あなたは、ふだんから適正体重の維持や減塩などに気をつけた食生活を実践していますか。

カテゴリ	件数	割合
全 体	281	100.0
常に意識して実践している	50	17.8
ときどき意識して実践している	160	56.9
あまり実践していない	50	17.8
まったく実践していない	18	6.4
無回答	3	1.1

単位：％

問16 厚生労働省では1日350gの野菜摂取を推奨しています。あなたは野菜を1日350g食べていますか。

カテゴリ	件数	割合
全 体	281	100.0
毎日できている	46	16.4
できている日もある	128	45.6
できていない	98	34.9
無回答	9	3.2

問16で2、3を選択された方のみお答えください。

問17 あなたが、野菜を1日350g摂取できていない理由は何ですか。(その理由を3つまでお選びください。)

カテゴリ	件数	割合
全 体	226	100.0
調理に手間がかかるから	106	46.9
調理方法がよくわからないから	27	11.9
調理したいと思わない	5	2.2
野菜が苦手だから	20	8.8
食べる必要性を感じない	2	0.9
家族が食べないから	85	37.6
価格が高いから	58	25.7
外食が多いから	3	1.3
それ以外	31	13.7
無回答	13	5.8

問18 あなたは、「1日3食」食べていますか。

カテゴリ	件数	割合
全 体	281	100.0
毎日3食食べている	204	72.6
時々、3食食べていない日がある	53	18.9
毎日2食以下しか食べていない	20	7.1
無回答	4	1.4

問19 食の安全について、どう感じていますか。

カテゴリ	件数	割合
全 体	281	100.0
安全と感じている	51	18.1
どちらかといえば安全と感じている	171	60.9
どちらかといえば不安と感じている	43	15.3
不安と感じている	6	2.1
無回答	10	3.6

問20 食に関する情報をどこから入手していますか。(〇はいくつでも)

カテゴリ	件数	割合
全 体	281	100.0
新聞・雑誌	51	18.1
本	46	16.4
テレビ	164	58.4
ラジオ	7	2.5
インターネット上のニュースサイト	126	44.8
YouTube 等の動画サイト	43	15.3
ブログ、SNS	108	38.4
生産者や食品企業・販売業者のウェブサイトや広報物	22	7.8
行政機関のウェブサイトや広報物	4	1.4
家族とのやりとり	78	27.8
ネット上を含めた友人、知人とのやりとり	46	16.4
同僚とのやりとり	31	11.0
スーパーマーケットなど食品の購入場所	120	42.7
町中(電車等)の広告	1	0.4
イベントやシンポジウム	4	1.4
その他	6	2.1
無回答	6	2.1

3 食を通じた豊かな人間性の育成について

問21 お子さんは、食事のお手伝いをしていますか。(買い物、調理、食卓の準備、あと片付け、ゴミ捨てなど)

カテゴリ	件数	割合
全 体	281	100.0
毎日している	45	16.0
1週間のうち4～6日している	64	22.8
1週間のうち1～3日している	98	34.9
ほとんどしていない	70	24.9
無回答	4	1.4

単位：％

問22 お子さんは、朝食を家族のおとなの人と一緒に食べていますか。

カテゴリ	件数	割合
全 体	281	100.0
毎日一緒に食べている	164	58.4
1週間のうち4～6日一緒に食べている	47	16.7
1週間のうち1～3日一緒に食べている	39	13.9
一緒に食べていない	28	10.0
無回答	3	1.1

問23 お子さんは、夕食を家族のおとなの人と一緒に食べていますか。

カテゴリ	件数	割合
全 体	281	100.0
毎日一緒に食べている	247	87.9
1週間のうち4～6日一緒に食べている	18	6.4
1週間のうち1～3日一緒に食べている	9	3.2
一緒に食べていない	4	1.4
無回答	3	1.1

問22又は問23で3、4を選択された方のみお答えください。

問24 お子さんが、家族のおとなの人と食事を一緒に食べていない理由は何だと思いますか。
(あてはまる番号をすべてお選びください。)

カテゴリ	件数	割合
全 体	71	100.0
お子さんがテレビや動画の視聴、ゲームをしているため	4	5.6
熟や習い事で子どもの帰宅が遅いため	2	2.8
家族と食事の好み合わないため	2	2.8
保護者の帰宅が遅いため	14	19.7
それ以外	38	53.5
無回答	18	25.4

問25 あなたは、家でご飯を食べる時に「いただきます」や「ごちそうさま」を言っていますか。

カテゴリ	件数	割合
全 体	281	100.0
いつも言っている	193	68.7
どちらかといえば言っている	55	19.6
どちらかといえば言っていない	27	9.6
言っていない	6	2.1
無回答	-	-

問26 あなたは、毎日のご家庭での食事の時間が楽しいですか。

カテゴリ	件数	割合
全 体	281	100.0
毎日とても楽しい	61	21.7
楽しいときが多い	141	50.2
どちらともいえない	66	23.5
楽しくない時が多い	12	4.3
まったく楽しくない	-	-
無回答	1	0.4

問27 あなたは、行事食【例：お正月にはおせち料理やお雑煮、土用にはうなぎ料理、冬至にはかぼちゃ料理など】を食べていますか。

カテゴリ	件数	割合
全 体	281	100.0
食べている	70	24.9
どちらかといえば食べている	129	45.9
どちらかといえば食べていない	49	17.4
食べていない	28	10.0
無回答	5	1.8

問27で3、4を選択された方のみお答えください。

問28 行事食を食べていない理由は何ですか(あてはまる番号をすべてお選びください。)

カテゴリ	件数	割合
全 体	77	100.0
食べる機会がない	16	20.8
好きではない	18	23.4
高価	27	35.1
行事食を知らない	17	22.1
用意するのが面倒	40	51.9
必要がない	13	16.9
それ以外	6	7.8
無回答	2	2.6

単位：％

問29 田植えや稲刈り、野菜づくりなどの農作業体験や手伝いをしたことがありますか。

カテゴリ	件数	割合
全 体	281	100.0
ある	208	74.0
ない	69	24.6
無回答	4	1.4

4 食育を支える取り組みについて

問30 あなたは、「幸田町食育推進計画」を知っていますか。

カテゴリ	件数	割合
全 体	281	100.0
知っている	17	6.0
名前を聞いたことがあるが、内容までは知らない	73	26.0
知らない	191	68.0
無回答	-	-

問31 あなたは、「食育」という言葉を知っていますか。

カテゴリ	件数	割合
全 体	281	100.0
言葉も内容もよく知っている	57	20.3
言葉も内容もおおよそ知っている	149	53.0
言葉は知っているが、内容は知らない	72	25.6
知らない	3	1.1
無回答	-	-

問32 あなたは、「食育」に関心がありますか。

カテゴリ	件数	割合
全 体	281	100.0
非常に関心がある	43	15.3
どちらかといえば関心がある	181	64.4
どちらかといえば関心がない	37	13.2
関心がない	9	3.2
わからない	9	3.2
無回答	2	0.7

問33 食育について活動している内容はどのようなものですか。(あてはまる番号をすべてお選びください。)

カテゴリ	件数	割合
全 体	281	100.0
栄養バランスを考えた食事をする	184	65.5
安全な食品についての情報を収集する	84	29.9
地元産の食材を買う	83	29.5
郷土料理を作る	19	6.8
できるだけ料理を自分で作る	171	60.9
食べきれない量の料理を作り、食べ残しを少なくする	145	51.6
家庭菜園で野菜を作る	90	32.0
旬の野菜を使ったり、季節の料理を作る	146	52.0
規則正しい食生活を心がける	138	49.1
食材・エネルギー・水を大切に使う料理をする	36	12.8
農業体験や地元農産物に触れる	41	14.6
食品容器等のリサイクルをする	55	19.6
食育に関するボランティア活動に参加する	3	1.1
それ以外	11	3.9
特になし	4	1.4
無回答	3	1.1

問34 子どもの「食育」について、大切だと思うことは何ですか。(あてはまる番号を3つまでお選びください。)

カテゴリ	件数	割合
全 体	281	100.0
1日3食規則正しく食べること	170	60.5
食事の前後に感謝の気持ちをあらわすこと	84	29.9
家族や友人と一緒に楽しく食べること	162	57.7
食べ物の栄養について学ぶこと	20	7.1
農業体験をすること	20	7.1
食を通して健康について学ぶこと	47	16.7
食事の作法を学ぶこと	30	10.7
好き嫌いをなくすこと	47	16.7
食べ物を無駄にしないこと	94	33.5
伝統食や行事食を学ぶこと	13	4.6
それ以外	-	-
無回答	39	13.9

問35 子どもの「食育」は、主体的にどこで行うべきと考えますか。

カテゴリ	件数	割合
全 体	281	100.0
家庭	190	67.6
行政	3	1.1
学校や保育園・幼稚園等	53	18.9
地域	2	0.7
それ以外	1	0.4
無回答	32	11.4

問36 「こうした食生活改善ボランティア」を知っていますか。

カテゴリ	件数	割合
全 体	281	100.0
知っている	5	1.8
名前を聞いたことがあるが、内容までは知らない	29	10.3
知らない	243	86.5
無回答	4	1.4

問36で3を選択された方のみお答えください。

問37 「こうした食生活改善ボランティア」の活動に興味・関心がありますか。

カテゴリ	件数	割合
全 体	34	100.0
非常に興味・関心がある	-	-
どちらかといえば興味・関心がある	5	14.7
どちらかといえば興味・関心がない	5	14.7
興味・関心がない	1	2.9
無回答	23	67.6

5 食を通じた環境にやさしい食環境づくりについて

問38 あなたは、食べ残しなど無駄や廃棄の少ない食事づくりを行っていますか。

カテゴリ	件数	割合
全 体	281	100.0
毎日行っている	130	46.3
1週間のうち4～6日行っている	84	29.9
1週間のうち1～3日行っている	35	12.5
行っていない	30	10.7
無回答	2	0.7

問39 食品容器(トレイ、ペットボトル、牛乳パックなど)を分別していますか。

カテゴリ	件数	割合
全 体	281	100.0
全て分別している	131	46.6
5～9割分別している	111	39.5
1～4割分別している	27	9.6
分別していない	12	4.3
無回答	-	-

問40 日頃から環境に配慮した食品(有機農産物や過剰包装されていない食品など)を選んでいきますか。(○は1つだけ)

カテゴリ	件数	割合
全 体	281	100.0
いつも選んでいる	25	8.9
時々選んでいる	125	44.5
あまり選んでいない	95	33.8
まったく選んでいない	36	12.8
無回答	-	-

問41 「地産地消」という言葉を知っていますか。

カテゴリ	件数	割合
全 体	281	100.0
言葉も内容もよく知っている	137	48.8
言葉も内容もおおよそ知っている	83	29.5
言葉は知っているが内容は知らない	24	8.5
知らない	37	13.2
無回答	-	-

問42 「地産地消」への関心はありますか。

カテゴリ	件数	割合
全 体	281	100.0
非常に関心がある	33	11.7
どちらかといえば関心がある	157	55.9
どちらかといえば関心がない	69	24.6
関心がない	17	6.0
無回答	5	1.8

問42で1、2を選択された方のみお答えください。

問43 「地産地消」を推奨する上で必要だと思われることは何ですか。(あてはまる番号を3つまでお選びください。)

カテゴリ	件数	割合
全 体	190	100.0
地元産であることの表示	137	72.1
安い価格での提供	124	65.3
年間を通じた安定的な品揃え	29	15.3
病院施設や学校給食等での積極的な使用	85	44.7
産直施設の設置	49	25.8
生産者との交流	16	8.4
ブランド化の推進	9	4.7
それ以外	-	-
無回答	12	6.3

問44 産地や生産者を意識して農林水産物・食品を選んでいますか。(○は1つだけ)

カテゴリ	件数	割合
全 体	281	100.0
いつも選んでいる	51	18.1
時々選んでいる	128	45.6
あまり選んでいない	78	27.8
まったく選んでいない	22	7.8
無回答	2	0.7

問45 幸田町で収穫された食材を購入できる場所を知っていますか。

カテゴリ	件数	割合
全 体	281	100.0
知っている	213	75.8
知らない	67	23.8
無回答	1	0.4

6 新型コロナウイルス感染症の拡大の影響について

問46 あなたご自身の現在の食生活は、新型コロナウイルス感染症の拡大前と比べて変わりましたか。(それぞれに○は1

問46 ①栄養バランスのとれた食事

カテゴリ	件数	割合
全 体	281	100.0
増えた・広がった	25	8.9
変わらない	244	86.8
減った・狭まった	6	2.1
もともとない	3	1.1
無回答	3	1.1

問46 ②自宅で料理を作る回数

カテゴリ	件数	割合
全 体	281	100.0
増えた・広がった	120	42.7
変わらない	160	56.9
減った・狭まった	-	-
もともとない	-	-
無回答	1	0.4

問46 ③自宅で食事を食べる回数

カテゴリ	件数	割合
全 体	281	100.0
増えた・広がった	140	49.8
変わらない	138	49.1
減った・狭まった	1	0.4
もともとない	-	-
無回答	2	0.7

単位：％

問46 ④家族と食事を食べる回数

カテゴリ	件数	割合
全 体	281	100.0
増えた・広がった	60	21.4
変わらない	212	75.4
減った・狭まった	-	-
もともとない	5	1.8
無回答	4	1.4

問46 ⑤オンラインを利用して家族や友人と食事を共にすること

カテゴリ	件数	割合
全 体	281	100.0
増えた・広がった	12	4.3
変わらない	65	23.1
減った・狭まった	5	1.8
もともとない	196	69.8
無回答	3	1.1

問46 ⑥おいしさや楽しさなど食を通じた精神的な豊かさ

カテゴリ	件数	割合
全 体	281	100.0
増えた・広がった	19	6.8
変わらない	234	83.3
減った・狭まった	11	3.9
もともとない	16	5.7
無回答	1	0.4

問46 ⑦地場産物の購入

カテゴリ	件数	割合
全 体	281	100.0
増えた・広がった	23	8.2
変わらない	215	76.5
減った・狭まった	5	1.8
もともとない	36	12.8
無回答	2	0.7

問46 ⑧通販(オンライン)を利用した食品購入

カテゴリ	件数	割合
全 体	281	100.0
増えた・広がった	55	19.6
変わらない	111	39.5
減った・狭まった	-	-
もともとない	112	39.9
無回答	3	1.1

問46 ⑨食事作りに要する時間や労力

カテゴリ	件数	割合
全 体	281	100.0
増えた・広がった	88	31.3
変わらない	182	64.8
減った・狭まった	4	1.4
もともとない	2	0.7
無回答	5	1.8

問46 ⑩食品の安全への不安

カテゴリ	件数	割合
全 体	281	100.0
増えた・広がった	38	13.5
変わらない	235	83.6
減った・狭まった	-	-
もともとない	6	2.1
無回答	2	0.7

問46 ⑪安定的な食物供給への不安

カテゴリ	件数	割合
全 体	281	100.0
増えた・広がった	49	17.4
変わらない	219	77.9
減った・狭まった	2	0.7
もともとない	9	3.2
無回答	2	0.7

単位：％

問46 ⑫食に関する情報の入手

カテゴリ	件数	割合
全 体	281	100.0
増えた・広がった	32	11.4
変わらない	238	84.7
減った・狭まった	-	-
もともとない	9	3.2
無回答	2	0.7

問46 ⑬規則正しい食生活リズム

カテゴリ	件数	割合
全 体	281	100.0
増えた・広がった	20	7.1
変わらない	254	90.4
減った・狭まった	4	1.4
もともとない	2	0.7
無回答	1	0.4

問47 現在、新型コロナウイルス感染症の拡大により、人々の暮らしに深刻な影響が出ている中、体験学習やイベントの開催についてどのようにお考えですか。(〇は1つだけ)

カテゴリ	件数	割合
全 体	281	100.0
これまでと同様に活動を継続する	42	14.9
様々な工夫(オンライン等ICT 技術)を凝らしながら活動を継続する	77	27.4
参加人数などの規模を縮小して活動を継続する	109	38.8
当面は活動を見送る	46	16.4
その他	3	1.1
無回答	4	1.4

(2) 小学5年生・中学2年生

単位：％

1 あなたのことについて

問1 通っている学校は

カテゴリ	件数	割合
全 体	915	100.0
坂崎小	70	7.7
幸田小	174	19.0
中央小	88	9.6
荻谷小	40	4.4
深溝小	66	7.2
豊坂小	54	5.9
北部中	180	19.7
幸田中	172	18.8
南部中	65	7.1
無回答	6	0.7

2 食を通じた健康で安心した暮らしについて

問2 朝ごはんを食べていますか。

カテゴリ	件数	割合
全 体	915	100.0
毎日食べている	775	84.7
1週間のうち4～6日食べている	74	8.1
1週間のうち1～3日食べている	34	3.7
食べていない	13	1.4
無回答	19	2.1

問2で2、3、4を選んだ人だけ答えてください。

問3 朝ごはんを食べない理由は何ですか。(その理由を1つ選んでください。)

カテゴリ	件数	割合
全 体	121	100.0
食べる時間がない	43	35.5
お腹がすいていない	36	29.8
食べる習慣がない	5	4.1
ダイエットのため	1	0.8
食事の用意がされていない	8	6.6
その他	16	13.2
無回答	12	9.9

問4 朝ごはんで次のものを食べていますか。※下の①から⑥まで答えてください。

問4 ①主食

カテゴリ	件数	割合
全 体	915	100.0
毎日食べる	746	81.5
週4～6日食べる	85	9.3
週1～3日食べる	49	5.4
食べない	16	1.7
無回答	19	2.1

問4 ②主菜

カテゴリ	件数	割合
全 体	915	100.0
毎日食べる	341	37.3
週4～6日食べる	222	24.3
週1～3日食べる	171	18.7
食べない	132	14.4
無回答	49	5.4

問4 ③副菜

カテゴリ	件数	割合
全 体	915	100.0
毎日食べる	255	27.9
週4～6日食べる	195	21.3
週1～3日食べる	198	21.6
食べない	205	22.4
無回答	62	6.8

問4 ④牛乳・乳製品

カテゴリ	件数	割合
全 体	915	100.0
毎日食べる	372	40.7
週4～6日食べる	167	18.3
週1～3日食べる	189	20.7
食べない	132	14.4
無回答	55	6.0

単位：％

問4 ⑤くだもの

カテゴリ	件数	割合
全 体	915	100.0
毎日食べる	157	17.2
週4～6日食べる	140	15.3
週1～3日食べる	280	30.6
食べない	263	28.7
無回答	75	8.2

問4 ⑥栄養補助食品等

カテゴリ	件数	割合
全 体	915	100.0
毎日食べる	39	4.3
週4～6日食べる	28	3.1
週1～3日食べる	63	6.9
食べない	715	78.1
無回答	70	7.7

問5 夜食(夕ごはんを食べてから寝るまでに食べるもの)を食べますか。

カテゴリ	件数	割合
全 体	915	100.0
毎日食べる	232	25.4
1週間のうち4～6日食べる	142	15.5
1週間のうち1～3日食べる	248	27.1
食べない	290	31.7
無回答	3	0.3

問6 夕ごはんの時間はいつも決まっていますか。

カテゴリ	件数	割合
全 体	915	100.0
いつも同じ時間	275	30.1
1週間のうち1～2回違う時間に食べる	362	39.6
いつもばらばら	260	28.4
無回答	18	2.0

問6で2、3を選んだ人だけ答えてください。

問7 夕ごはんの時間が決まっていない理由は何ですか。(その理由を1つ選んでください。)

カテゴリ	件数	割合
全 体	622	100.0
親の帰りが遅いから	87	14.0
部活動があるから	30	4.8
塾や習いごとがあるから	377	60.6
その他	108	17.4
無回答	20	3.2

問8 日ごろ、「主食」「主菜」「副菜」をそろえて食べていますか。

カテゴリ	件数	割合
全 体	915	100.0
1日2回以上ほとんど毎日そろえて食べている	520	56.8
1日1回ほとんど毎日そろえて食べている	305	33.3
そろえて食べていない	74	8.1
無回答	16	1.7

問9 野菜を食べる回数はどのくらいですか。

カテゴリ	件数	割合
全 体	915	100.0
1日3回以上食べる	293	32.0
1日2回食べる	425	46.4
1日1回食べる	166	18.1
ほとんど食べない	26	2.8
無回答	5	0.5

問10 学校の給食や家での食事にきれいな食べ物が出されたらどうしていますか。

カテゴリ	件数	割合
全 体	915	100.0
きれいなものはない	106	11.6
がまんして食べる	493	53.9
学校では食べるが家では食べない	170	18.6
少し食べて残す	115	12.6
食べない	18	2.0
無回答	13	1.4

問11 ふだんゆっくりよく噛んで食べていますか。

カテゴリ	件数	割合
全 体	915	100.0
ゆっくりよく噛んで食べている	212	23.2
どちらかといえばゆっくりよく噛んで食べている	405	44.3
どちらかといえばゆっくりよく噛んで食べていない	222	24.3
ゆっくりよく噛んでいない	59	6.4
無回答	17	1.9

3 食を通じた豊かな人間性の育成について

問12 朝ごはんは、家族の人(おとなの人)といっしょに食べていますか。

カテゴリ	件数	割合
全 体	915	100.0
毎日いっしょに食べている	341	37.3
1週間のうち4～6日いっしょに食べている	117	12.8
1週間のうち1～3日いっしょに食べている	154	16.8
いっしょに食べていない	293	32.0
無回答	10	1.1

問13 タごはんは、家族の人(おとなの人)といっしょに食べていますか。

カテゴリ	件数	割合
全 体	915	100.0
毎日いっしょに食べている	570	62.3
1週間のうち4～6日いっしょに食べている	200	21.9
1週間のうち1～3日いっしょに食べている	106	11.6
いっしょに食べていない	32	3.5
無回答	7	0.8

問14 家でごはんを食べる時に「いただきます」や「ごちそうさま」を言っていますか。

カテゴリ	件数	割合
全 体	915	100.0
いつも言っている	573	62.6
どちらかといえば言っている	202	22.1
どちらかといえば言っていない	74	8.1
言っていない	59	6.4
無回答	7	0.8

問15 家族の人に食事のしかたについて、注意されることがありますか。(○はい/×でも)

カテゴリ	件数	割合
全 体	915	100.0
すき・きらいをして食べること	208	22.7
はしの持ち方について	157	17.2
ひじをついて食べること	275	30.1
正しくない姿勢で食べること	354	38.7
茶わんを持たないで食べること	258	28.2
テレビを見ながら食べること	248	27.1
よくかまないで食べること	99	10.8
遊びながら食べること	122	13.3
無回答	150	16.4

問16 食事のお手伝いをしていますか。(買い物・調理・食卓の準備・あとかたづけ・ごみ出しなど)

カテゴリ	件数	割合
全 体	915	100.0
毎日している	203	22.2
1週間のうち4～6日している	228	24.9
1週間のうち1～3日している	283	30.9
ほとんどしない	191	20.9
無回答	10	1.1

問17 家庭での毎日の食事の時間は楽しいですか。

カテゴリ	件数	割合
全 体	915	100.0
毎日とても楽しい	287	31.4
楽しい時が多い	384	42.0
どちらともいえない	176	19.2
楽しくない時が多い	36	3.9
まったく楽しくない	21	2.3
無回答	11	1.2

問18 家庭で行事食【例：お正月にはおせち料理やお雑煮、土用にはうなぎ料理、冬至にはかぼちゃ料理など】を食べていま

カテゴリ	件数	割合
全 体	915	100.0
食べている	385	42.1
どちらかといえば食べている	355	38.8
どちらかといえば食べていない	113	12.3
食べていない	56	6.1
無回答	6	0.7

問19 これまで、あなたは学校以外で体験学習（田植えや稲刈り、野菜づくりなど）に参加したことはありますか。

カテゴリ	件数	割合
全 体	915	100.0
ある	524	57.3
ない	377	41.2
無回答	14	1.5

問20 学校以外で体験学習に参加したいと思いますか。

カテゴリ	件数	割合
全 体	915	100.0
思う	544	59.5
思わない	355	38.8
無回答	16	1.7

問20で「2. 思わない」と答えた方におたずねします。

問21 これまで体験学習に参加していない理由は何ですか。（○はいくつでも）

カテゴリ	件数	割合
全 体	355	100.0
関心がないから	192	54.1
体験に参加する方法がわからないから	44	12.4
体験する自信がないから	99	27.9
参加費用がかかるから	74	20.8
新型コロナウイルス感染症の拡大	103	29.0
その他	52	14.6
無回答	7	2.0

問22 体験学習にどんな工夫があれば参加したいと思いますか。（○はいくつでも）

カテゴリ	件数	割合
全 体	355	100.0
作物の成長に合わせて種まき、収穫など複数の作業が体験できること	40	11.3
収穫物の調理体験ができること	77	21.7
地域の伝統行事などのイベントに合わせて参加できること	41	11.5
地元の生産者等との交流があること	14	3.9
親子や友人など、いろいろな参加の仕方ができること	183	51.5
オンラインで、体験前に試したり、体験後も関係が続けられること	52	14.6
その他	51	14.4
無回答	29	8.2

4 食育を支える取り組みについて

問23 「食育」という言葉を知っていますか。

カテゴリ	件数	割合
全 体	915	100.0
言葉も意味も知っている	87	9.5
言葉は知っているし意味もだいたい知っている	250	27.3
言葉は知っているが意味はよくわからない	421	46.0
言葉も意味も知らなかった	149	16.3
無回答	8	0.9

問24 「幸田町食育推進計画」を知っていますか。

カテゴリ	件数	割合
全 体	915	100.0
知っている	17	1.9
名前を聞いたことがあるが、内容までは知らない	186	20.3
知らない	694	75.8
無回答	18	2.0

問25 「こうた食生活改善ボランティア」を知っていますか。

カテゴリ	件数	割合
全 体	915	100.0
知っている	22	2.4
名前を聞いたことがあるが、内容までは知らない	100	10.9
知らない	773	84.5
無回答	20	2.2

問25で1、2を選んだ人だけ答えてください。

問26 「こうした食生活改善ボランティア」の活動に興味・関心がありますか。

カテゴリ	件数	割合
全 体	122	100.0
非常に興味・関心がある	13	10.7
どちらかといえば興味・関心がある	56	45.9
どちらかといえば興味・関心がない	37	30.3
興味・関心がない	8	6.6
無回答	8	6.6

5 食を通じた環境にやさしい食環境づくりについて

問27 家庭から食べ残しや食べものに関係するごみが出されていることについて「もったいない」と感じることはありますか。

カテゴリ	件数	割合
全 体	915	100.0
いつも感じる	315	34.4
ときどき感じる	487	53.2
あまり感じない	81	8.9
全く感じない	23	2.5
無回答	9	1.0

問28 「地産地消」という言葉とその意味を知っていますか。

カテゴリ	件数	割合
全 体	915	100.0
言葉も意味も知っている	323	35.3
言葉は知っているし意味もだいたい知っている	92	10.1
言葉は知っているが意味はよくわからない	145	15.8
言葉も意味も知らなかった	339	37.0
無回答	16	1.7

問29 幸田町で作られている有名な野菜やくだものを知っていますか。(あてはまるものすべてを選んでください)

カテゴリ	件数	割合
全 体	915	100.0
筆柿	898	98.1
いちご	574	62.7
なす	712	77.8
もも	183	20.0
みかん	163	17.8
梨	312	34.1
ぶどう	147	16.1
いちじく	289	31.6
無回答	8	0.9

6 新型コロナウイルス感染症の拡大の影響について

問30 あなたご自身の現在の食生活は、新型コロナウイルス感染症の拡大前と比べて変わりましたか。

問30 ①栄養バランスのとれた食事

カテゴリ	件数	割合
全 体	915	100.0
増えた・広がった	130	14.2
変わらない	735	80.3
減った・狭まった	18	2.0
もともとない	16	1.7
無回答	16	1.7

問30 ②自宅で料理を作る回数

カテゴリ	件数	割合
全 体	915	100.0
増えた・広がった	287	31.4
変わらない	508	55.5
減った・狭まった	25	2.7
もともとない	73	8.0
無回答	22	2.4

問30 ③自宅で食事を食べる回数

カテゴリ	件数	割合
全 体	915	100.0
増えた・広がった	346	37.8
変わらない	512	56.0
減った・狭まった	24	2.6
もともとない	5	0.5
無回答	28	3.1

単位：％

問30 ④家族と食事を食べる回数

カテゴリ	件数	割合
全 体	915	100.0
増えた・広がった	194	21.2
変わらない	636	69.5
減った・狭まった	49	5.4
もともとない	12	1.3
無回答	24	2.6

問30 ⑤オンラインを利用して家族や友人と食事を共にすること

カテゴリ	件数	割合
全 体	915	100.0
増えた・広がった	48	5.2
変わらない	161	17.6
減った・狭まった	25	2.7
もともとない	656	71.7
無回答	25	2.7

問31 現在、新型コロナウイルス感染症の拡大により、人々の暮らしに深刻な影響が出ている中、体験学習やイベントの開催についてどのようにお考えですか。(〇は1つだけ)

カテゴリ	件数	割合
全 体	915	100.0
これまでと同様に活動を継続する	136	14.9
様々な工夫(オンライン等ICT 技術)を凝らしながら活動を継続する	220	24.0
参加人数などの規模を縮小して活動を継続する	326	35.6
当面は活動を見送る	173	18.9
その他	46	5.0
無回答	14	1.5

(4) 小中学生保護者

単位：％

1 あなたのことについて

問1 お子さんが通っている学校は

カテゴリ	件数	割合
全 体	857	100.0
坂崎小	73	8.5
幸田小	143	16.7
中央小	84	9.8
荻谷小	42	4.9
深溝小	68	7.9
豊坂小	63	7.4
北部中	157	18.3
幸田中	157	18.3
南部中	57	6.7
無回答	13	1.5

問2 ふだん食事を作られる方とお子さんとの関係

カテゴリ	件数	割合
全 体	857	100.0
父	14	1.6
母	758	88.4
祖父	1	0.1
祖母	25	2.9
兄弟・姉妹	1	0.1
それ以外	2	0.2
無回答	56	6.5

問3 ふだん食事を作られる方のご職業

カテゴリ	件数	割合
全 体	857	100.0
自営業	48	5.6
農林水産業	4	0.5
会社員・公務員等	176	20.5
パート、アルバイト	451	52.6
学生	1	0.1
無職	118	13.8
それ以外	40	4.7
無回答	19	2.2

問4 家族構成

カテゴリ	件数	割合
全 体	857	100.0
親と子の二世帯	659	76.9
親と子と孫の三世帯	136	15.9
それ以外	15	1.8
無回答	47	5.5

問5 あなたの年齢を教えてください。

カテゴリ	件数	割合
全 体	857	100.0
10代	1	0.1
20代	1	0.1
30代	245	28.6
40代	545	63.6
50代	54	6.3
60代	4	0.5
70代以上	3	0.4
無回答	4	0.5

2 食を通じた健康で安心した暮らしについて

問6 お子さんは、朝食を食べていますか。

カテゴリ	件数	割合
全 体	857	100.0
毎日食べている	773	90.2
1週間のうち4～6日食べている	42	4.9
1週間のうち1～3日食べている	16	1.9
食べていない	9	1.1
無回答	17	2.0

問6で2、3、4を選択された方のみお答えください。

問7 お子さんが、朝食を食べない理由は何ですか。(その理由を1つお選びください。)

カテゴリ	件数	割合
全 体	67	100.0
食べる時間がない	32	47.8
お腹がすいていない	20	29.9
食べる習慣がない	3	4.5
ダイエットのため	-	-
食事の用意がされていない	2	3.0
その他	5	7.5
無回答	5	7.5

問8 あなたは、朝食を食べていますか。

カテゴリ	件数	割合
全 体	857	100.0
毎日食べている	713	83.2
1週間のうち4～6日食べている	41	4.8
1週間のうち1～3日食べている	39	4.6
食べていない	36	4.2
無回答	28	3.3

問8で2、3、4を選択された方のみお答えください。

問9 あなたが、朝食を食べない理由は何ですか。(その理由を1つお選びください。)

カテゴリ	件数	割合
全 体	116	100.0
食べる時間がない	41	35.3
お腹がすいていない	41	35.3
食べる習慣がない	16	13.8
ダイエットのため	4	3.4
食事の用意をしないため	2	1.7
その他	8	6.9
無回答	4	3.4

問10 ご家庭の食生活の中で、心配だと思われるものは何ですか。(あてはまる番号を3つまでお選びください。)

カテゴリ	件数	割合
全 体	857	100.0
食生活の乱れ	312	36.4
肥満・やせすぎ	241	28.1
生活習慣病を患わないか	251	29.3
食品の安全	299	34.9
食材を海外からの輸入に依存していること	61	7.1
食べ残しなど食品廃棄物が多いこと	148	17.3
自然の恩恵や食に対する感謝の念が薄れていること	181	21.1
それ以外	38	4.4
特になし	132	15.4
無回答	14	1.6

問11 あなたは、日ごろ、「主食」「主菜」「副菜」をそろえて食べていますか。

カテゴリ	件数	割合
全 体	857	100.0
1日2回以上ほとんど毎日そろえて食べている	336	39.2
1日1回ほとんど毎日そろえて食べている	413	48.2
そろえて食べていない	106	12.4
無回答	2	0.2

問12 あなたは、ふだんゆっくりよく噛んで食べていますか。

カテゴリ	件数	割合
全 体	857	100.0
ゆっくりよく噛んで食べている	81	9.5
どちらかといえばゆっくりよく噛んで食べている	356	41.5
どちらかといえばゆっくりよく噛んで食べていない	362	42.2
ゆっくりよく噛んでいない	58	6.8
無回答	-	-

問13 生活習慣病の予防や改善のために、あなたは、ふだんから適正体重の維持や減塩などに気をつけた食生活を実践して

カテゴリ	件数	割合
全 体	857	100.0
常に意識して実践している	159	18.6
ときどき意識して実践している	464	54.1
あまり実践していない	205	23.9
まったく実践していない	28	3.3
無回答	1	0.1

単位：％

問14 厚生労働省では1日350gの野菜摂取を推奨しています。あなたは野菜を1日350g食べていますか。

カテゴリ	件数	割合
全 体	857	100.0
毎日できている	130	15.2
できている日もある	470	54.8
できていない	235	27.4
無回答	22	2.6

問14で2、3を選択された方のみお答えください。

問15 あなたが、野菜を1日350g摂取できていない理由は何ですか。（その理由を3つまでお選びください。）

カテゴリ	件数	割合
全 体	705	100.0
調理に手間がかかるから	326	46.2
調理方法がよくわからないから	82	11.6
調理したいと思わない	24	3.4
野菜が苦手だから	50	7.1
食べる必要性を感じない	6	0.9
家族が食べないから	255	36.2
価格が高いから	213	30.2
外食が多いから	15	2.1
それ以外	117	16.6
無回答	26	3.7

問16 あなたは、「1日3食」食べていますか。

カテゴリ	件数	割合
全 体	857	100.0
毎日3食食べている	635	74.1
時々、3食食べていない日がある	157	18.3
毎日2食以下しか食べていない	50	5.8
無回答	15	1.8

問17 食の安全について、どう感じていますか。

カテゴリ	件数	割合
全 体	857	100.0
安全と感じている	100	11.7
どちらかといえば安全と感じている	566	66.0
どちらかといえば不安と感じている	139	16.2
不安と感じている	30	3.5
無回答	22	2.6

問18 食に関する情報をどこから入手していますか。（あてはまる番号をすべてお選びください。）

カテゴリ	件数	割合
全 体	857	100.0
新聞・雑誌	235	27.4
本	162	18.9
テレビ	572	66.7
ラジオ	21	2.5
インターネット上のニュースサイト	432	50.4
YouTube 等の動画サイト	149	17.4
ブログ、SNS	180	21.0
生産者や食品企業・販売業者のウェブサイトや広報物	74	8.6
行政機関のウェブサイトや広報物	22	2.6
家族とのやりとり	189	22.1
ネット上を含めた友人、知人とのやりとり	134	15.6
同僚とのやりとり	139	16.2
スーパーマーケットなど食品の購入場所	386	45.0
町中（電車等）の広告	3	0.4
イベントやシンポジウム	17	2.0
その他	18	2.1
無回答	9	1.1

3 食を通じた豊かな人間性の育成について

問19 お子さんは、食事のお手伝いをしていますか。（買い物、調理、食卓の準備、あと片付け、ごみ捨てなど）

カテゴリ	件数	割合
全 体	857	100.0
毎日している	154	18.0
1週間のうち4～6日している	123	14.4
1週間のうち1～3日している	296	34.5
ほとんどしない	277	32.3
無回答	7	0.8

単位：％

問20 お子さんは、朝食を家族のおとなの人と一緒に食べていますか。

カテゴリ	件数	割合
全 体	857	100.0
毎日一緒に食べている	383	44.7
1週間のうち4～6日一緒に食べている	123	14.4
1週間のうち1～3日一緒に食べている	139	16.2
一緒に食べていない	202	23.6
無回答	10	1.2

問21 お子さんは、夕食を家族のおとなの人と一緒に食べていますか。

カテゴリ	件数	割合
全 体	857	100.0
毎日一緒に食べている	614	71.6
1週間のうち4～6日一緒に食べている	150	17.5
1週間のうち1～3日一緒に食べている	68	7.9
一緒に食べていない	12	1.4
無回答	13	1.5

問20又は問21で3、4を選択された方のみお答えください。

問22 お子さんが、家族のおとなの人と食事を一緒に食べていない理由は何だと思いますか。

(あてはまる番号をすべてお選びください。)

カテゴリ	件数	割合
全 体	359	100.0
お子さんがテレビや動画の視聴、ゲームをしているため	27	7.5
熟や習い事で子どもの帰宅が遅いため	41	11.4
家族と食事の好み合わないため	4	1.1
保護者の帰宅が遅いため	62	17.3
それ以外	164	45.7
無回答	105	29.2

問23 あなたは、家でご飯を食べる時に「いただきます」や「ごちそうさま」を言っていますか。

カテゴリ	件数	割合
全 体	857	100.0
いつも言っている	483	56.4
どちらかといえば言っている	225	26.3
どちらかといえば言っていない	95	11.1
言っていない	47	5.5
無回答	7	0.8

問24 あなたは、毎日のご家庭での食事の時間が楽しいですか。

カテゴリ	件数	割合
全 体	857	100.0
毎日とても楽しい	179	20.9
楽しいときが多い	462	53.9
どちらともいえない	185	21.6
楽しくないときが多い	11	1.3
まったく楽しくない	10	1.2
無回答	10	1.2

問25 あなたは、行事食【例：お正月にはおせち料理やお雑煮、土用にはうなぎ料理、冬至にはかぼちゃ料理など】を食べていますか。

カテゴリ	件数	割合
全 体	857	100.0
食べている	269	31.4
どちらかといえば食べている	382	44.6
どちらかといえば食べていない	145	16.9
食べていない	54	6.3
無回答	7	0.8

問25で3、4を選択された方のみお答えください。

問26 行事食を食べていない理由は何ですか(あてはまる番号をすべてお選びください。)

カテゴリ	件数	割合
全 体	199	100.0
食べる機会がない	20	10.1
好きではない	56	28.1
高価	59	29.6
行事食を知らない	11	5.5
用意するのが面倒	103	51.8
必要がない	26	13.1
それ以外	21	10.6
無回答	2	1.0

単位：％

問27 田植えや稲刈り、野菜づくりなどの農作業体験や手伝いをしたことがありますか。

カテゴリ	件数	割合
全 体	857	100.0
ある	658	76.8
ない	188	21.9
無回答	11	1.3

4 食育を支える取り組みについて

問28 あなたは、「幸田町食育推進計画」を知っていますか。

カテゴリ	件数	割合
全 体	857	100.0
知っている	70	8.2
名前を聞いたことがあるが、内容までは知らない	370	43.2
知らない	412	48.1
無回答	5	0.6

問29 あなたは、「食育」という言葉を知っていますか。

カテゴリ	件数	割合
全 体	857	100.0
言葉も内容もよく知っている	211	24.6
言葉も内容もおおよそ知っている	469	54.7
言葉は知っているが、内容は知らない	153	17.9
知らない	16	1.9
無回答	8	0.9

問30 あなたは、「食育」に関心がありますか。

カテゴリ	件数	割合
全 体	857	100.0
非常に関心がある	96	11.2
どちらかといえば関心がある	555	64.8
どちらかといえば関心がない	127	14.8
関心がない	25	2.9
わからない	50	5.8
無回答	4	0.5

問31 あなたは、「食育」について何らかの行動や活動をしていますか。

カテゴリ	件数	割合
全 体	857	100.0
積極的にしている	48	5.6
できるだけするようにしている	427	49.8
したいとは思いますが、実際にはしていない	310	36.2
したいとは思わないし、していない	57	6.7
無回答	15	1.8

問31で1、2を選択された方のみお答えください。

問32 活動している内容は、どのようなものですか。(あてはまる番号をすべてお選びください。)

カテゴリ	件数	割合
全 体	475	100.0
栄養バランスを考えた食事をする	377	79.4
安全な食品についての情報を収集する	147	30.9
地元産の食材を買う	218	45.9
郷土料理を作る	56	11.8
できるだけ料理を自分で作る	357	75.2
食べきれない量の料理を作り、食べ残しを少なくする	277	58.3
家庭菜園で野菜を作る	176	37.1
旬の野菜を使ったり、季節の料理を作る	306	64.4
規則正しい食生活を心がける	263	55.4
食材・エネルギー・水を大切に使う	80	16.8
農業体験や地元農産物に触れる	59	12.4
食品容器等のリサイクルをする	157	33.1
食育に関するボランティア活動に参加する	4	0.8
それ以外	7	1.5
無回答	11	2.3

問31で3、4を選択された方のみお答えください。

問33 行動や活動をしていない理由は何ですか。(あてはまる番号を2つまでお選びください。)

カテゴリ	件数	割合
全 体	367	100.0
具体的に何をすればよいかわからない	215	58.6
忙しい	188	51.2
面倒	67	18.3
興味がない	33	9.0
必要がない	4	1.1
それ以外	8	2.2
無回答	6	1.6

問34 子どもの「食育」について、大切だと思うことは何ですか。(あてはまる番号を3つまでお選びください。)

カテゴリ	件数	割合
全 体	857	100.0
1日3食規則正しく食べること	545	63.6
食事の前後に感謝の気持ちをあらわすこと	252	29.4
家族や友人と一緒に楽しく食べること	404	47.1
食べ物の栄養について学ぶこと	127	14.8
農業体験をすること	49	5.7
食を通して健康について学ぶこと	228	26.6
食事の作法を学ぶこと	105	12.3
好き嫌いをなくすこと	146	17.0
食べ物を無駄にしないこと	364	42.5
伝統食や行事食を学ぶこと	42	4.9
それ以外	6	0.7
無回答	60	7.0

問35 子どもの「食育」は、主体的にどこで行うべきと考えますか。

カテゴリ	件数	割合
全 体	857	100.0
家庭	589	68.7
行政	12	1.4
学校や保育園・幼稚園等	135	15.8
地域	19	2.2
それ以外	12	1.4
無回答	90	10.5

問36 「こうした食生活改善ボランティア」を知っていますか。

カテゴリ	件数	割合
全 体	857	100.0
知っている	14	1.6
名前を聞いたことがあるが、内容までは知らない	98	11.4
知らない	727	84.8
無回答	18	2.1

問36で1、2を選択された方のみお答えください。

問37 「こうした食生活改善ボランティア」の活動に興味・関心がありますか。

カテゴリ	件数	割合
全 体	112	100.0
非常に興味・関心がある	2	1.8
どちらかといえば興味・関心がある	52	46.4
どちらかといえば興味・関心がない	41	36.6
興味・関心がない	7	6.3
無回答	10	8.9

5 食を通じた環境にやさしい食環境づくりについて

問38 あなたは、食べ残しなど無駄や廃棄の少ない食事づくりを行っていますか。

カテゴリ	件数	割合
全 体	857	100.0
毎日行っている	425	49.6
1週間のうち4～6日行っている	245	28.6
1週間のうち1～3日行っている	116	13.5
行っていない	59	6.9
無回答	12	1.4

問39 食品容器(トレイ、ペットボトル、牛乳パックなど)を分別していますか。

カテゴリ	件数	割合
全 体	857	100.0
全て分別している	495	57.8
5～9割分別している	275	32.1
1～4割分別している	55	6.4
分別していない	21	2.5
無回答	11	1.3

問40 日頃から環境に配慮した食品(有機農産物や過剰包装されていない食品など)を選んでいきますか。(○は1つだけ)

カテゴリ	件数	割合
全 体	857	100.0
いつも選んでいる	70	8.2
時々選んでいる	421	49.1
あまり選んでいない	311	36.3
まったく選んでいない	44	5.1
無回答	11	1.3

問41 「地産地消」という言葉を知っていますか。

カテゴリ	件数	割合
全 体	857	100.0
言葉も内容もよく知っている	463	54.0
言葉も内容もおおよそ知っている	232	27.1
言葉は知っているが、内容は知らない	61	7.1
知らない	91	10.6
無回答	10	1.2

問42 「地産地消」への関心はありますか。

カテゴリ	件数	割合
全 体	857	100.0
非常に関心がある	155	18.1
どちらかといえば関心がある	495	57.8
どちらかといえば関心がない	141	16.5
関心がない	45	5.3
無回答	21	2.5

問42で1、2を選択された方のみお答えください。

問43 「地産地消」を推奨する上で必要だと思われることは何ですか。(あてはまる番号を3つまでお選びください。)

カテゴリ	件数	割合
全 体	650	100.0
地元産であることの表示	524	80.6
安い価格での提供	361	55.5
年間を通じた安定的な品揃え	160	24.6
病院施設や学校給食等での積極的な使用	304	46.8
産直施設の設置	158	24.3
生産者との交流	60	9.2
ブランド化の推進	28	4.3
それ以外	7	1.1
無回答	28	4.3

問44 産地や生産者を意識して農林水産物・食品を選んでいきますか。(○は1つだけ)

カテゴリ	件数	割合
全 体	857	100.0
いつも選んでいる	166	19.4
時々選んでいる	467	54.5
あまり選んでいない	177	20.7
まったく選んでいない	35	4.1
無回答	12	1.4

問45 幸田町で収穫された食材を購入できる場所を知っていますか。

カテゴリ	件数	割合
全 体	857	100.0
知っている	737	86.0
知らない	111	13.0
無回答	9	1.1

6 新型コロナウイルス感染症の拡大の影響について

問46 あなたご自身の現在の食生活は、新型コロナウイルス感染症の拡大前と比べて変わりましたか。(それぞれに○は1

問46 ①栄養バランスのとれた食事

カテゴリ	件数	割合
全 体	857	100.0
増えた・広がった	79	9.2
変わらない	738	86.1
減った・狭まった	17	2.0
もともとない	3	0.4
無回答	20	2.3

問46 ②自宅で料理を作る回数

カテゴリ	件数	割合
全 体	857	100.0
増えた・広がった	400	46.7
変わらない	435	50.8
減った・狭まった	11	1.3
もともとない	1	0.1
無回答	10	1.2

問46 ③自宅で食事を食べる回数

カテゴリ	件数	割合
全 体	857	100.0
増えた・広がった	436	50.9
変わらない	402	46.9
減った・狭まった	4	0.5
もともとない	1	0.1
無回答	14	1.6

問46 ④家族と食事を食べる回数

カテゴリ	件数	割合
全 体	857	100.0
増えた・広がった	196	22.9
変わらない	632	73.7
減った・狭まった	7	0.8
もともとない	5	0.6
無回答	17	2.0

問46 ⑤オンラインを利用して家族や友人と食事を共にすること

カテゴリ	件数	割合
全 体	857	100.0
増えた・広がった	19	2.2
変わらない	182	21.2
減った・狭まった	14	1.6
もともとない	621	72.5
無回答	21	2.5

問46 ⑥おいしさや楽しさなど食を通じた精神的な豊かさ

カテゴリ	件数	割合
全 体	857	100.0
増えた・広がった	76	8.9
変わらない	698	81.4
減った・狭まった	32	3.7
もともとない	37	4.3
無回答	14	1.6

問46 ⑦地場産物の購入

カテゴリ	件数	割合
全 体	857	100.0
増えた・広がった	48	5.6
変わらない	725	84.6
減った・狭まった	12	1.4
もともとない	59	6.9
無回答	13	1.5

問46 ⑧通販(オンライン)を利用した食品購入

カテゴリ	件数	割合
全 体	857	100.0
増えた・広がった	126	14.7
変わらない	317	37.0
減った・狭まった	6	0.7
もともとない	386	45.0
無回答	22	2.6

問46 ⑨食事作りに要する時間や労力

カテゴリ	件数	割合
全 体	857	100.0
増えた・広がった	305	35.6
変わらない	525	61.3
減った・狭まった	9	1.1
もともとない	6	0.7
無回答	12	1.4

単位：％

問46 ⑩食品の安全への不安

カテゴリ	件数	割合
全 体	857	100.0
増えた・広がった	65	7.6
変わらない	754	88.0
減った・狭まった	5	0.6
もともとない	20	2.3
無回答	13	1.5

問46 ⑪安定的な食物供給への不安

カテゴリ	件数	割合
全 体	857	100.0
増えた・広がった	107	12.5
変わらない	707	82.5
減った・狭まった	8	0.9
もともとない	24	2.8
無回答	11	1.3

問46 ⑫食に関する情報の入手

カテゴリ	件数	割合
全 体	857	100.0
増えた・広がった	68	7.9
変わらない	751	87.6
減った・狭まった	6	0.7
もともとない	20	2.3
無回答	12	1.4

問46 ⑬規則正しい食生活リズム

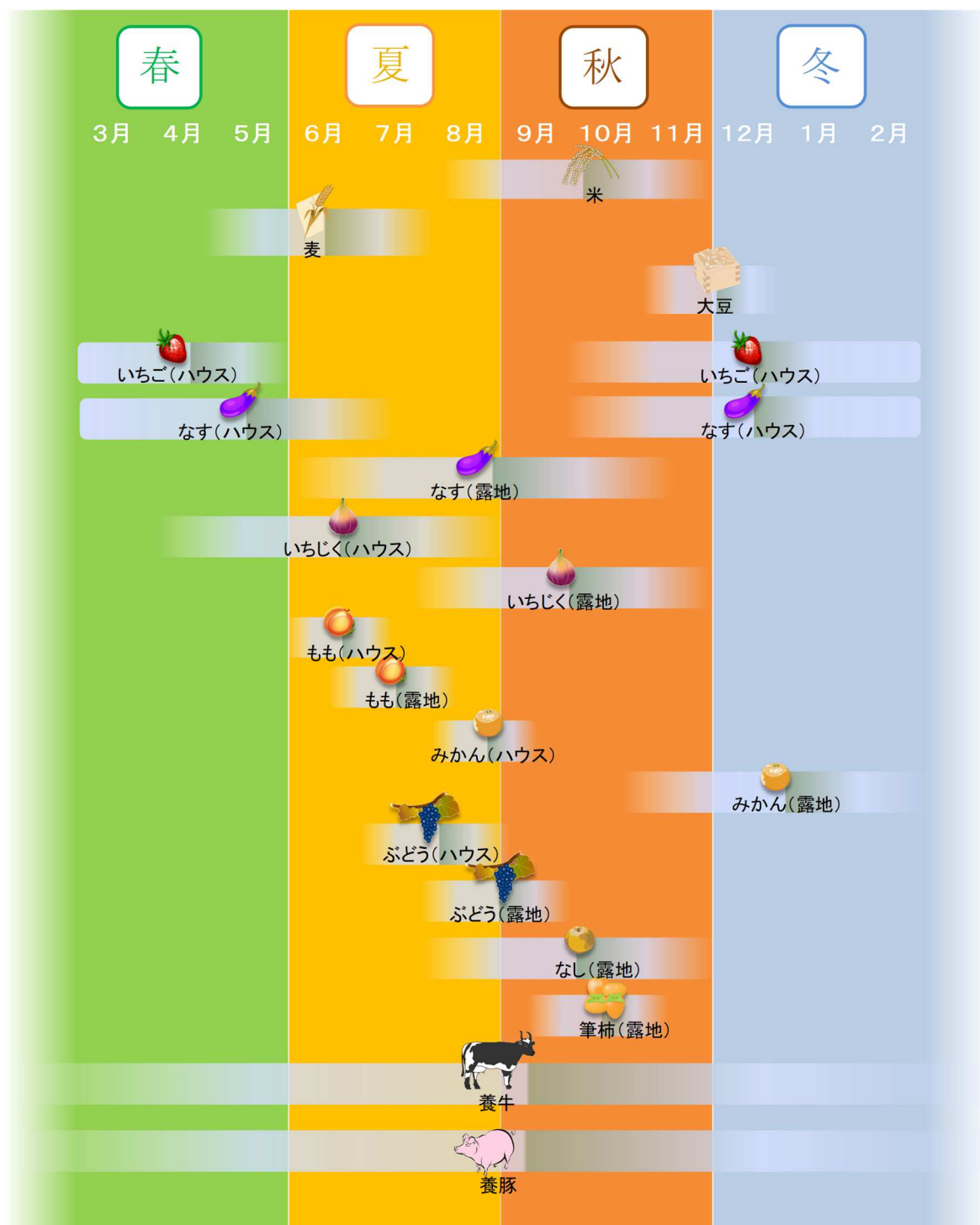
カテゴリ	件数	割合
全 体	857	100.0
増えた・広がった	67	7.8
変わらない	755	88.1
減った・狭まった	19	2.2
もともとない	6	0.7
無回答	10	1.2

問47 現在、新型コロナウイルス感染症の拡大により、人々の暮らしに深刻な影響が出ている中、体験学習やイベントの開催についてどのようにお考えですか。(〇は1つだけ)

カテゴリ	件数	割合
全 体	857	100.0
これまでと同様に活動を継続する	84	9.8
様々な工夫(オンライン等ICT 技術)を凝らしながら活動を継続する	295	34.4
参加人数などの規模を縮小して活動を継続する	326	38.0
当面は活動を見送る	125	14.6
その他	14	1.6
無回答	13	1.5

7 幸田の農畜産物「旬」カレンダー

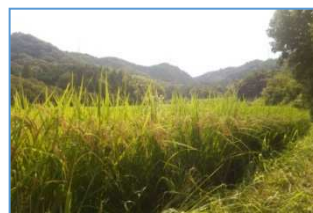
幸田の農畜産物「旬」カレンダー



《幸田町の農畜作物の紹介》

○ 米・麦・大豆

幸田町には水田が約750haあり、そのうち約450haで米が作られています。町内で作られている米の品種は主に「コシヒカリ」「あいちのかおりSBL」です。春には田植え、秋には稲刈りが行われます。米以外では約200haで麦や大豆が作られおり、市場へ出荷されてうどんや豆腐に加工されます。水田の作付けは、2年3作のブロックローテーションという転作が行われ、耕作されています。



○ いちご

甘くてフレッシュな幸田のいちごは、主に10月下旬から5月下旬まで出荷されています。町内では食味がおいしい「とちおとめ」と、甘く香りの良い「紅ほっぺ」が栽培されています。



○ なす

「煮て、焼いて、漬けて良し」といわれる幸田のなすは、古くから町の南部地区で栽培されてきました。町内では、露地なす「筑陽」・促成（温室）なす「とげなし輝楽^{きらくびーなす}（美茄子）」が栽培され、年間を通じて出荷しています。



○ いちじく

幸田のいちじくは、温室と露地で栽培されています。温室いちじくは3月から、露地いちじくは8月から出荷されています。栽培品種の「柗井ドーフィン」は、ほどよい甘味とさっぱりとした風味があります。



○ もも

甘く、おいしい幸田のももは、須美地区で温室と露地で栽培されています。温室ももは5月下旬から、露地ももは7月から出荷されていますので、ひとあし早くに夏の訪れを知らせてくれます。



○ みかん

温州みかんを中心に、温室と露地で栽培されています。温室みかんは7月下旬から、露地みかんは10月から販売されます。極力農薬を減らし有機肥料で育てられています。



○ ぶどう

直販と市場出荷を行っており、町内の産直施設でも買うことができます。「巨峰」や「シャインマスカット」を始めとした多くの品種があるので、食べ比べを楽しむことができます。



○ なし

直接販売を中心に、よりおいしいものを作ろうという生産農家の意識が高く、袋かけをする等の手間をかけて栽培された新鮮なものを食べることができます。



○ 筆柿

9月中旬から出荷される筆柿は、全国一の生産量を誇る幸田町きっての特産物です。また、和洋菓子なども商品化され、お土産品としても好評です。



○ 養牛

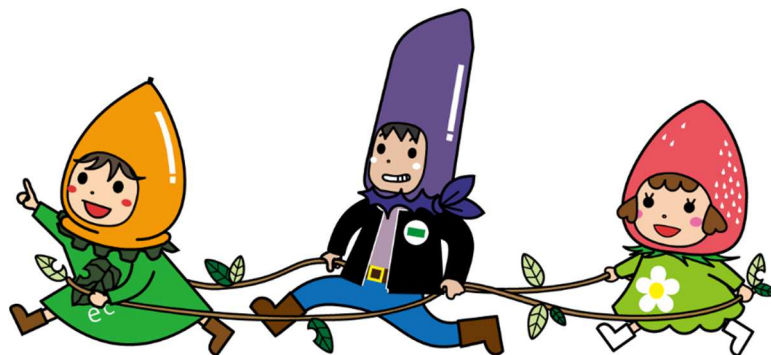
①肉用牛 3戸の農家で、乳牛の雌と黒毛和種等の雄をかけあわせた肉用専用種（交雑種）や和牛を飼育生産しています。

②繁殖和牛 2戸で血統の良い黒毛和種の子牛を生産し、出荷しています。出荷された子牛の一部は、他地域の肥育農家で育成され有名ブランドの肉になります。

○ 養豚

養豚農家において、ブランド豚「夢やまびこ豚」を種付けから出荷まで、一貫生産しています。

「夢やまびこ豚」は、全粒粉碎とうもろこしを中心に、植物性原料を主体の飼料を与えて育成しており、柔らかく、サシが適度に入り、甘みがあります。



8 用語解説

【か行】

共食

一人で食事をする事（孤食）に対して、誰かと一緒に食事をする事。

健康寿命

平均寿命から寝たきりや認知症など介護や病気療養が必要な期間を除いた、日常生活が制限されることなく過ごせる期間のこと。単に平均寿命を延ばすだけでなく、自立して生活できる期間を延ばすことが、生活の質（QOL：Quality of Life）の向上に重要である。

【さ行】

食育

食育基本法（平成17年法律第63号）において、生きる上での基本であって、知育・徳育・体育の基礎と位置づけ、様々な経験を通じて「食」に関する知識と「食」を選択する力を習得し、健全な食生活を実現することができる人間を育てることとされている。

食品表示

消費者が食品を購入するとき、食品の内容を正しく理解し、選択したり、適正に使用したりする上での重要な情報源。

食品ロス

まだ食べられるのに廃棄される食品のこと。食品ロスの削減を総合的に推進することを目的として、「食品ロスの削減の推進に関する法律」が令和元年10月1日に施行された。事業活動を伴って発生する食品ロスを「事業系食品ロス」、各家庭から発生する食品ロスを「家庭系食品ロス」という。

【た行】

地産地消

国内の地域で生産された農林水産物を、その生産された地域内において消費する取組のことを通じて、消費者と生産者が互いの距離を縮めようとする取組のこと。

【な行】

日本型食生活

ごはんを主食とし、野菜、大豆、魚、海藻を中心とした主菜・副菜に加え、適度に牛乳・乳製品や果物が加わった、バランスのとれた食事のこと。

【は行】

フレイル

加齢に伴い心身の機能が低下した「虚弱」を意味する言葉。身体的要因（筋力の低下、口腔機能の衰え、低栄養など）、精神・心理的要因、社会的要因などが重なって生じ、筋肉量や心身の活力の低下は高齢期に達する前から注意が必要。

【ら行】

ライフステージ

人の一生の成長・成熟の度合いに応じた移り変わりのことで、「次世代期」「青壮年期」「高齢期」などに分けたそれぞれの段階をいう。

【英数単語】

ICT

情報通信技術（Information and Communication Technology）のこと

SDGs

Sustainable Developmental Goals（持続可能な開発目標）の略で、2015年9月の国連サミットで採択された「持続可能な開発のための2030アジェンダ」にて記載された2016年から2030年までの国際目標のこと。「誰一人取り残さない」持続可能で多様性と包摂性のある世界を実現するための17のゴール・169のターゲットから構成されている。

第 4 次幸田町食育推進計画

令和 4 年 3 月

発行：幸田町 産業振興課

〒444-0192

愛知県額田郡幸田町大字菱池字元林 1 番地 1

電 話： 0564-62-1111 （代表）

F A X： 0564-63-5139
